



デジタルワイヤレス インターカムシステム

型名 **WD-3000シリーズ**

取扱説明書
「設置・設定編」

お買い上げありがとうございます

お使いの前にこの「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

ご注意

- ・ シンプル通話モードを使用する場合は、次の機器を使用してください。
 - ポータブルトランシーバーWD-TR300(G)を使用する場合は、メインコントローラーWD-M300(G)以降
 - ポータブルトランシーバーWD-TR350(H)を使用する場合は、メインコントローラーWD-M300(H)以降
 - セルステーションWD-T300(G)タイプ以降
 - ポータブルトランシーバーWD-TR350(H)/WD-TR300(G)以降
 - ・ WD-WT20では、シンプル通話機能はご使用いただけません。
 - ・ (E)より前のタイプをご使用の場合、ヒアリングモードの機能の一部がお使いいただけません。
 - ・ WD-TR350のチャージャーは、WT-C50(B)タイプ以降を使用してください。
- 機器の型名、タイプは機器本体のネームプレートに記載されています。

LST1076-001F

この取扱説明書の見かた

■ 本書では、
セルステーション WD-T300を「CS」
ポータブルトランシーバー WD-TR350/WD-TR300/ワ
イヤレストランシーバー WD-WT20を「子機」と表記す
ることがあります。

■ 本文中の記号の見かた



操作上の注意が書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。



参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書の記載内容について

- ・ 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部、または全部を当社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- ・ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書ではTM、®、©などのマークは省略してあります。
- ・ 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- ・ Windows、Internet Explorer、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

もくじ

□安全上のご注意	6
絵表示について	6
設置・設定時のご注意	7
技術基準適合証明ラベルについて	7
電波について	7
□システム設置・設定例	8
□設置工事の推奨手順	9
□システム構成および構成品の確認	10
システム構成図	10
システム構成表	11
システムの機器バージョンと追加機能	12
工事手配品一覧	12
□機器の設置場所の確認	13
設置上のご注意	13
設置条件	13
□電源ケーブル、配線ケーブルのルート確認	14
配線ケーブル条件	14
構内端子盤で中継する場合	14
□メインコントローラーWD-M300の設置	15
外観	15
ランプ表示	15
設置上のご注意	15
接線する	16
配線ケーブルの接続方法	16
インカムユニットを接続する	17
サブコントローラーWD-M310を接続する	18
公衆回線/PBXに接続する	19
外部機器を接続する	19
PA-DR600を接続する	20
ラックマウントする場合	20

□サブコントローラーWD-M310の設置	21
外観	21
ランプ表示	21
接続する	22
配線ケーブルの接続方法	22
インカムユニットを接続する	22
ラックマウントする場合	22
□多機能操作器WD-MC30の設置	23
外観	23
設置上のご注意	23
接続する	24
配線ケーブルを接続する	24
電話機を接続する	25
□音声入出力ユニットWD-AF30の設置	26
外観	26
ランプ表示	26
接続する	27
配線ケーブルを接続する	27
外部音響機器を接続する	28
ホールマスターWT-MC60を接続する	29
外部機器を接続する	29
ラックマウントする場合	30
1台の場合	30
2台の場合	30
□セルステーションWD-T300の設置	31
外観	31
ランプ表示	31
設置上のご注意	32
セルステーションWD-T300の設置場所	32
セルステーションWD-T300の設置距離	32
セルステーションWD-T300の配置	33
マスターセルステーションの設定	34
マスターセルステーションを変更する場合	34
壁、天井への取り付け	35

□ システムデータの設定と動作確認	38
システムデータ設定の手順	38
準備	39
準備するもの	39
システムの電源を入れる	41
電源を入れるとき	41
電源を切るとき	41
メインコントローラーWD-M300とPCを接続する	41
PCのIPアドレスを設定する	42
メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューに接続する	43
子機の運用モードを設定する	44
ヒアリングモードで運用する場合	44
シンプル通話モードで運用する場合	44
子機をヒアリングモード／シンプル通話モードに設定する	45
ヒアリングモードの表示	45
シンプル通話モードの表示	46
子機登録	47
子機WD-TR350/WD-TR300を登録する場合	47
子機WD-WT20を登録する場合	58
システムの設定	64
システム設定	65
インカム設定	66
子機設定	67
CS設定	70
多機能操作器設定	72
音声入出力ユニット設定	74
放送出力設定	75
外線共通設定	76
外線モード動作設定	77
トーン設定	79
タイマー設定	82
短縮番号設定	83
システム設定の確認	84
CS番号変更	85
その他	86
システムの動作確認	87
システム設定データのバックアップ	87
子機WD-TR350/WD-TR300の詳細設定/LOG確認	88
設定手順	88
設定関連項目	88
LOG関連項目	96
□ セルステーション設定シート	98

□安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示(文字含む)を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示(文字含む)を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明



一般的注意

注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



禁止

してはいけない行為(禁止行為)を示す記号



電源プラグを抜く



必ずしてほしい行為(強制・指示行為)を示す記号



警告

- 電源(AC100 V)の接続には十分ご注意ください。誤った配線・接続は火災や感電の原因となります。

- 電源はAC100 V以外で使用しない。
- 電源ケーブルを束ねて使用しない。
- 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない。また、半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭く。
- 電源プラグをコンセントに接続するときは、根元まで確実に差し込む。
- 機器は、コンセントの近くに設置する。また、電源プラグが抜きやすいように設置する。



- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のときは、すぐに電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 落雷により不具合が発生した場合は、すみやかにサービス窓口にご連絡ください。



- 電源コードや機器の配線ケーブルは、取り扱いに気をつけてください。火災や故障の原因となります。



- 上にものを乗せない。
- 傷をつけない。
- 無理に曲げない。
- 引っ張らない。



- 電源プラグは、アース付のコンセントに接続してください。アース付コンセントに接続できない場合は、機器背面のアース端子を使用してアース接続を行なってください。このとき、アース接続は、電源プラグをコンセントに接続する前に行なってください。また、アース線をはずすときは、あらかじめ電源プラグをコンセントから抜いてください。



警告

- 火気を近づけないでください。機器表面などが変形、劣化したり、故障の原因となります。
- 機器の中に異物を入れないでください。火災や故障の原因となります。
- 機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと機器内部の温度が上昇し、やけどや故障の原因となります。

注意

- 機器を壁面に取り付けるときは、機器の質量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付けてください。強度が足りない場合、落下し、けがをすることがあります。
- 機器間の接続線に足などを引っかけないようにご注意ください。つまりいでけがの原因となることがあります。
- 取り付けねじやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けが不十分だと落下する原因となります。確実に締め付けてください。
- 包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息の原因となります。
- 機器を壁面、天井などに取り付けるときは、機器をしっかり手で押さえ、落とさないようにご注意ください。けがや機器の故障の原因となります。

設置・設定時のご注意

- 本システムの設置は、高所での作業を伴います。設置工事は必ず販売店または専門の工事店にご依頼ください。
- 設置作業は、けがや事故を防止するため、ヘルメット、安全靴や手袋など、設置に適した服装で行なってください。
- すべての工事・配線が完了したら、電源を入れる前にもう一度、すべての結線・配線・コネクタが確実に接続できているか、また、極性、配線間違いがないか確かめてください。予期せぬ事故を未然に防げます。

技術基準適合証明ラベルについて

- セルステーションWD-T300、ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300およびワイヤレストランシーバーWD-WT20には、「技術基準適合証明品」をあらわす証明ラベルが貼ってあります。証明ラベルを剥がしたり、破いたりしないでください。サービスを受けられなくなります。

電波について

● 本システムの使用周波数に関わるご注意

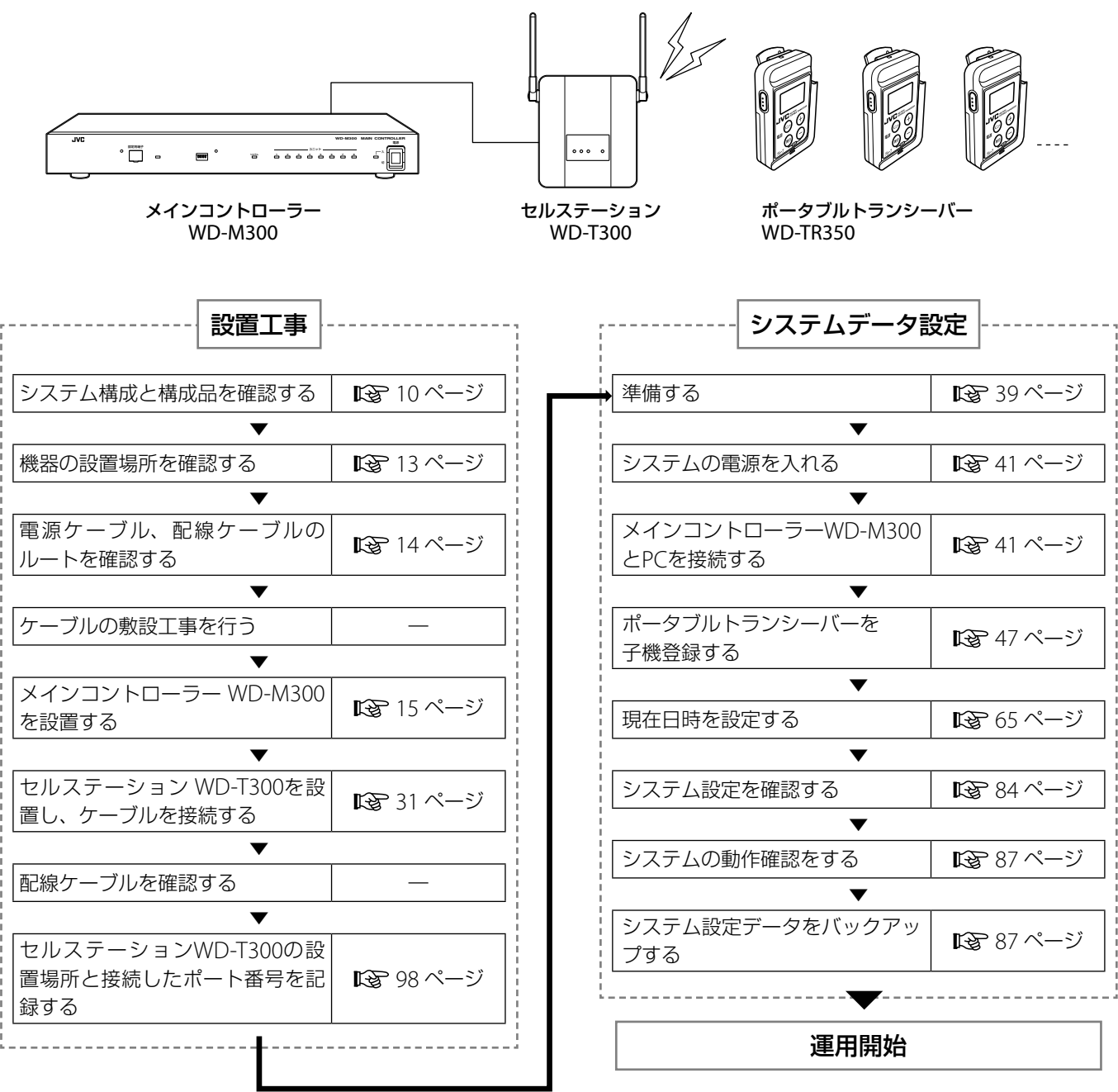
本システムの使用周波数帯では、PHSの無線局のほかに異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

本システムは、同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本システムから他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本システムの電源を切って、お買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

□システム設置・設定例

WD-3000シリーズを運用するためには、「設置工事」と「システムデータ設定」の2つの作業を行います。
ここでは、WD-3000シリーズを基本的な構成で運用する場合の設置工事、システムデータ設定の流れを説明します。
標準的な設置工事とシステムデータ設定の手順については、「設置工事の推奨手順」(🔗 9 ページ) および「システムデータの設定と動作確認」(🔗 38 ページ)をご覧ください。

WD-3000シリーズ基本構成の設置・設定手順の例(1グループで運用する場合)



□ 設置工事の推奨手順

設置工事の標準的な手順を示します。
次の**1～10**のステップを参考に進めてください。

設置工事開始

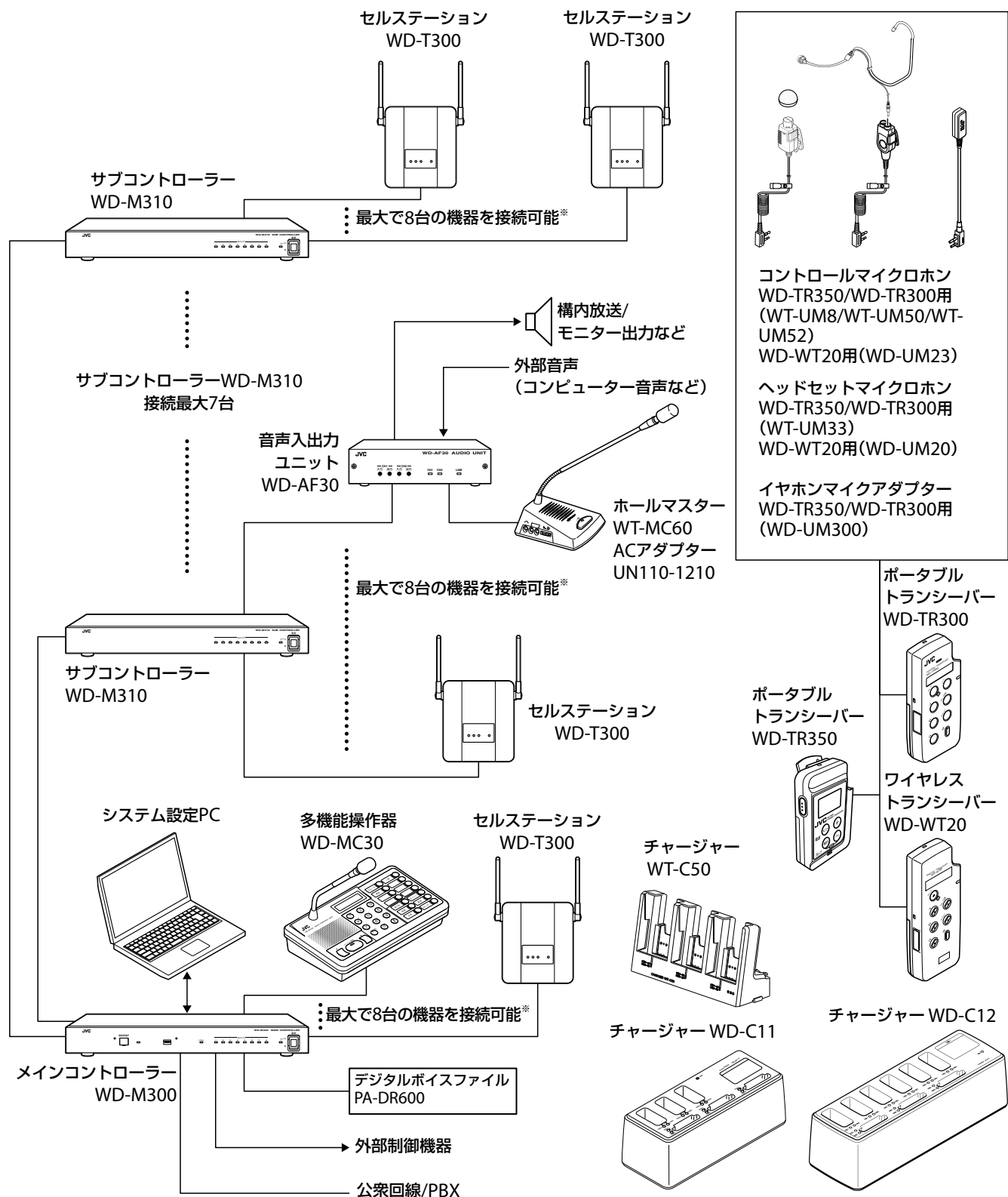
ステップ 1	システム構成および構成品の確認	🔗 10 ページ
ステップ 2	機器の設置場所の確認	🔗 13 ページ
ステップ 3	電源ケーブル、配線ケーブルのルート確認	🔗 14 ページ
ステップ 4	ケーブルの敷設工事	
ステップ 5	メインコントローラー WD-M300の設置	🔗 15 ページ
ステップ 6	サブコントローラー WD-M310の設置	🔗 21 ページ
ステップ 7	インカムユニットの設置	
	多機能操作器 WD-MC30	🔗 23 ページ
	音声入出力ユニット WD-AF30	🔗 26 ページ
	セルステーション WD-T300	🔗 31 ページ
ステップ 8	インカムユニットへのケーブル接続	
	多機能操作器 WD-MC30	🔗 24 ページ
	音声入出力ユニット WD-AF30	🔗 27 ページ
	セルステーション WD-T300	🔗 35 ページ
ステップ 9	配線ケーブルチェック	
ステップ 10	セルステーションWD-T300の設置場所と接続したポート番号の記録	🔗 98 ページ

設置工事終了

システムデータの設定は「システムデータ設定の手順」(🔗 38 ページ)をご覧ください。

□システム構成および構成品の確認

システム構成図



※ メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310 1台につき、セルステーションWD-T300、多機能操作器WD-MC30、音声入出力ユニットWD-AF30を組み合わせると最大8台まで接続できます。

システム構成表

No.	機種名	商品名	備考
1	WD-M300	メインコントローラー	システム全体を制御します。PCによるシステムデータの設定ができます。
2	WD-M310	サブコントローラー	メインコントローラーに接続する増設ユニットです。(7台まで接続可能)
3	WD-MC30	多機能操作器	モニタースピーカーを搭載したマイクユニットです。グループ通話や個別通話、外線電話の発着信などの操作を行うインカム通話端末として使用します。
4	WD-AF30	音声入出力ユニット	他の音響機器、またはホールマスターと接続し、外部機器の音声信号をインカム通話に入力したり、インカム通話の音声を外付機器に出力できます。
5	WD-T300	セルステーション	ポータブルトランシーバー/ワイヤレストランシーバーとの通信を行います。
6	WD-TR350	ポータブルトランシーバー	インカムシステムの子機です。セルステーションと無線通信を行う、バックライトつきLCDが搭載されたトランシーバーです。外線電話の発着信もできます。
7	WD-TR300	ポータブルトランシーバー	インカムシステムの子機です。セルステーションと無線通信を行うトランシーバーです。外線電話の発着信もできます。
8	WD-WT20	ワイヤレストランシーバー	800 MHz帯ワイヤレスマイク機能を内蔵した、インカムシステムの子機です。セルステーションと無線通信を行うトランシーバーです。
9	WT-UM8	コントロールマイクロホン	ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300用のコントロールマイクロホンです。(タイピン接話型)
10	WT-UM50	コントロールマイクロホン	ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300用のコントロールマイクロホンです。(タイピン型)
11	WT-UM52	コントロールマイクロホン	ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300用のコントロールマイクロホンです。(イヤホン・マイク一体型)
12	WT-UM33	コントロールマイクロホン	ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300用のコントロールマイクロホンです。(ヘッドセット型)
13	WD-UM300	イヤホンマイクアダプター	ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300用の変換アダプターです。KENWOODブランドのアクセサリ(コントロールマイクロホンなど)と接続して使用します。
14	WD-UM20	コントロールマイクロホン	ポータブルトランシーバーWD-WT20専用のコントロールマイクロホンです。(ヘッドセット型)
15	WD-UM23	コントロールマイクロホン	ポータブルトランシーバーWD-WT20専用のコントロールマイクロホンです。(タイピン型)
16	WT-MC60	ホールマスター	音声入出力ユニットWD-AF30に接続してインカム通話に参加できます。
17	WT-C50	チャージャー	ポータブルトランシーバーWD-TR350用の充電器です。(3台まで同時充電可能)
18	WD-C11	チャージャー	ポータブルトランシーバーWD-TR300/ワイヤレストランシーバーWD-WT20用の充電器です。(3台まで同時充電可能)
19	WD-C12	チャージャー	ポータブルトランシーバーWD-TR300/ワイヤレストランシーバーWD-WT20用の充電器です。(6台まで同時充電可能)
20	PS-RU11	ラックマウント金具	メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310をEIAラックに取り付ける場合に使用します。
21	WDZU30BJ	WD-AF30用ラックマウント金具(幹旋品)	音声入出力ユニットWD-AF30をEIAラックに取り付ける場合に使用します。
22	WDZS30J	子機登録用ソフトウェアキット(幹旋品)	ワイヤレストランシーバーWD-WT20をシステムに登録するときに使用します。

- ・ シンプル通話モードを使用する場合は、次の機器を使用してください。
 - ポータブルトランシーバーWD-TR300(G)を使用する場合は、メインコントローラーWD-M300(G)以降
 - ポータブルトランシーバーWD-TR350(H)を使用する場合は、メインコントローラーWD-M300(H)以降
 - セルステーションWD-T300(G)タイプ以降
 - ポータブルトランシーバーWD-TR350(H)/WD-TR300(G)以降
 - ・ WD-WT20では、シンプル通話機能はご使用いただけません。
 - ・ (E)より前のタイプをご使用の場合、ヒアリングモードの機能の一部がご使用いただけません。
 - ・ WD-TR350のチャージャーは、WT-C50(B)タイプ以降を使用してください。
- 機器の型名、タイプは機器本体のネームプレートに記載されています。

システム構成および構成品の確認

システムの機器バージョンと追加機能

WD-3000シリーズには5つのバージョンがあり、バージョンが進むごとに次のような機能が追加されています。
WD-3000(C)：シームレスハンドオーバー、ヒアリングモード、外線取次
WD-3000(E)：ヒアリングモードの機能拡張
WD-3000(G)：シンプル通話モード (WD-TR350非対応)
WD-3000(H)：シンプル通話モード (WD-TR350対応)

システムのバージョンと各機器の互換性は下表のようになります。

シリーズ	メインコントローラー		WD-MC30		WD-AF30	WD-T300				WD-TR300			WD-TR350			WD-TR200		WD-WT20	
	タイプ		タイプ	-	(C)	-	-	(C)	(E)	(G)	-	(E)	(G)	(C)	(E)	(H)	(C)	(D)	-
WD-3000	-	WD-M300	-	○	※	○	○	※	※	※	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	(C)		(C)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	(E)		(E)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(G)		(G)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(H)		(H)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※：この組み合わせでは使用できない機能があります。詳細はお近くのサービス窓口へご相談ください。

工事手配品一覧

工事手配品名	用途	参照ページ
配線用ケーブル	ケーブル配線	14 ページ
テレホンモジュラーコード (6極2芯または6極4芯)	公衆回線/PBXの接続	19 ページ
RS-232Cストレートケーブル	PA-DR600の接続	20 ページ
Φ6.3フォンプラグ	音声入出力ユニットの接続	28 ページ
ねじまたは木ねじ2本×CS設置台数分 (M4×25程度)	セルステーション壁・天井取り付け	35 ページ
防水シール	セルステーション防水処理	35 ページ
木ねじ1本×CS設置台数分 (径寸任意)	セルステーション天井取り付け	37 ページ

□ 機器の設置場所の確認

機器の設置場所について条件を満たしているかの確認を行います。

設置上のご注意

- 設置工事は、必ず電源を切った状態で行なってください。
- 付属品、または専用品以外を接続しないでください。故障、誤動作の原因となります。
- 水のかかる場所(屋外、浴室など)や湿気の多い場所に設置しないでください。感電や故障の原因となります。
- ほこりや振動の多いところに設置しないでください。故障や破損の原因となります。
- 直射日光、暖房設備、ボイラーなど特に温度の上がる場所に設置しないでください。機器表面などが変形、劣化したり、故障の原因となります。
- 硫化水素の発生する場所に設置しないでください。故障や機器の寿命が短くなる原因となります。

設置条件

各機器の設置条件、使用環境条件は、次のとおりです。

機種名	使用温度範囲	各機器共通条件
メインコントローラー WD-M300	0℃～40℃	- 湿度：20%～80% RH (つゆつきなし) - 急激な温度、湿度の変化がないこと - 換気のよい場所 - 高周波マシン、電気溶接機から離れた場所 - コンピューター、OA機器から離れた場所 - ラジオ、テレビ、無線機器から離れた場所 - 医療用機器から離れた場所 - 動力線から離れた場所 - ノイズ源となるような機器から離れた場所 - 直射日光の当たらない場所 - 通行の妨げにならない場所 - 雨水のかからない場所 - 金属粉、塵埃の少ない場所 - 振動、騒音の少ない場所 油、化学薬品などの化学変化の影響を受けにくい場所
サブコントローラー WD-M310	0℃～40℃	
多機能操作器 WD-MC30	0℃～40℃	
音声入出力ユニット WD-AF30	0℃～40℃	
セルステーション WD-T300	-10℃～50℃	
ポータブルトランシーバー WD-TR350	0℃～40℃	
ポータブルトランシーバー WD-TR300	0℃～40℃	
ワイヤレストランシーバー WD-WT20	0℃～40℃	
チャージャー WT-C50、WD-C11、WD-C12	5℃～35℃	

□電源ケーブル、配線ケーブルのルート確認

機器の設置にあたって必要となる電源ケーブルおよび配線ケーブルのルートの確認を行います。

配線ケーブル条件

メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310と各インカムユニット間の配線ケーブルは、2芯のツイストペア線を使用してください。
下記のケーブル、または、同等品を使用してください。

- 富士電線株式会社 電子ボタン電話デジタル伝送用ケーブル ICT

メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310と各インカムユニット間の配線ケーブルの仕様と配線距離は、次のとおりです。

インカムユニット	配線距離		配線ケーブル仕様
	線径	最大配線距離	
多機能操作器 WD-MC30	φ0.5 mm	300 m	2芯(1P)
	φ0.65 mm	500 m	
音声入出力ユニット WD-AF30	φ0.5 mm	300 m	
	φ0.65 mm	500 m	
セルステーション WD-T300	φ0.5 mm	600 m	
	φ0.65 mm	1000 m	



配線ケーブルは、動力機器などの電源ケーブルと一緒に束ねたり、平行してはわせないようにしてください。
通話にノイズが入ったり、誤作動の原因となることがあります。

■ 構内端子盤で中継する場合

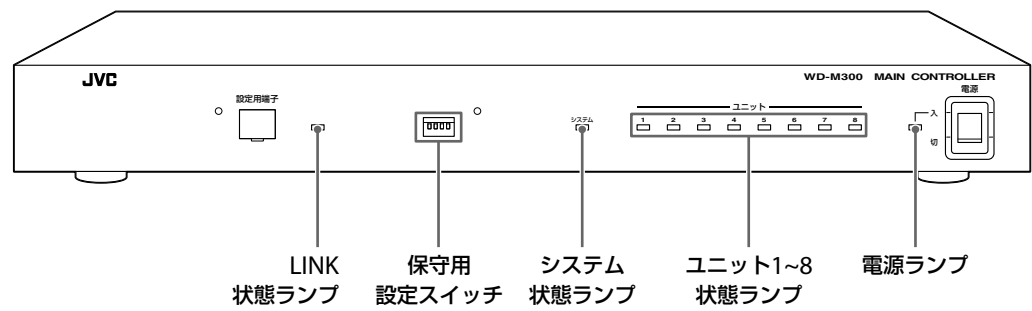
配線ケーブルを構内端子盤(IDF)などで中継する場合は、入線、出線とも同じ線径としてください。
例. 入線φ0.5 mm の場合は、出線もφ0.5 mm とする



メインコントローラーWD-M300の設置

本システム全体の制御を行うメインコントローラーWD-M300を設置します。インカムユニット (WD-MC30、WD-AF30、WD-T300)、サブコントローラーWD-M310、電話回線を接続します。
メインコントローラーWD-M300には、外部機器の制御を行う接点端子、外部の音源装置を起動するシリアルデータ出力端子があります。

外観



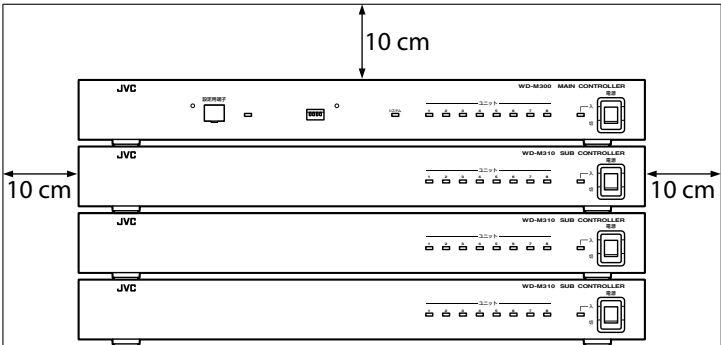
ランプ表示

ランプの表示によって、本体(WD-M300)や接続機器の状態を確認できます。

ランプの名前	表示状態	表示内容	備考
電源	消灯	電源OFF	
	点灯	電源ON	
システム	消灯	システム起動中	
	点滅	異常	
	点灯	正常動作中	
ユニット1~8	消灯	ユニット未接続	システム起動中は消灯
	遅い点滅(1秒間に1回点灯)	ユニット起動中	
	速い点滅(1秒間に2回点灯)	異常	
	点灯	正常動作中	
LINK	消灯	PC未接続	結線不良、通信不良
	点灯	PC接続	

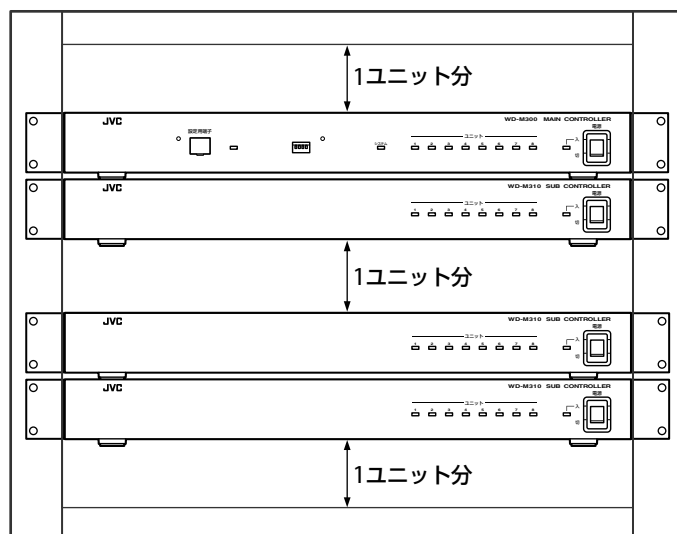
設置上のご注意

- 電源プラグは、必ずアース付のコンセントに差し込んでください。
- メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310を棚などに積み重ねて設置する場合は、4段までとし、メインコントローラーWD-M300を最上段にしてください。上側、左右は10 cmほど空け、上にものを乗せないでください。



メインコントローラーWD-M300の設置

- ラックマウントする場合は、2段ごとに1ユニット分空けてマウントしてください。また、最下段、最上段も1ユニット分空けてください。空けたスペースにはベンチレートパネルを取り付けてください。



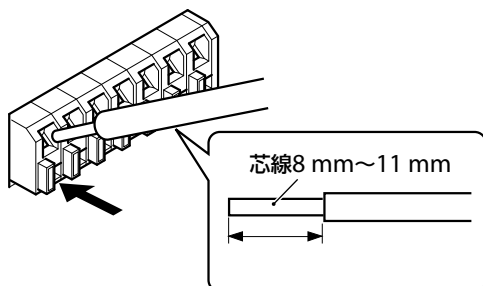
- 配線ケーブル、電源ラインなどからのノイズが通話に入る場合は、メインコントローラーWD-M300とサブコントローラーWD-M310の背面の接地端子を最短で接続してください。

接続する

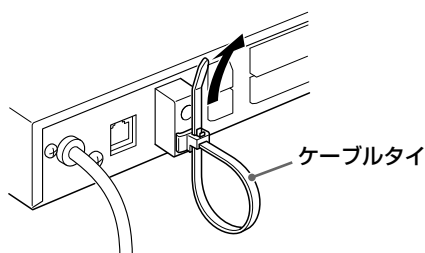
メインコントローラーWD-M300への機器の接続方法について説明します。

■ 配線ケーブルの接続方法

配線ケーブルを使用した接続は以下の手順で行います。



- 1 ケーブルの被ふくを8 mm～11 mmむく
- 2 左図の矢印部をマイナスドライバーなどで押して芯線を端子穴の奥までまっすぐに差し込む
- 3 ケーブルを引っ張って抜けないことを確かめる
ケーブルをはずす場合は、マイナスドライバーなどで矢印部を押し、ケーブルを引き抜きます。
- 4 すべての接続が終わったら、本体(WD-M300)に添付のケーブルタイを取り付け、ケーブルをまとめる



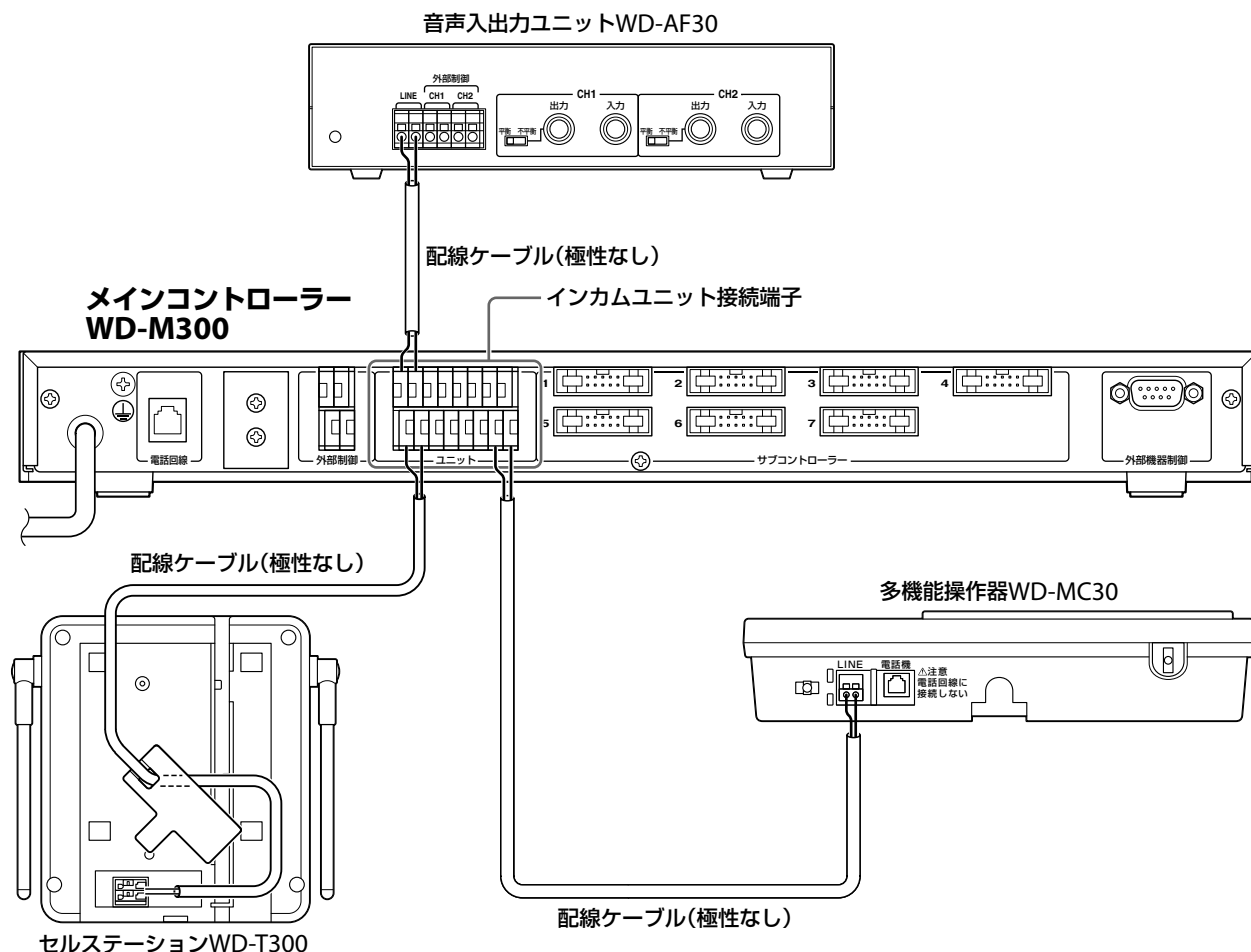
■ インカムユニットを接続する

多機能操作器WD-MC30、音声入出力ユニットWD-AF30、セルステーションWD-T300を接続します。

接続できるインカムユニットの台数は、合計で8台です。

接続するインカムユニット接続端子に指定はありません。どの端子にも接続できます。

配線ケーブルについては、「配線ケーブル条件」(14 ページ)をご覧ください。



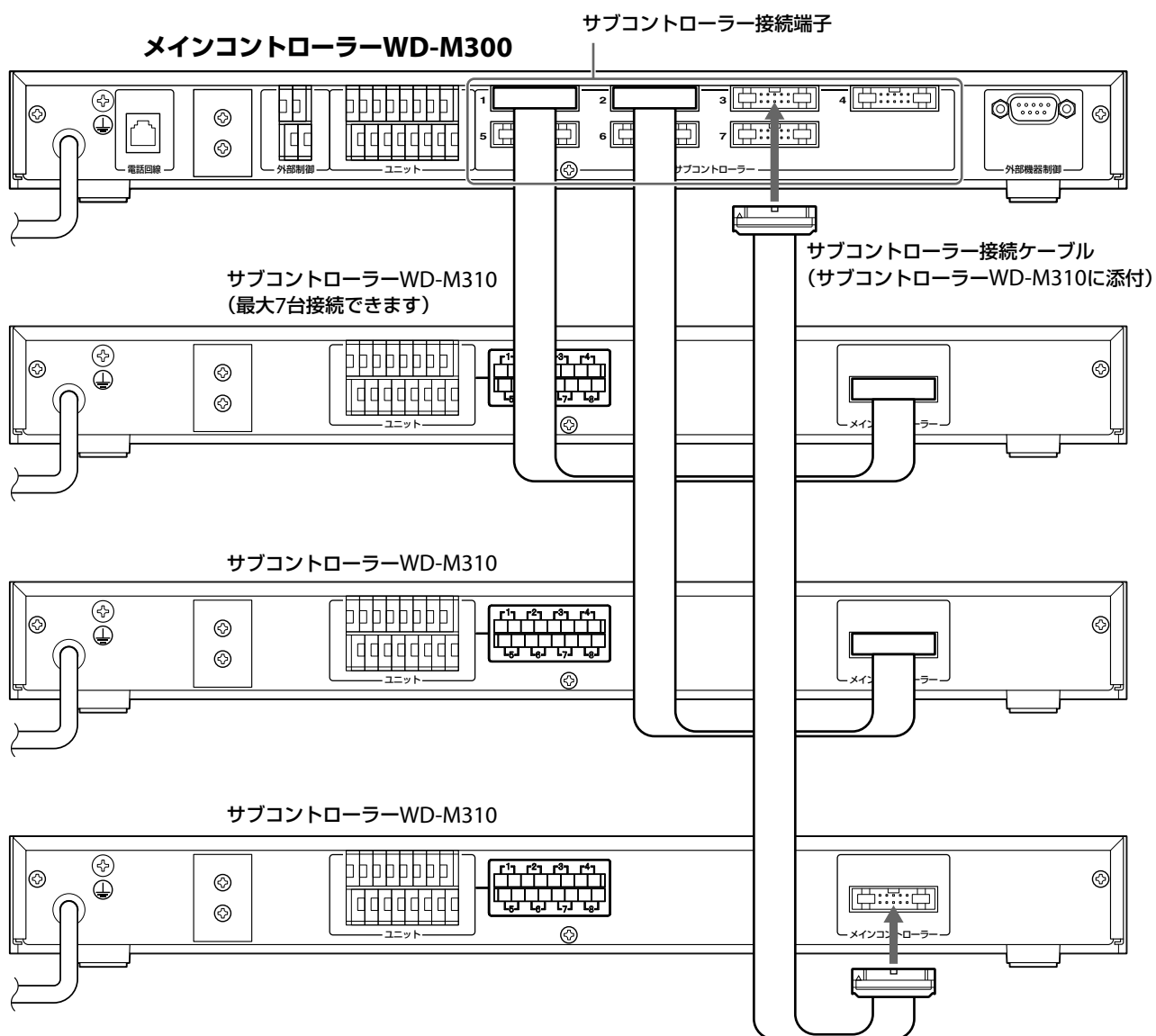
メインコントローラーWD-M300の設置

■サブコントローラーWD-M310を接続する

接続するインカムユニットの台数が8台を超えるときは、サブコントローラーWD-M310を接続します。
接続するケーブルは、必ずサブコントローラーWD-M310に添付のサブコントローラー接続ケーブルを使用してください。
接続できるサブコントローラーWD-M310は、最大7台です。

ご注意

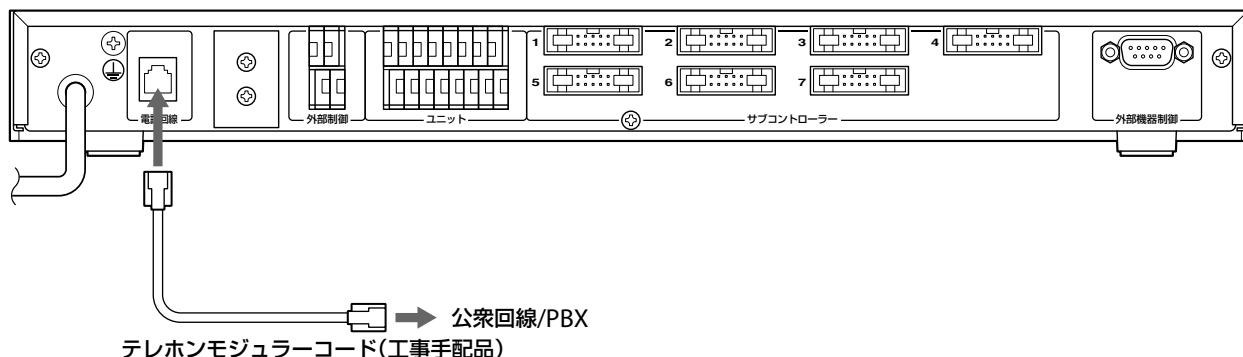
サブコントローラー接続端子の1番から順に接続してください。



■ 公衆回線/PBXに接続する

公衆回線、PBXに接続することで、外線電話とのやり取りができるようになります。
公衆回線、PBXともにアナログ回線(1回線)のみ接続できます。デジタル回線、光回線は接続できません。

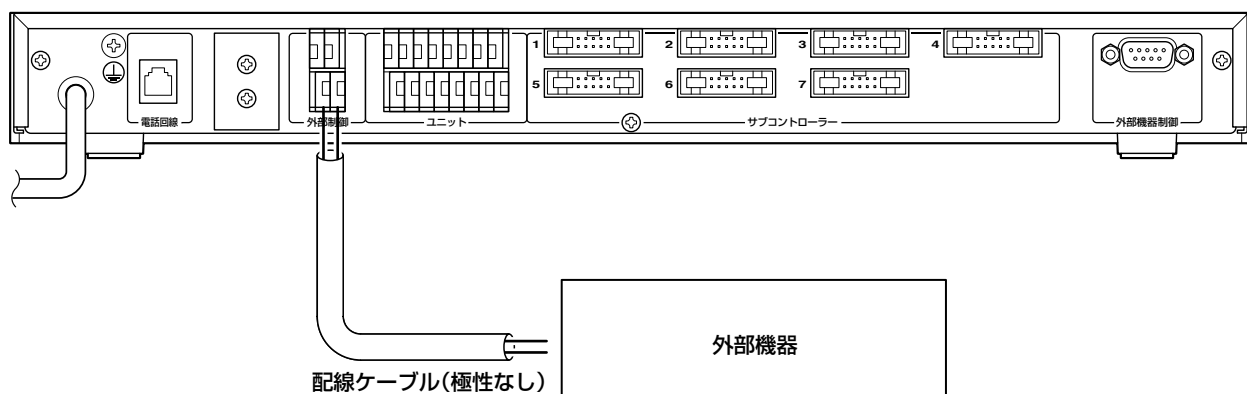
メインコントローラーWD-M300



■ 外部機器を接続する

外部機器を接続する場合は、制御する外部機器のリモート端子などに接続します。
外部制御の端子はリレー接点(メーク/ブレイク選択可)で、接点の容量はDC24V 1Aです。

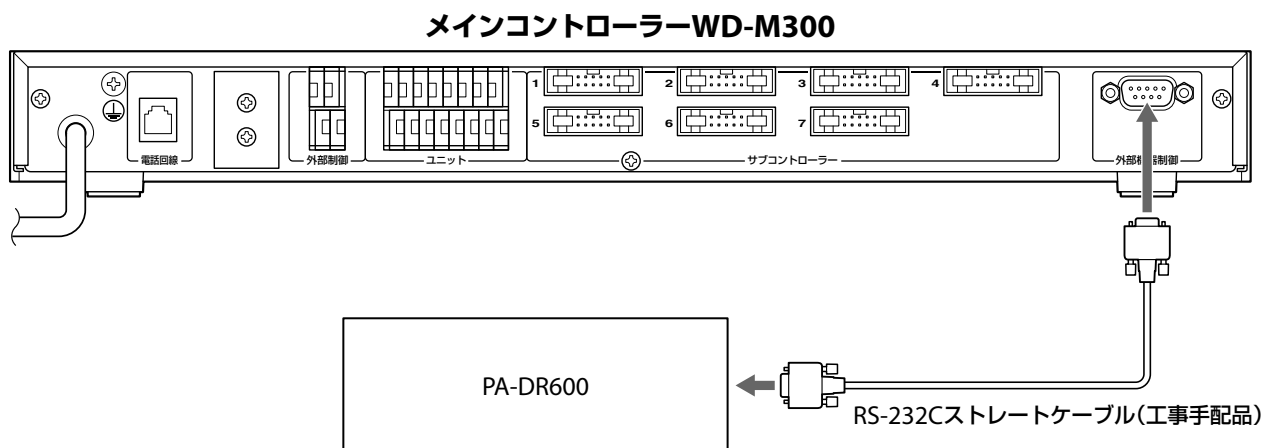
メインコントローラーWD-M300



メインコントローラーWD-M300の設置

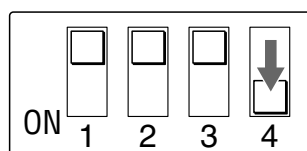
■ PA-DR600を接続する

デジタルボイスファイルPA-DR600を接続することで、子機操作により、あらかじめ録音したアナウンスメッセージをインカム通話に入力したり構内(フロア)放送することができます。



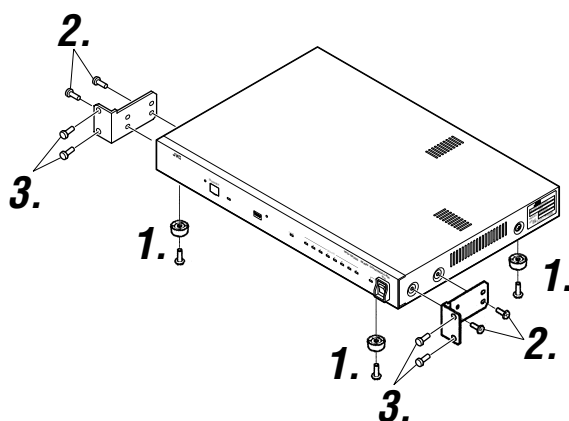
PA-DR600を接続する場合は、メインコントローラーWD-M300正面の保守用設定スイッチのスイッチ4をONにします(スイッチ1～3はOFFにしておく)。

保守設定用スイッチを切り換えたら、メインコントローラーWD-M300を再起動してください。



ラックマウントする場合

ラックに取り付ける場合は、別売のラックマウント金具PS-RU11を用いて取り付けます。



1 フットをはずす

メインコントローラーWD-M300のフット(4か所)をはずします。

2 ブラケットを取り付ける

メインコントローラーWD-M300の左右に付いているねじを各2本はずし、ラックマウント金具に添付のねじ(M4各2本)でブラケットを取り付けます。

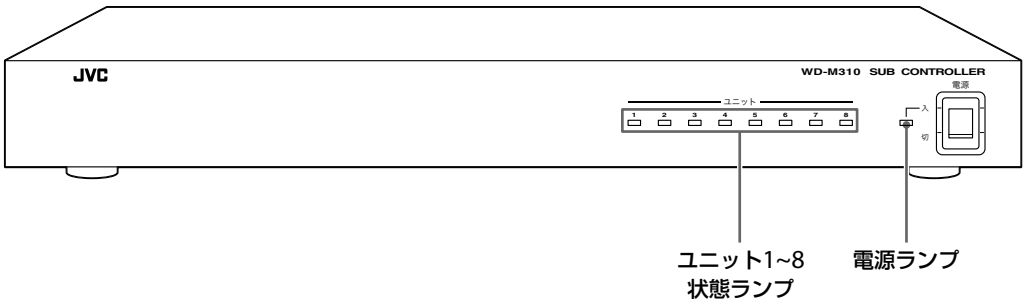
3 EIAラックに取り付ける

ラックマウント金具に添付のねじ(M5各2本)で、メインコントローラーWD-M300をラックに取り付けます。

□サブコントローラーWD-M310の設置

サブコントローラーWD-M310は、メインコントローラーWD-M300に接続することで、インカムユニットの接続台数を増やすことができる機器です。増設用のインカムユニット(WD-MC30、WD-AF30、WD-T300)を接続します。

外観



■ランプ表示

ランプの表示によって、本体(WD-M310)や接続機器の状態を確認できます。

ランプの名前	表示状態	表示内容	備考
電源	消灯	電源OFF	
	点灯	電源ON	
ユニット1~8	消灯	ユニット未接続	システム起動中は消灯
	遅い点滅(1秒間に1回点灯)	ユニット起動中	
	速い点滅(1秒間に2回点灯)	異常	
	点灯	正常動作中	

サブコントローラーWD-M310の設置

接続する

サブコントローラーWD-M310への機器の接続方法について説明します。

■ 配線ケーブルの接続方法

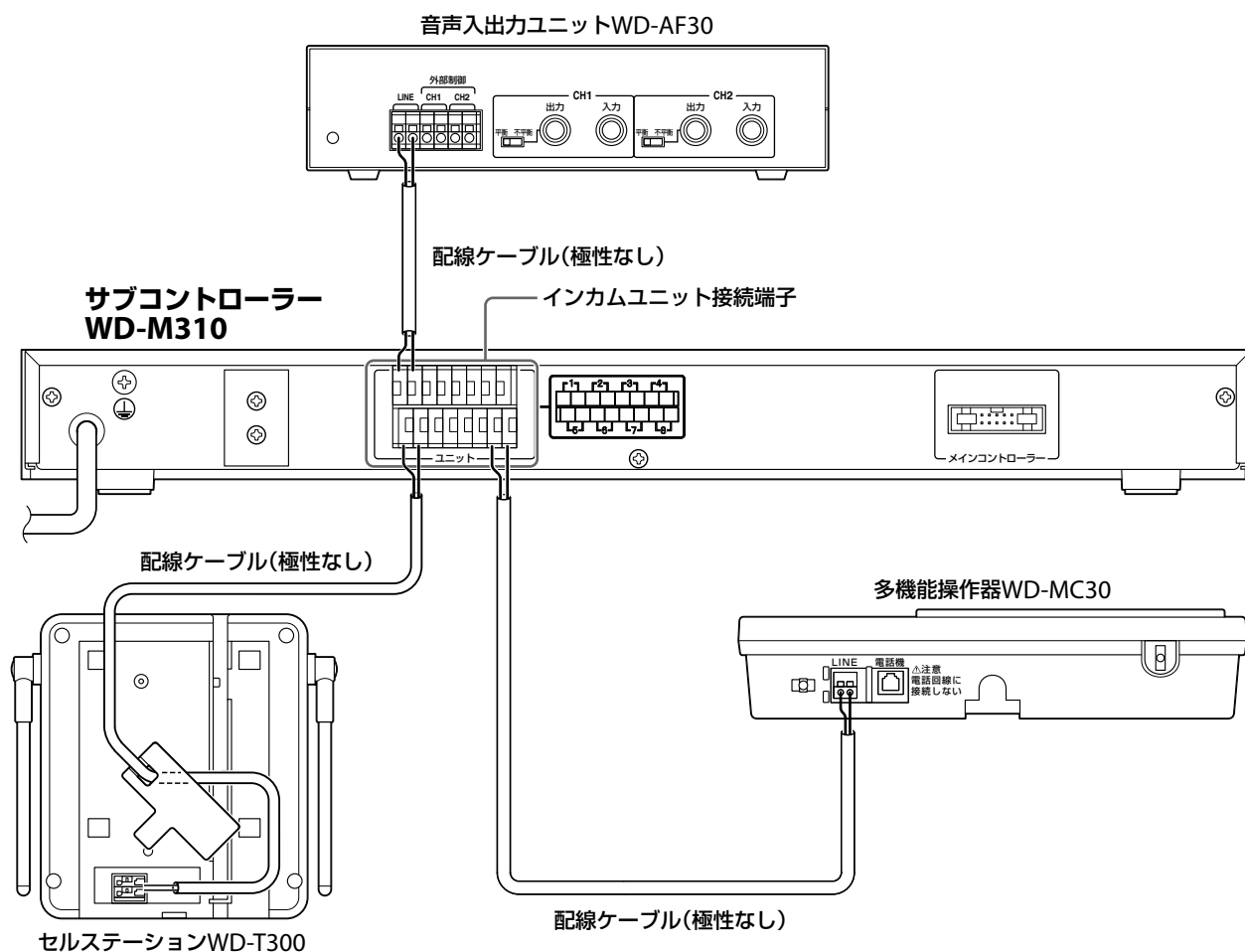
配線ケーブルを使用した接続は、メインコントローラーWD-M300と同じ手順で行なってください。(16 ページの「配線ケーブルの接続方法」)

■ インカムユニットを接続する

増設用の多機能操作器WD-MC30、音声入出力ユニットWD-AF30、セルステーションWD-T300を接続します。接続できるインカムユニットの台数は合計で8台です。

接続するインカムユニット接続端子に指定はありません。どの端子にも接続できます。

配線ケーブルについては、「配線ケーブル条件」(14 ページ)をご覧ください。



ラックマウントする場合

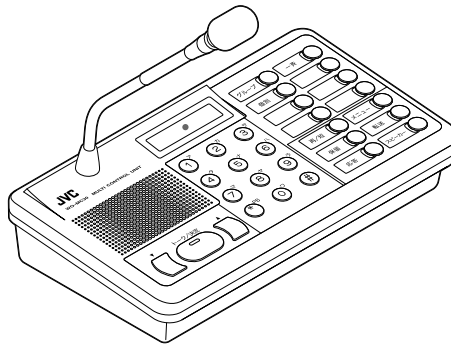
ラックマウントする場合は、メインコントローラーWD-M300と同じ手順で行なってください。(20 ページ)

□ 多機能操作器WD-MC30の設置

多機能操作器WD-MC30は、内線電話機またはインカム端末として使用できるユニットです。メインコントローラーWD-M300またはサブコントローラーWD-M310に接続して使用します。

また、市販のアナログ電話機を接続することにより、本体のスピーカー、マイクの代わりとして通話に使用することができます。

外観



設置上のご注意

- 机、テーブルなどに据置設置する場合、配線ケーブルに足などを引っかけないようにケーブルの処理を行なってください。ケーブルを引っかけて、ケーブルが切れたり、本体が落下する場合があります。

多機能操作器WD-MC30の設置

接続する

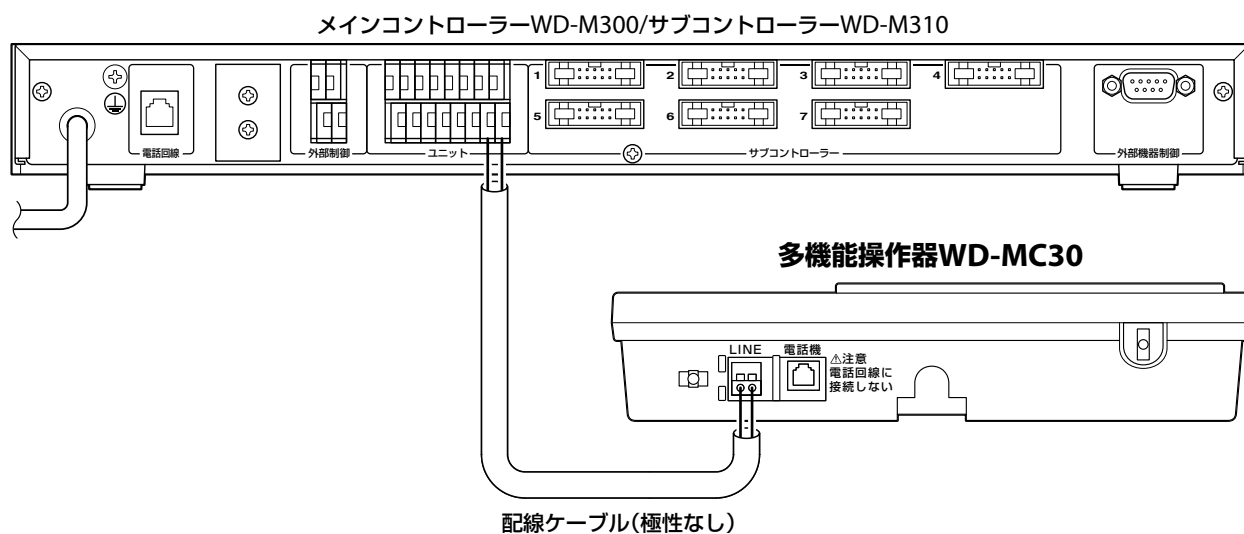
多機能操作器WD-MC30と各機器の接続方法について説明します。

■ 配線ケーブルを接続する

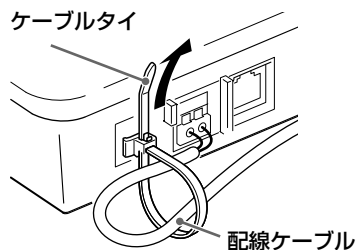
メインコントローラーWD-M300/サブコントローラーWD-M310からの配線ケーブルをLINE端子に接続します。



メインコントローラーWD-M300/サブコントローラーWD-M310のユニット接続端子には、ポート番号が割り当てられています。接続する端子(ポート番号)によってユニット番号が変わります。ポート番号とユニット番号については、「ポート番号とユニット番号について」(P. 40 ページ)をご覧ください。



ケーブル接続後、本体(WD-MC30)に添付のケーブルタイで固定してください。



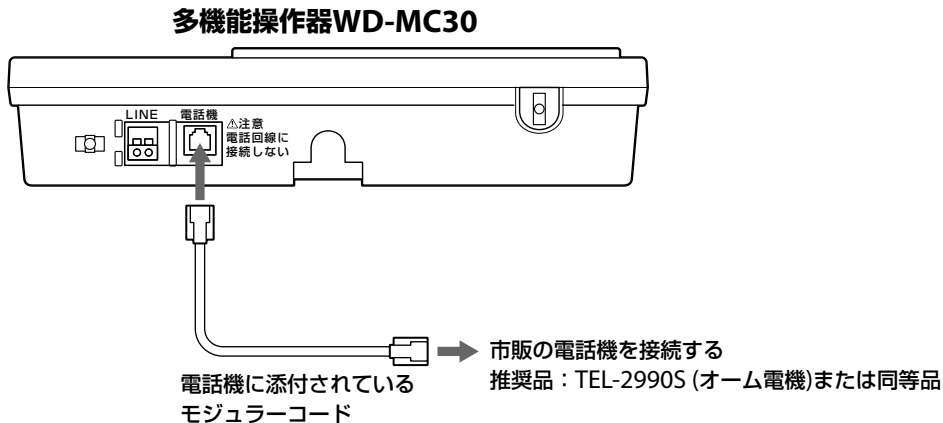
電話機を接続する

電話機を接続することで、送受話器（ハンドセット）での送話と受話ができます。接続中は電話機のテンキーなどのボタン類の操作はできません。

テンキーなどボタン類の操作は、多機能操作器WD-MC30本体のテンキー、ボタンで行います。ハンドセットを持ち上げる（オフフック）と、多機能操作器WD-MC30のマイクとスピーカーは無効になります。

ご注意

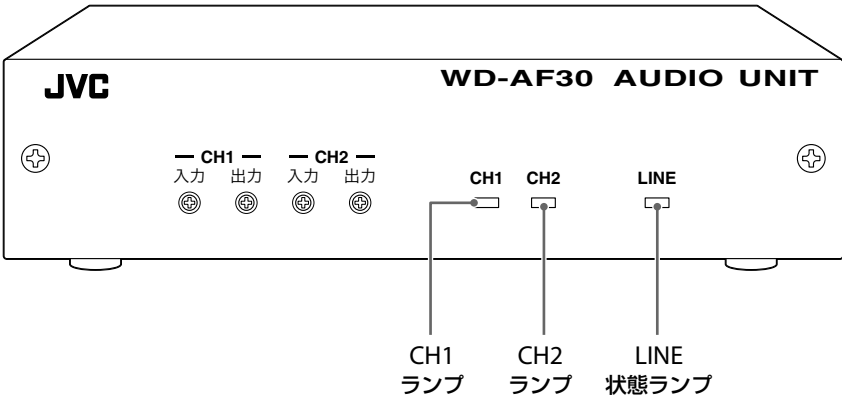
- 電話機は、推奨品、または同等の技術基準適合認定品を使用してください。
- FAXやモデムは絶対に接続しないでください。
- 公衆回線/PBXには絶対に接続しないでください。



□ 音声入出力ユニットWD-AF30の設置

音声入出力ユニットWD-AF30は、外部の音声信号をインカムグループ通話に入力したり、グループ通話を外部に出力するためのユニットです。メインコントローラーWD-M300またはサブコントローラーWD-M310に接続して使用します。
また、構内放送設備に接続することで、構内放送にも使用できます。

外観



■ ランプ表示

ランプの表示によって、本体(WD-AF30)や接続機器の状態を確認できます。

ランプの名前	表示状態	表示内容	備考
CH1、CH2	消灯	ユニット設定なし	
	点滅	ユニット起動中	
	点灯*	正常動作中	
LINE	点滅	接続中	
	点灯	正常動作中	

* 設定が「放送出力」になっている場合は、放送中のみ点灯します。

接続する

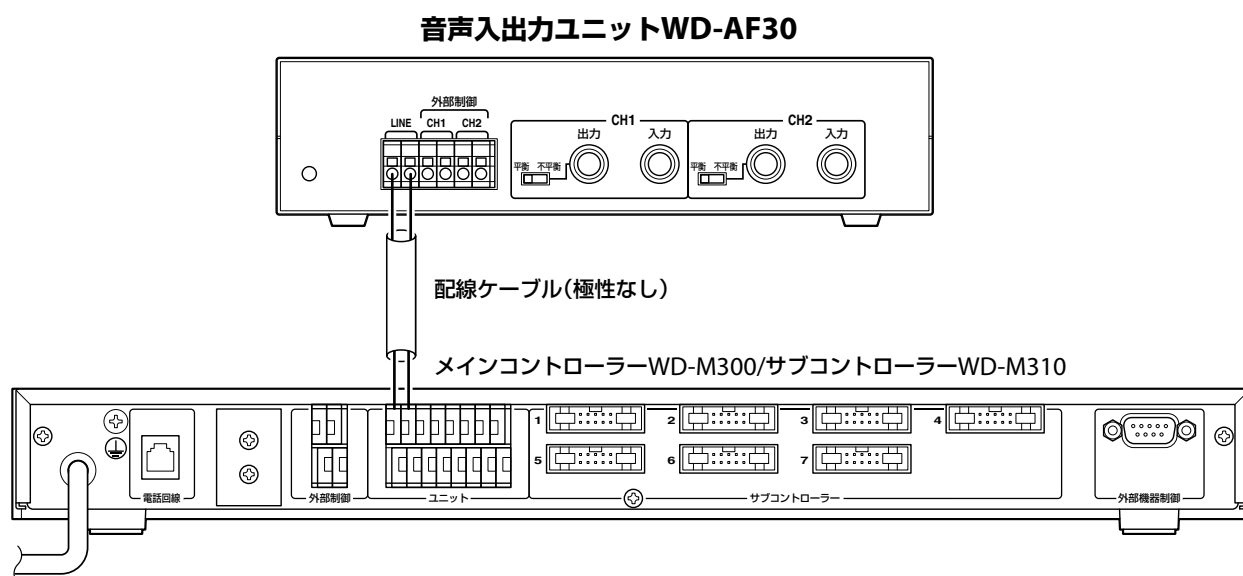
音声入出力ユニットWD-AF30の接続、音声入出力ユニットWD-AF30への機器の接続方法について説明します。

■ 配線ケーブルを接続する

メインコントローラーWD-M300/サブコントローラーWD-M310からの配線ケーブルをLINE端子に接続します。



メインコントローラーWD-M300/サブコントローラーWD-M310のユニット接続端子には、ポート番号が割り当てられています。接続する端子(ポート番号)によってユニット番号が変わります。ポート番号とユニット番号については、「ポート番号とユニット番号について」(P. 40 ページ)をご覧ください。

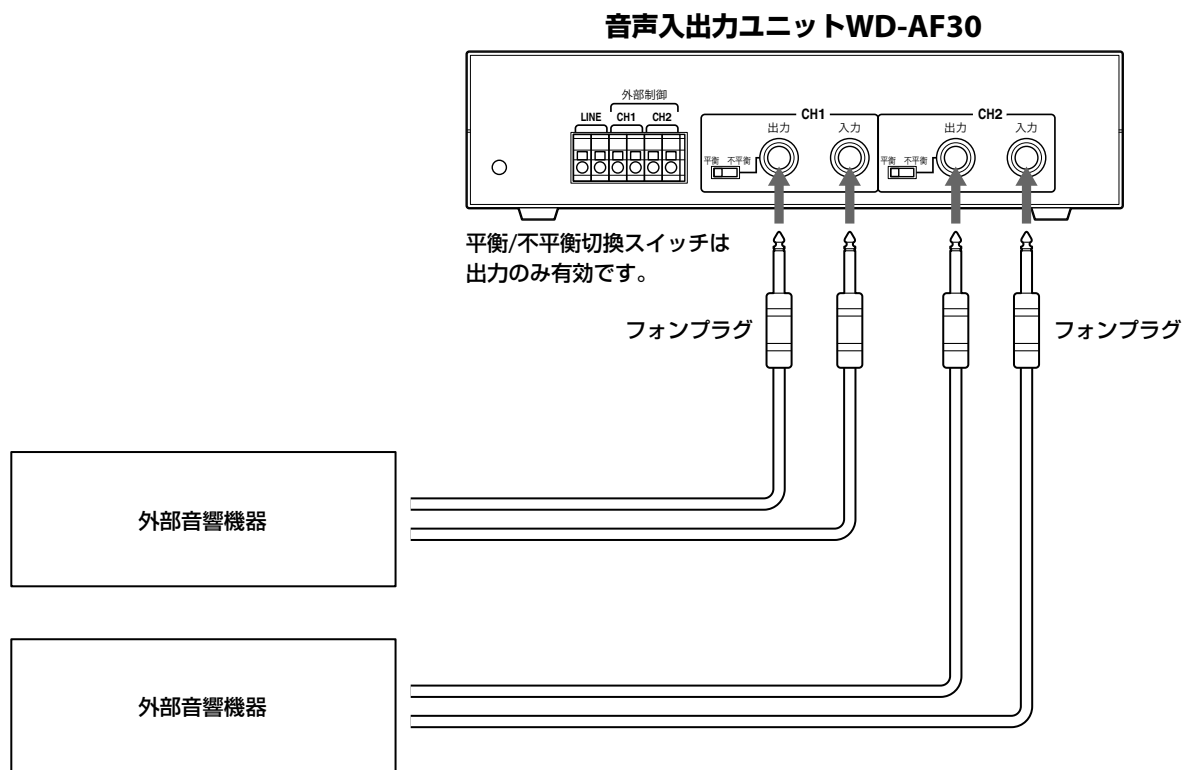


音声入出力ユニットWD-AF30の設置

■ 外部音響機器を接続する

外部音響機器を接続することで、音声入出力ユニットWD-AF30を通してグループ通話などを外部に出力することができます。

外部制御の端子はリレー接点(メーク/ブレイク選択可)で、接点の容量はDC24V 1Aです。



入出力が不平衡の機器と接続する場合は、平衡/不平衡切換スイッチを「不平衡」側に切り換えてください。
また、必ずモノラル用のフォンプラグを使用してください。

音声入出力ユニットWD-AF30の入出力レベルは次の値が標準です。

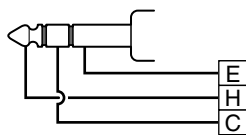
入力：-16dBs (平衡)、-10dBs (不平衡)

出力：-4dBs (平衡)、-10dBs (不平衡)

正面のCH1、CH2の半固定ボリュームの可変範囲は、標準入出力レベルに対して+6dB、-∞です。

平衡の場合の配線

フォンプラグ

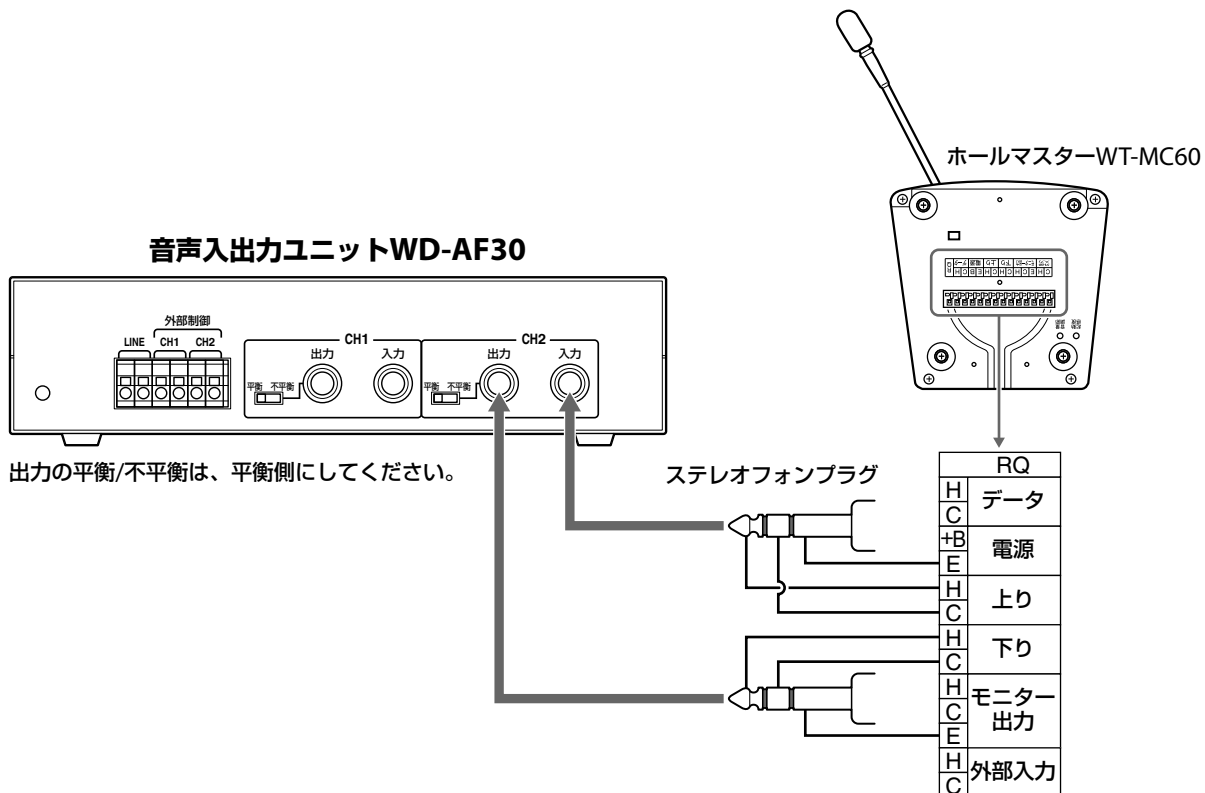


■ ホールマスターWT-MC60を接続する

ホールマスターWT-MC60を接続することで、音声入出力ユニットWD-AF30を通じてインカム通話に参加することができます。

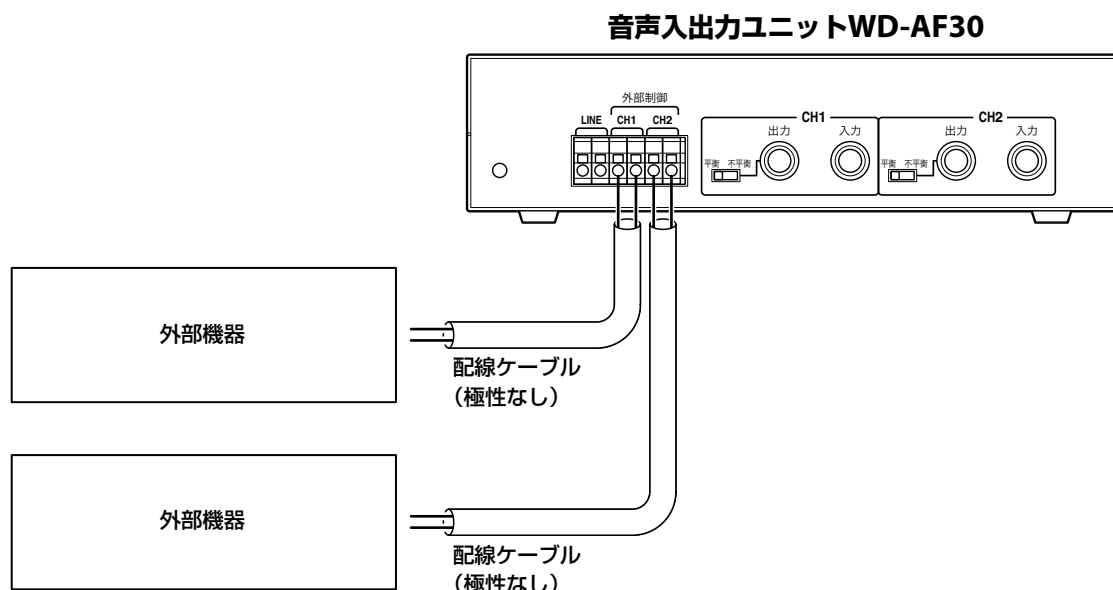
ご注意

- ・ ホールマスターWT-MC60は、(B)タイプを使用してください。
- ・ ACアダプターは、指定のものを使用してください。他のACアダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがあります。



■ 外部機器を接続する

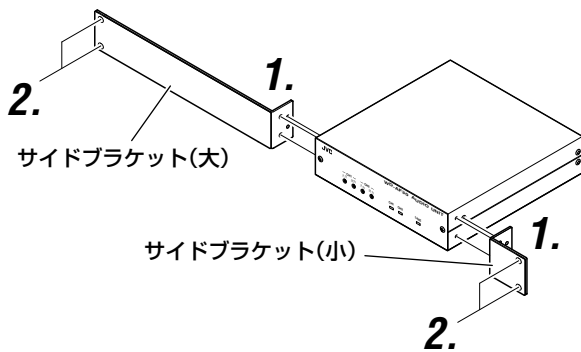
外部機器を接続する場合は、制御する外部機器のリモート端子などに接続します。
外部制御の端子はリレー接点(メーク/ブレイク選択可)で、接点の容量はDC24V 1Aです。



ラックマウントする場合

ラックに取り付ける場合は、別売(斡旋品)のラックマウント金具WDZU30BJを用いて取り付けます。

■ 1台の場合



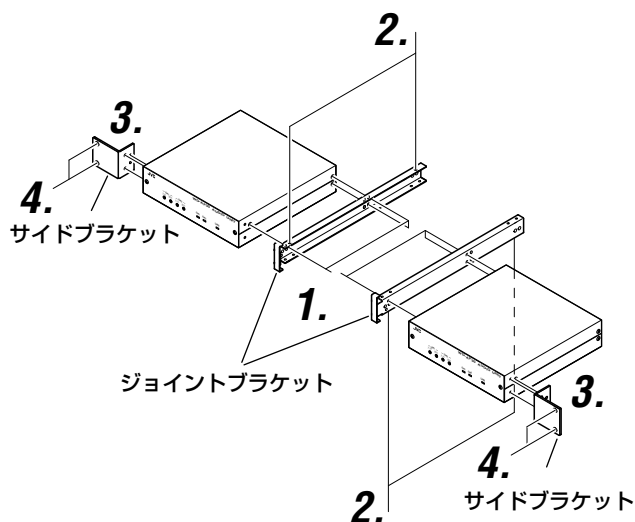
1 サイドブラケットを取り付ける

音声入出力ユニットWD-AF30の左右に付いているねじを各1本はずし、ラックマウント金具に添付のM3ねじ1本とM4ねじ2本でサイドブラケット(大、小)を取り付けます。

2 EIAラックに取り付ける

ラックマウント金具に添付のM5ねじ各2本で、音声入出力ユニットWD-AF30をラックに取り付けます。

■ 2台の場合



1 ジョイントブラケットを取り付ける

音声入出力ユニットWD-AF30の、ジョイントブラケット(左図1)を取り付ける側のねじ(各3本)をはずし、ラックマウント金具に添付のM3ねじ3本でジョイントブラケット(2個)を取り付けます。

2 ジョイントブラケットを連結する

ジョイントブラケットの上下4か所を、ラックマウント金具に添付のM3ねじで音声入出力ユニットWD-AF30を連結します。

3 サイドブラケットを取り付ける

連結した音声入出力ユニットWD-AF30の、サイドブラケット(左図3)を取り付ける側のねじ(各1本)をはずし、ラックマウント金具に添付のM3ねじ1本とM4ねじ2本で、サイドブラケット(2個)を取り付けます。

4 EIAラックに取り付ける

ラックマウント金具に添付のM5ねじ各2本で、連結した音声入出力ユニットWD-AF30をラックに取り付けます。

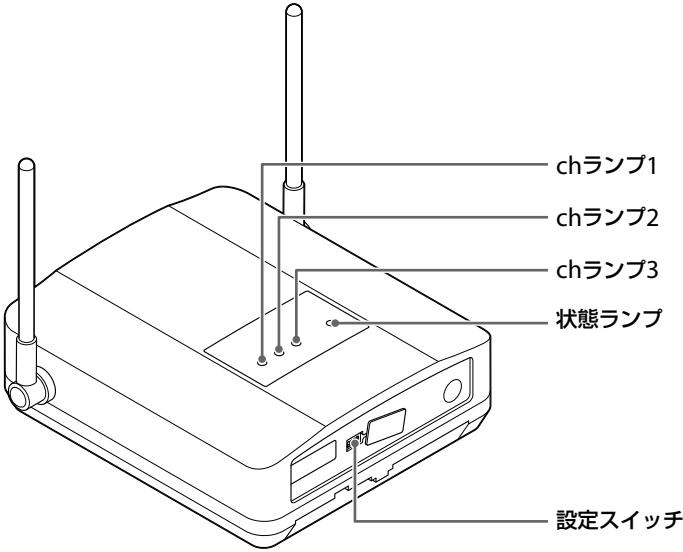
セルステーションWD-T300の設置

セルステーションWD-T300は、無線接続により最大3台のポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300/ワイヤレストランシーバーWD-WT20との通信を行うユニットです。メインコントローラーWD-M300またはサブコントローラーWD-M310に接続して使用します。



セルステーションWD-T300の設置後、設置場所とポート番号、CS番号を記録しておく、メンテナンスのときに役に立ちます。巻末の「セルステーション設定シート」(P.98 ページ)をご活用ください。

外観



ランプ表示

ランプの表示によって、本体(WD-T300)や子機との接続の状態を確認できます。

(1) 動作中、子機登録中

状態	セルステーション	状態ランプ	chランプ(緑) 1～3	備考
アイドル	マスター	橙点灯	すべて消灯	子機がつながっていない状態
	スレーブ	緑点灯		
1ch使用时	マスター	橙点灯	1点灯	子機が接続している chのランプが点灯
	スレーブ	緑点灯		
2ch使用时	マスター	橙点灯	2点灯	
	スレーブ	緑点灯		
3ch使用时	マスター	橙点灯	3点灯	
	スレーブ	緑点灯		
子機登録中	マスター	橙点灯	すべて点滅	

セルステーションWD-T300の設置

(2) その他

状態	状態ランプ	chランプ(緑) 1~3	備考
初期化中	緑点滅	すべて消灯	
プログラムロード中	橙点滅	すべて消灯	
異常	赤点滅	すべて消灯	

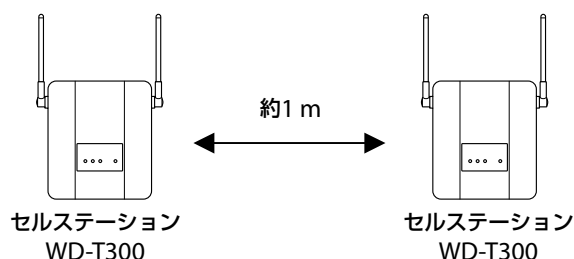
設置上のご注意

■ セルステーションWD-T300の設置場所

- 以下のような場所への設置はできる限りさけてください。通話にノイズが入ったり、誤動作の原因となることがあります。
 - ・ 金属板の上、または金属板の近く
 - ・ アンテナが金属に触れるような場所
 - ・ 空調機などの動力機器の近く
 - ・ ものの影になるような場所
 - ・ 低い場所
- ワイヤレストランシーバーWD-WT20を含むシステムでは、マスターセルステーションは、メインコントローラーが設置されている場所(事務所内など)の近くに設置してください。離れた場所に設置されていると、マスターセルステーションの電波が弱くなり、子機登録ができない場合があります。
- セルステーションWD-T300の防水性は、IPX3準拠です。軒下など、直接雨水がかからない場所に設置できます。IPX3は防雨型(鉛直から60度の範囲で落ちてくる水滴による有害な影響がない)を意味しています。
- 軒下に設置する場合は、壁面に取り付けるように設置してください。
- 直接雨水がかかる場所に設置する場合は、下記のブラボックスまたは同等品に収納して設置してください。
日東工業株式会社 ブラボックス P14-23
- 雨水がかかる恐れのある場所(軒下含む)に設置する場合は、背面のゴムカバーのシール処理をしてください。
(☎ 35 ページ)

■ セルステーションWD-T300の設置距離

2台以上のセルステーションWD-T300を同じ場所に設置する場合は、1 m程度離して設置してください。近づけて設置すると、通話にノイズが入ったり、誤動作の原因となることがあります。



■ セルステーションWD-T300の配置

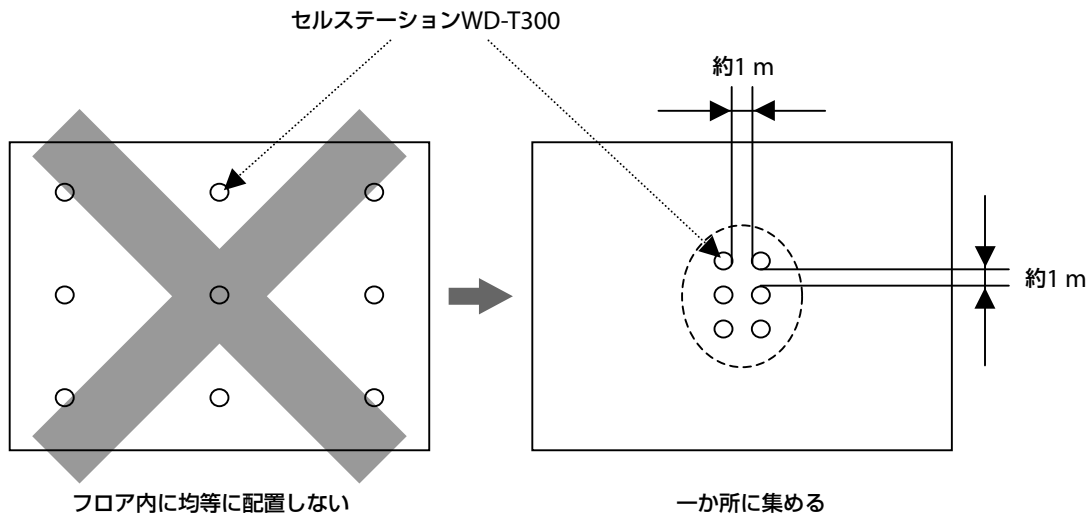
子機（ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300/ワイヤレストランシーバーWD-WT20とセルステーションWD-T300）間の電波到達距離（通話可能エリア）は、屋内で30 m～60 m、屋外で約100 mがめやすです。建物の構造や障害物の有無により異なります。



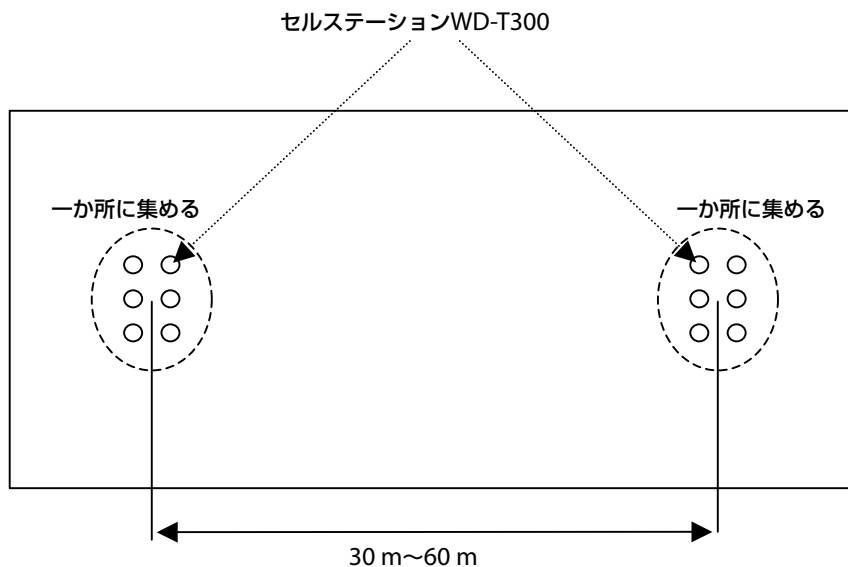
子機をヒアリングモードやシンプル通話モードで運用する場合も、子機とCS間の通話可能距離は同じです。ヒアリングモードのスレーブ子機（ヒアリングスレーブ）の電波到達距離は、マスター子機（ヒアリングマスター）で指定したCSとの距離で判断してください。

多層階や複雑な構造の建物内で運用する場合は、セルステーションWD-T300の設置位置により、電波の減衰などで計画どおりの通話エリアが確保できないことがあります。

- ① 同じフロア内に複数のセルステーションWD-T300を配置する場合は、フロア内に均等に配置しないで、中央付近に一か所に集めて配置してください。（30 m×30 m程度までのフロア）



- ② フロアが広い場合には、30 m～60 m離れたところに一か所に集めて配置してください。

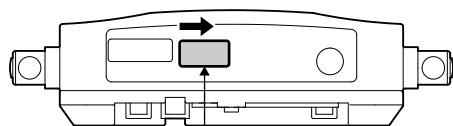


弊社では、お客様の使用環境に合わせたシステム設計と測定器を使用したシステムデータ設定を別途承ります。お近くのサービス窓口にご相談ください。

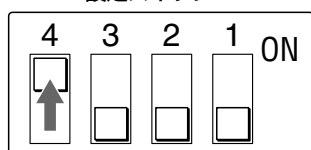
マスターセルステーションの設定

システムに接続するセルステーションWD-T300のうち、1台のみをマスターセルステーションに設定してください。複数台のマスターセルステーションをシステムに接続すると、正常に動作しません。また、システムにマスターセルステーションが接続されていないときも、正常に動作しません。

【底面側】



設定スイッチ



設定スイッチのスイッチ4をON側にする
(スイッチ1～3はOFFにしておく)。
スレーブセルステーションは工場出荷状態
のままにしておく。(すべてOFF側)

1 セルステーションWD-T300の設定スイッチのカバーを矢印の方向から開ける

カバーを強く引っ張らないでください。

2 設定スイッチのスイッチ4をON側にする (スイッチ1～3はOFFにしておく)

3 設定スイッチのカバーを元に戻す

■ マスターセルステーションを変更する場合

1. 現在のシステム設定データをPCへダウンロードする。(P.86 ページ)
2. 現在のマスターセルステーションを取りはずす。
3. システム設定を工場出荷設定に戻す。(P.86 ページ)
4. 新しいマスターセルステーションを設定し、接続する。
5. 子機登録をする。
6. PCのシステム設定データをシステムにアップロードする。(P.86 ページ)

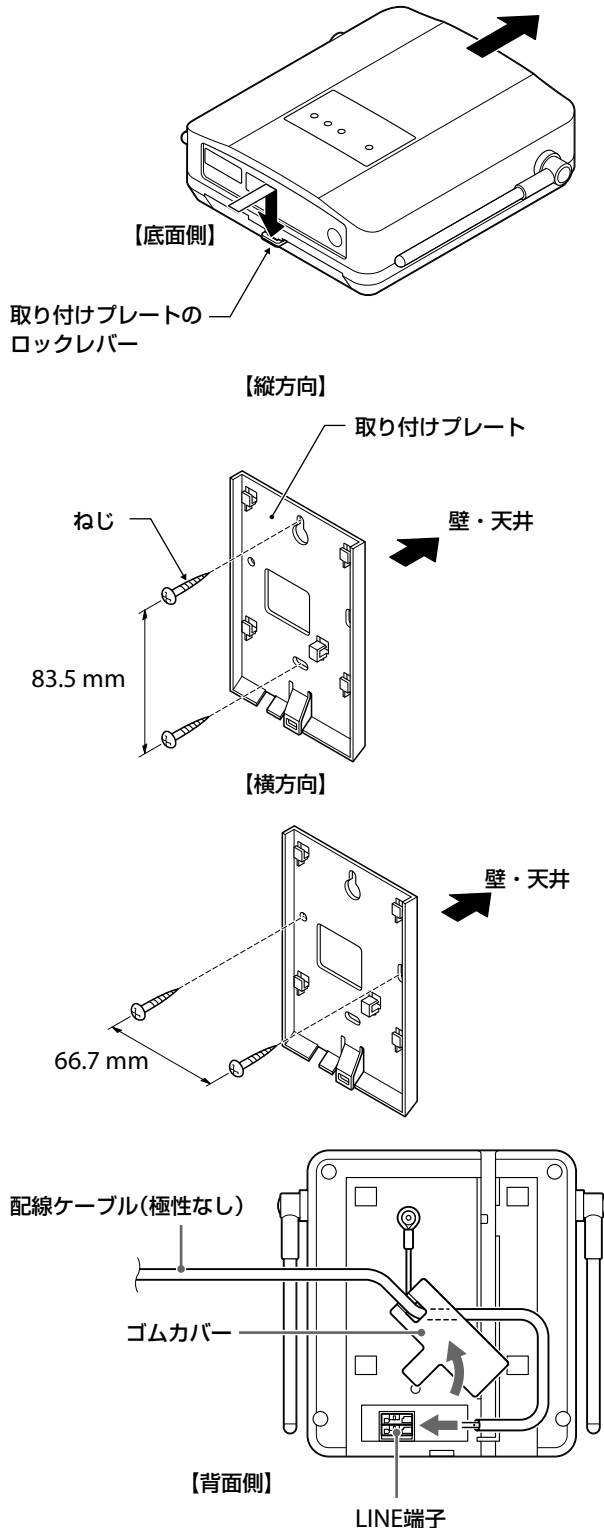
ご注意

- セルステーションの接続または取りはずしを行う場合は、システムの電源をOFFにした状態で行なってください。
- システム設定データをアップロードする場合は、必ず“設定データ”を選択してください。

壁、天井への取り付け



セルステーションWD-T300を設置した場所をフロアの平面図などに記録しておく、メンテナンスのときに役に立ちます。



1 セルステーションWD-T300から取り付けプレートを取りはずす

取り付けプレートのロックレバーを押さえながら、セルステーションWD-T300をスライドさせて取りはずします。

2 取り付けプレートをねじ(工事手配品)で、壁または天井に取り付ける

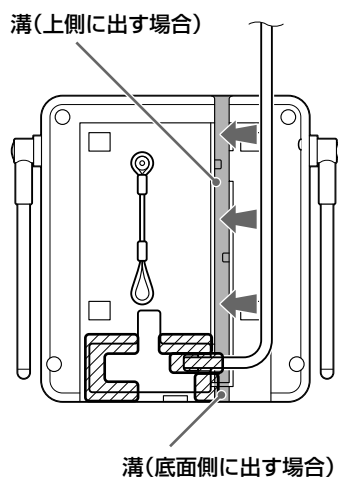
ねじは取り付ける場所に適したもの(M4×25程度)を使用してください。

3 セルステーション背面のゴムカバーを開ける

4 ゴムカバーの角穴に配線ケーブルを通し、LINE端子にケーブルを接続する(ケーブルの極性はありません)

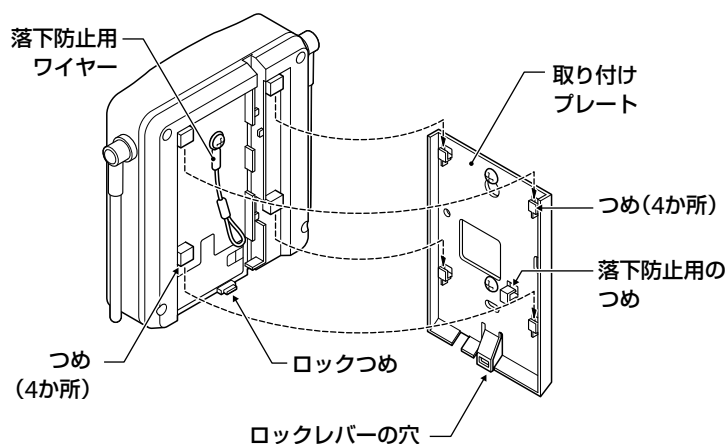
LINE端子の差し込み口は側面に付いています。左図のように側面よりケーブルを差し込んでください。

次ページへつづく



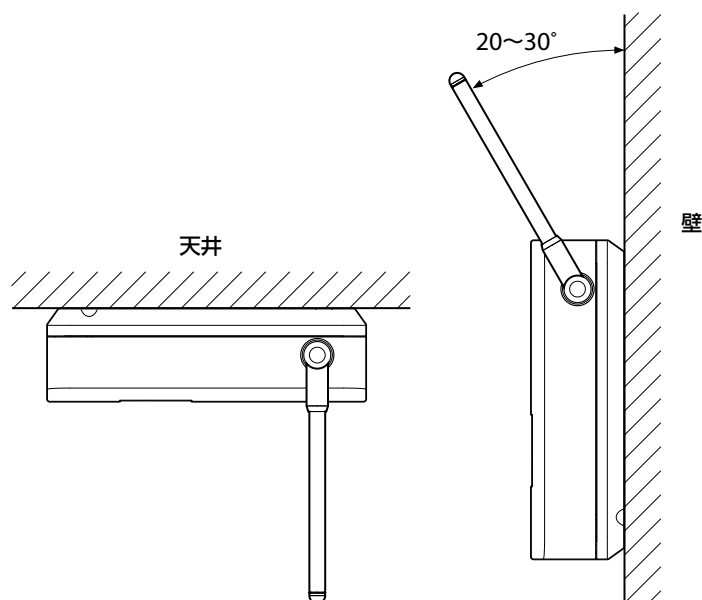
5 ゴムカバーを閉め、溝に配線ケーブルをはめ込む

軒下など浸水の可能性がある場所に設置する場合は、浸水しないように  部分に防水用のシール処理をしてください。



6 落下防止用ワイヤーを取り付けプレートの落下防止用のつめに引っかける

7 取り付けプレートに本体を合わせ、ロックレバーがロックするまで本体をスライドさせる



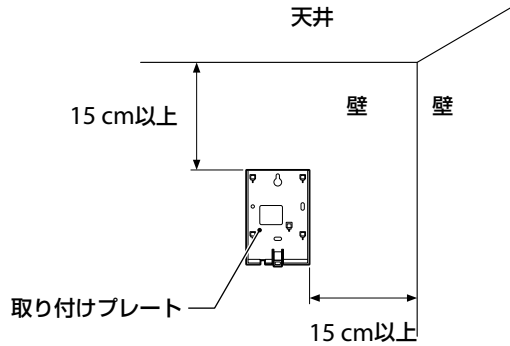
8 アンテナの向きを調整する

天井取り付けの場合は、床面に対して垂直になるように倒します。

壁取り付けの場合は、壁面に対し20~30度正面側に倒します。

取り付けプレートは、下図のように天井および壁から15 cm以上の間隔を空けて取り付けてください。天井および壁からの間隔が近すぎると、セルステーションWD-T300を取り付けプレートに取り付けられなくなります。

ご注意



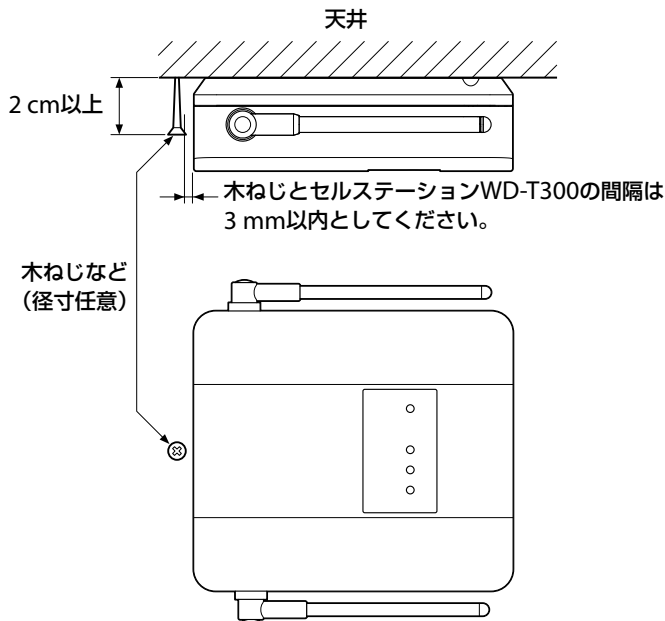
取り付ける面に適した部材を使用し、落下事故が発生しないように確実に固定してください。

ご注意

セルステーションWD-T300の本体と取り付けプレートには、振動などによる脱落防止のためのロックつめとロックレバーが付いています。取り付けるときは、このロックつめがロックレバーの穴に収まっていることを確認してください。取り付けが不十分な場合、落下の原因となります。

ご注意

天井への設置は、セルステーションWD-T300の本体を取り付けプレートに取り付け後、下図のように木ねじ(工事手配品)などを使用し、セルステーションWD-T300と取り付けプレートがスライドしないよう落下防止対策を行なってください。



□システムデータの設定と動作確認

システムデータ設定の手順

システムデータ設定の標準的な手順を示します。

次の**1～9**のステップを参考に進めてください。なお、★マークはシステムの運用に必須のシステムデータ設定項目です。

システムデータ設定開始

ステップ 1	準備	🔍 39 ページ
ステップ 2	システムの電源を入れる	🔍 41 ページ
ステップ 3	メインコントローラーWD-M300とPCを接続する	🔍 41 ページ
ステップ 4	子機の運用モードを設定する	🔍 44 ページ
ステップ 5	子機登録★	
	ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300	🔍 47 ページ
	ワイヤレストランシーバーWD-WT20	🔍 58 ページ
ステップ 6	システムの設定	🔍 64 ページ
	システム設定	🔍 65 ページ
	インカム設定	🔍 66 ページ
	子機設定★	🔍 67 ページ
	CS設定	🔍 70 ページ
	多機能操作器設定★	🔍 72 ページ
	音声入出力ユニット設定★	🔍 74 ページ
	放送出力設定	🔍 75 ページ
	外線共通設定	🔍 76 ページ
	外線モード動作設定	🔍 77 ページ
	トーン設定	🔍 79 ページ
	タイマー設定	🔍 82 ページ
	短縮番号設定	🔍 83 ページ
ステップ 7	システム設定の確認	🔍 84 ページ
ステップ 8	システムの動作確認	🔍 87 ページ
ステップ 9	システム設定データのバックアップ	🔍 87 ページ

システム設定の内容は、メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューの「システム設定一覧」で確認することができます。

PCにダウンロードした設定データは、PC単体では確認・編集できません。メインコントローラーWD-M300に接続し、データをアップロードしてから確認・編集してください。

システムデータ設定終了

準備

WD-3000シリーズでは、ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300、ワイヤレストランシーバーWD-WT20を「子機」と呼び、子機をシステムに登録することを「子機登録」と呼びます。

WD-3000シリーズは、はじめに利用環境に応じたシステム設定および子機登録をしないと使用できません。この説明書をご覧ください。システム設定、子機登録を行なってください。

システム設定は、メインコントローラーWD-M300に接続したPCのWebブラウザ（Web設定メニュー）で行います。

子機登録は、次のソフトウェアを使用して行います。

- ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300：
メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニュー
- ワイヤレストランシーバーWD-WT20：
メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューと子機登録ソフトウェア(WDZS30J付属)

準備するもの

使用する作業	名前	参照ページ
システム設定	PC (パソコン)	🔍 41、55、58 ページ
	ストレートLANケーブル(カテゴリ5以上)	🔍 41 ページ
子機登録(WD-TR350/WD-TR300)	USBケーブル(AーミニBタイプ) (2m以下)	🔍 55 ページ
子機登録(WD-WT20)	子機登録ソフトウェア(WDZS30J付属)別売	🔍 58 ページ
	子機登録用PCインターフェイスアダプター(WDZS30J付属)別売	
	RS-232Cストレートケーブル	
	USBtoシリアルケーブル	



ワイヤレストランシーバーWD-WT20の子機登録には、子機設定ソフトウェア(WDZS20J)もご使用になれます。

子機登録、メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューに使用するPCの推奨環境は以下のとおりです。

OS/ブラウザ	Windows 7 Professional/Internet Explorer 8 Windows 8.1 Pro/Internet Explorer 11 Windows 10 Pro/Internet Explorer 11
その他	Java Scriptが動作すること ActiveXコントロールが動作すること



- 同時に接続できるのはPC1台のみです。
- ブラウザについては、Microsoft Edgeはお使いいただけません。

システムデータの設定と動作確認

ポート番号とユニット番号について

メインコントローラーWD-M300/サブコントローラーWD-M310の背面にあるユニット接続端子は、右図のようにポート番号が割り当てられています。
メインコントローラーWD-M300には、ポート1からポート8までが割り当てられています。
サブコントローラーWD-M310を1台接続するとポート9からポート16が追加され、7台すべて接続すると、7台目の割り当てはポート57からポート64になります。

ご注意 サブコントローラーWD-M310を接続する場合、メインコントローラーWD-M300の背面のサブコントローラー接続端子の位置(1～7)によりポート番号が変わります。
例えば、サブコントローラーWD-M310 1台を、サブコントローラー接続端子の3に接続した場合、サブコントローラーWD-M310は3台目と認識され、ポート番号は25～32となります。

多機能操作器WD-MC30と音声入出力ユニットWD-AF30の設定をするには、システム設定でユニット番号を指定します。
ユニット番号は、多機能操作器WD-MC30または音声入出力ユニットWD-AF30を接続したポートにより、右表のように付与されます。
一度接続したあと別のポートに接続を切り換えた場合は、ユニット番号も変わります。

CS番号について

セルステーション(CS) WD-T300は、ポート番号に関係なく、システムに接続した順に1番からCS番号が付与されます。一度接続したあと別のポートに接続を切り換えてもCS番号は変わりません。

子機番号について

子機番号は、子機登録をした順に200番から付与されます。子機設定は子機番号を指定して行います。

メインコントローラーWD-M300

1	2	3	4
5	6	7	8

サブコントローラーWD-M310 (1台目)

9	10	11	12
13	14	15	16

⋮

49	50	51	52
53	54	55	56

サブコントローラーWD-M310 (7台目)

57	58	59	60
61	62	63	64

ポート 番号	ユニット番号	
	多機能操作器 WD-MC30	音声入出力ユニット WD-AF30
1	100	500/501
2	101	502/503
3	102	504/505
4	103	506/507
5	104	508/509
⋮	⋮	⋮
60	159	618/619
61	160	620/621
62	161	622/623
63	162	624/625
64	163	626/627

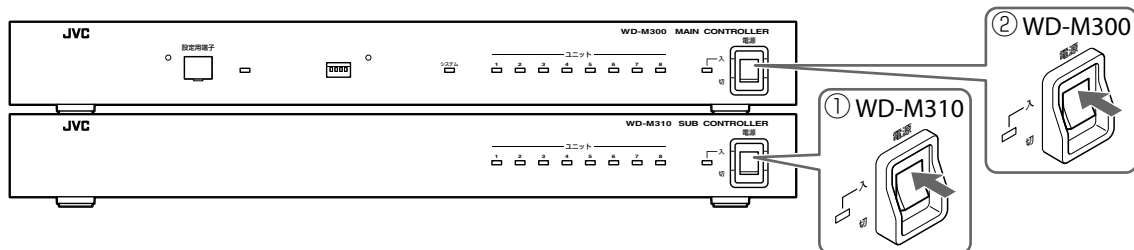
ご注意 セルステーションWD-T300を33台以上設置する場合、2つのCS番号が32番はなれているセルステーションWD-T300を同じエリアに設置しないでください。
例) CS番号「1」のセルステーション と CS番号「33」のセルステーション
CS番号「2」のセルステーション と CS番号「34」のセルステーション
CS番号は、メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューの「接続状態表示」画面(🔗 43 ページ)で確認してください。

メモ メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310のポート番号と、セルステーションWD-T300の設置場所およびCS番号の管理、記録は、「セルステーション設定シート」(🔗 98 ページ)をご活用ください。

システムの電源を入れる

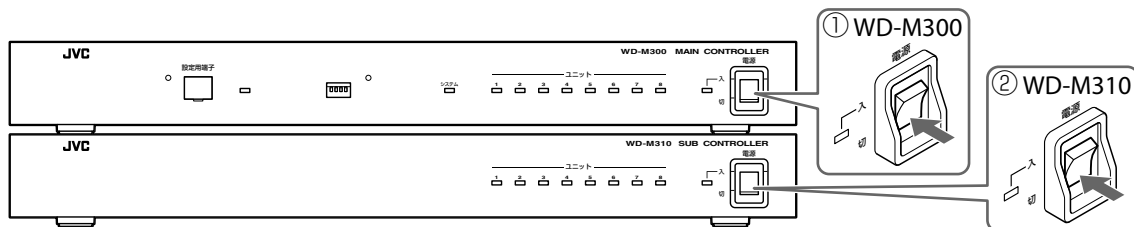
■ 電源を入れるとき

サブコントローラーWD-M310、メインコントローラーWD-M300の順に電源スイッチを「入」にする。
電源ランプが緑色に点灯します。約1分後、システムランプが点灯すれば電源の投入作業完了です。



■ 電源を切るとき

メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310の順に電源スイッチを「切」にする。
約5秒後、電源ランプが消灯するとシステム電源が切れます。

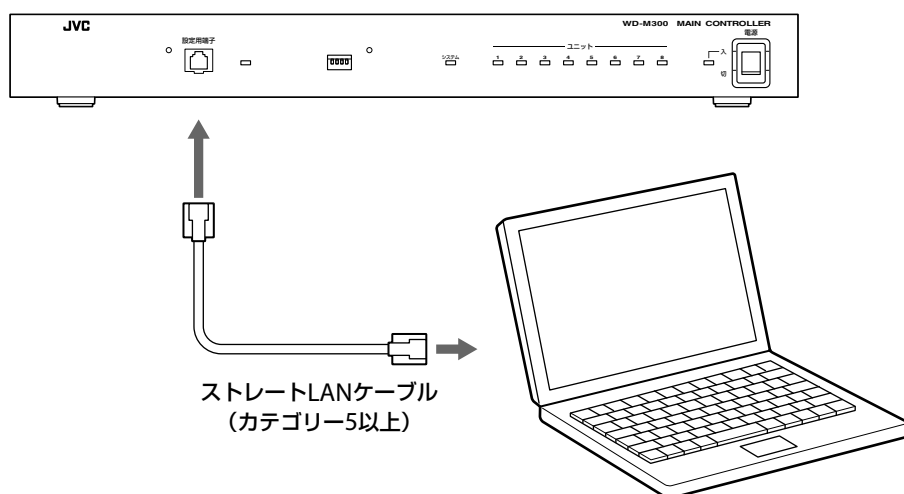


ご注意

本体の電源ケーブルを電源コンセントから抜く場合、または電源ブレーカーなど、大もとの電源を「OFF」にする場合は、必ず本体の電源スイッチを「切」にして電源ランプが消灯してから行なってください。

メインコントローラーWD-M300とPCを接続する

LANケーブルで接続します。



■ PCのIPアドレスを設定する

メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューに接続するには、PCのIPアドレスを設定する必要があります。

1 PCの電源を入れて、[ネットワーク接続]画面を表示する。

- ・ Windows 7の場合：[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [アダプターの設定の変更]の順にクリックします。
- ・ Windows 8.1の場合：Windows () キーを押したまま「X」キーを押して、サブメニューを表示させます。サブメニューの「コントロールパネル」 - 「ネットワークとインターネット」 - 「ネットワークと共有センター」 - 「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。
- ・ Windows 10の場合：スタートボタンを右クリックし、サブメニューを表示させます。サブメニューの「ネットワーク接続(W)」を選択します。

2 [ローカルエリア接続]を右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

Windows 10の場合は、「イーサネット」 - 「この接続の設定を変更する」の順にクリックします。

3 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を選び、[プロパティ]をクリックする。

4 IPアドレスを設定する。

設定する前に、元の設定に戻すため必要事項をメモしておくことをおすすめします。

- ① 「次のIPアドレスを使う」を選択する。
- ② [IPアドレス]を「192.168.0.1」に設定する。
- ③ [サブネットマスク]を「255.255.255.0」に設定する。
- ④ [デフォルトゲートウェイ]のIPアドレスを空欄(何も入力していない状態)にする。
- ⑤ [OK]をクリックする。

5 [ローカルエリア接続のプロパティ]画面の[OK]をクリックする。

変更内容が反映されます。



Web設定メニューにプロキシサーバーを使用する設定になっていると、アクセスできません。
Internet Explorerの[ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定]の順に選択し、[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] 画面の [LANにプロキシサーバーを使用する] のチェックマークをはずしてください。

■メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューに接続する

1 PCのInternet Explorerを起動する。

※Windows 8.1の場合：「スタート」画面でデスクトップタイルをクリックし、デスクトップ画面にします。
デスクトップ画面のタスクバーにあるInternet Explorerアイコンをクリックして、Internet Explorerを起動させます。
「スタート」画面にあるInternet Explorerタイルから、Internet Explorerを起動させた場合は正しく機能しません。

2 ホームページアドレス欄に「http://192.168.0.2」と入力し、設定メニューにアクセスする。

3 ユーザー名に「in」、パスワードに「12345678」と入力する。

トップページが表示されます。

デジタルワイアレスインターカムシステム WD-3000

WD-3000 トップページ

- ① システム設定
- ② WD-TR200/WD-WT20 子機登録
- ③ WD-TR300/350 子機登録/子機設定
- ④ 接続状態表示

*WD-TR200/WD-WT20の場合は、シリアル変換器を接続して「WD-TR200/WD-WT20子機登録」を押してください。

*WD-TR300/350の場合は、USBを接続して「WD-TR300/350 子機登録/子機設定」を押してください。

- ① **システム設定：** システム設定画面に移動します。
- ② **WD-TR200/WD-WT20 子機登録：** 子機WD-TR200/WD-WT20用の子機登録画面に移動します。
- ③ **WD-TR300/350 子機登録/子機設定：** 子機WD-TR350/WD-TR300用の子機登録、設定画面に移動します。
- ④ **接続状態表示：** 現在接続している各インカムユニット、子機を表示します。

子機の運用モードを設定する

■ ヒアリングモードで運用する場合

ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300を通話の受信専用機として使用する「ヒアリングモード」で運用する場合は、次の設定が必要です。

- ・ 子機本体のモード切り換え（必須）
- ・ 子機のシステムデータ設定（必須：88 ページ）
 - マスター子機（ヒアリングマスター）とスレーブ子機（ヒアリングスレーブ）の設定
 - ヒアリンググループの設定（ヒアリングマスターのみ）
 - ホーム番号の設定（ヒアリングスレーブのみ）
 - 機能ボタンへのヒアリンググループ切換番号設定（WD-TR300のみ）
 - トーク解除タイマーの設定
- ・ 関連項目の設定
 - 接続するCSの設定
（④④接続CS指定モード設定、④⑤接続CS台数設定、④⑥接続CS番号設定）



- ・ セルステーションWD-T300 1台につき、接続できるヒアリングマスターは1台です。
- ・ ヒアリングモードは、ワイヤレストランシーバーWD-WT20では使用できません。



- ・ 安定した動作をさせるために、必要に応じて接続するCSを指定してください（④④接続CS指定モード設定、④⑤接続CS台数設定、④⑥接続CS番号設定）。
- ・ ヒアリングモードの概要については、「取扱説明書」をご覧ください。
- ・ ヒアリングモードの設定は、子機登録を行なったあとでも実施できます。

■ シンプル通話モードで運用する場合

ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300を「シンプル通話モード」で運用する場合は、次の設定が必要です。

- ・ 子機本体のモード切り換え（必須）
- ・ 子機のシステムデータ設定（88 ページ）
 - トーク解除タイマーの設定
 - 通話移行お知らせ音の設定



- ・ シンプル通話モードは、ワイヤレストランシーバーWD-WT20では使用できません。
- ・ ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300でシンプル通話モードを使用する場合は、次の機器を使用してください。
 - ポータブルトランシーバーWD-TR300(G)を使用する場合は、メインコントローラーWD-M300(G)以降
 - ポータブルトランシーバーWD-TR350(H)を使用する場合は、メインコントローラーWD-M300(H)以降
 - セルステーションWD-T300(G)タイプ以降



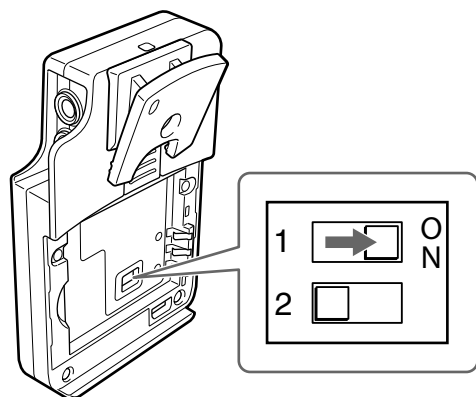
シンプル通話モードの概要については、「取扱説明書」をご覧ください。

■ 子機をヒアリングモード／シンプル通話モードに設定する

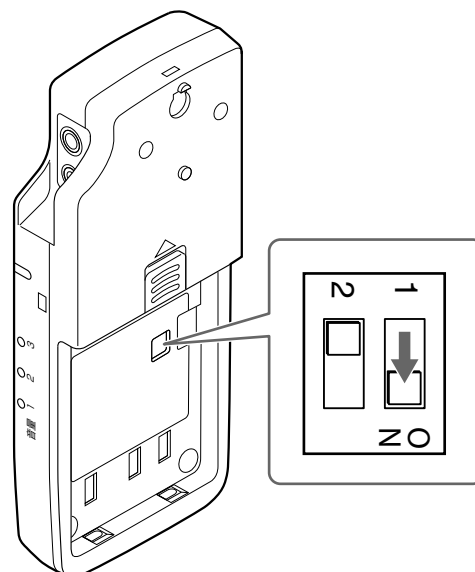
子機をヒアリングモード／シンプル通話モードに切り換えます。

バッテリーを取りはずし、「モード設定スイッチ」の「1」を下図の矢印方向(ON)に変更します。

ポータブルトランシーバーWD-TR350



ポータブルトランシーバーWD-TR300



モード設定スイッチの「1」を(ON)にするだけでは、ヒアリングモード／シンプル通話モードの運用はできません。システム設定で通話モード設定が必要です。

■ ヒアリングモードの表示

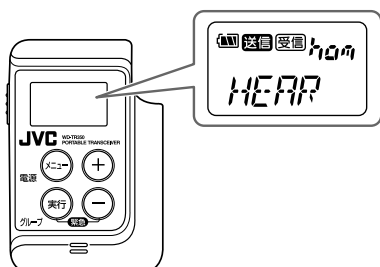
お使いの子機がヒアリングモードに設定されている場合、電源を入れるとヒアリングモードで起動します。

子機がヒアリングマスターとヒアリングスレーブのどちらに設定されているかは、表示部または動作ランプの表示で確認することができます。

子機WD-TR350の表示

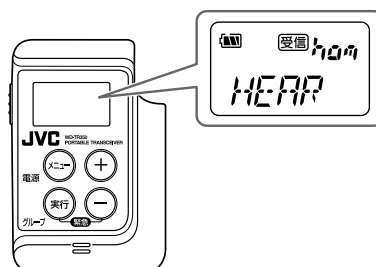
ヒアリングマスター

表示部に「HEAR」、「グループ」と「送信」、「受信」が表示されます。



ヒアリングスレーブ

表示部に「HEAR」、「ヒアリンググループ」と「受信」が表示されます。

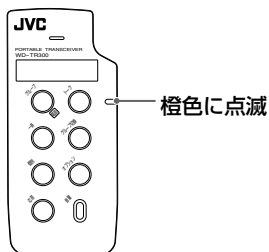


システムデータの設定と動作確認

子機WD-TR300の表示

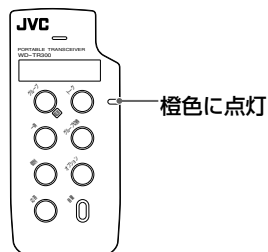
ヒアリングマスター

動作ランプが橙色に点滅します。



ヒアリングスレーブ

動作ランプが橙色に点灯します。



点滅の間隔は通常より長いため、10秒以上動作ランプの状態を確認してください。

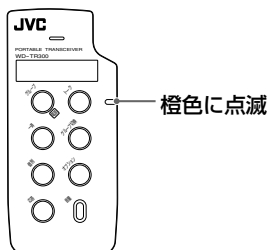
■ シンプル通話モードの表示

お使いの子機がシンプル通話モードに設定されている場合、電源を入るとシンプル通話モードで起動します。

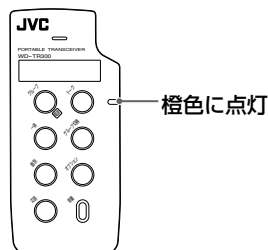
子機WD-TR300の表示

動作状態によって、下記のいずれかの表示となります。どちらもシンプル通話モードの正常な状態です。

動作ランプが橙色に点滅します。



動作ランプが橙色に点灯します。



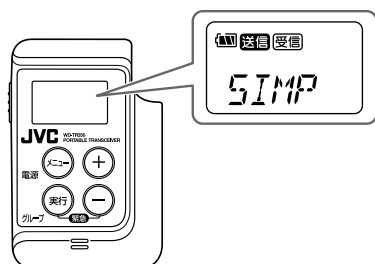
- 点滅の間隔は通常より長いため、10秒以上動作ランプの状態を確認してください。
- シンプル通話モードはヒアリングモードの技術を使用しています。ヒアリングマスターとヒアリングスレーブは自動で設定され、動作ランプはヒアリングマスター、ヒアリングスレーブのいずれかの表示となります。

子機WD-TR350の表示

動作状態によって、下記のマスター、スレーブいずれかの表示となります。どちらもシンプル通話モードの正常な状態です。

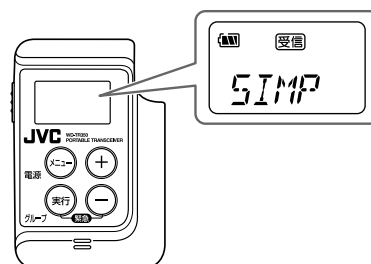
マスター

表示部に「SIMP」と「送信」、「受信」が表示されます。



スレーブ

表示部に「SIMP」と「受信」が表示されます。



- マスターでは、トークボタンを押しながら通話をする場合、表示は変わりません。
- スレーブでは、トークボタンを押しながら通話をする場合、通話をしている間はマスターと同じ表示になります。通話を終了すると、スレーブの表示に戻ります。

子機登録

子機をシステムに登録します。子機の登録方法は機種によって異なります。それぞれの手順にしたがって登録を行なってください。登録完了した子機はメインコントローラーWD-M300再起動後に接続可能となります。

■ 子機WD-TR350/WD-TR300を登録する場合

メインコントローラーWD-M300に接続したPCを使って、Web設定メニューから子機を登録します。

USB接続の設定

ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300の子機登録を行うには、ActiveX (アドオン) とUSBドライバーのインストールが必要です。また、ActiveX (アドオン) のインストールを行うには、セキュリティの設定が必要です。ActiveX (アドオン) とUSBドライバーは、一度PCにインストールすると、次回からはインストールの必要はありません。ここではWindows 7 (Internet Explorer 8) を例に、セキュリティの設定、ActiveX (アドオン) とUSBドライバーのインストール手順について説明します。



- ・ポータブルトランシーバーWD-TR350、WD-TR300それぞれのUSBドライバーのインストールが必要です。
- ・PCに複数のUSBコネクタがある場合は、それぞれにUSBドライバーのインストールが必要です。

1 PCでInternet Explorerを起動し、[ツール] - [インターネットオプション]をクリックする。

[インターネットオプション]画面が表示されます。

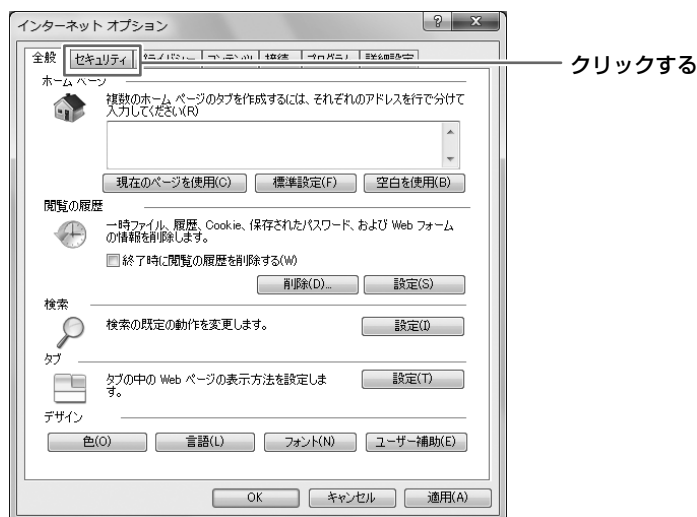
※Windows 8.1の場合：「スタート」画面でデスクトップタイルをクリックし、デスクトップ画面にします。

デスクトップ画面のタスクバーにあるInternet Explorerアイコンを右クリックして、ポップアップメニューのInternet Explorerにカーソルを合わせ、右クリックして「管理者として実行」を左クリックして実行します。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は「はい」をクリックします。

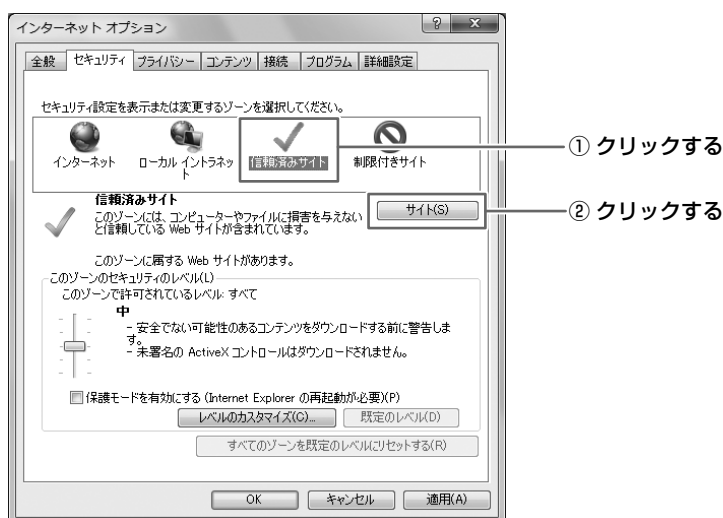
「スタート」画面にあるInternet Explorerアイコンから、Internet Explorerを起動させた場合は正しく機能しません。

2 [セキュリティ]タブをクリックする。



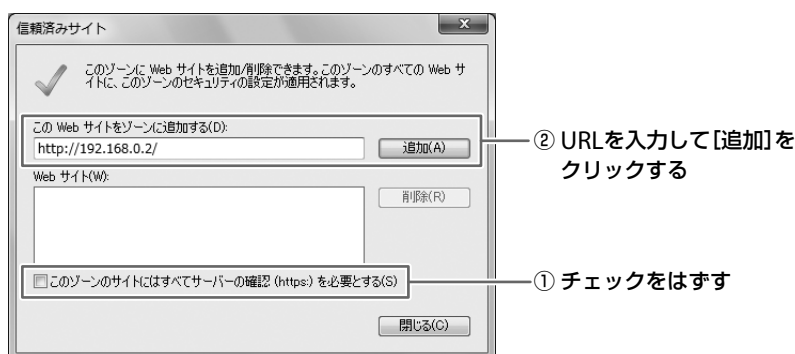
次ページへつづく

3 [信頼済みサイト]をクリックし、[サイト]をクリックする。

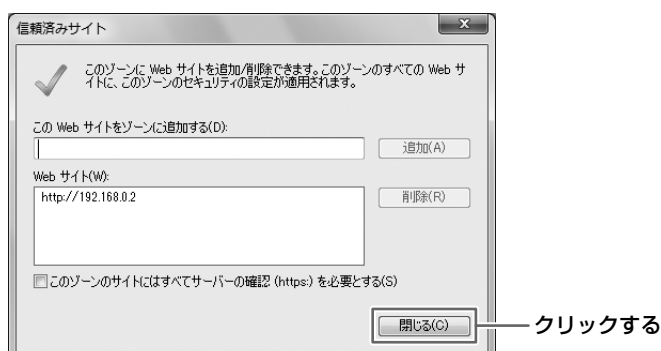


[信頼済みサイト]画面が表示されます。

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックマークをはずし、[次のWebサイトをゾーンに追加する]に「http://192.168.0.2」を入力して[追加]をクリックする。

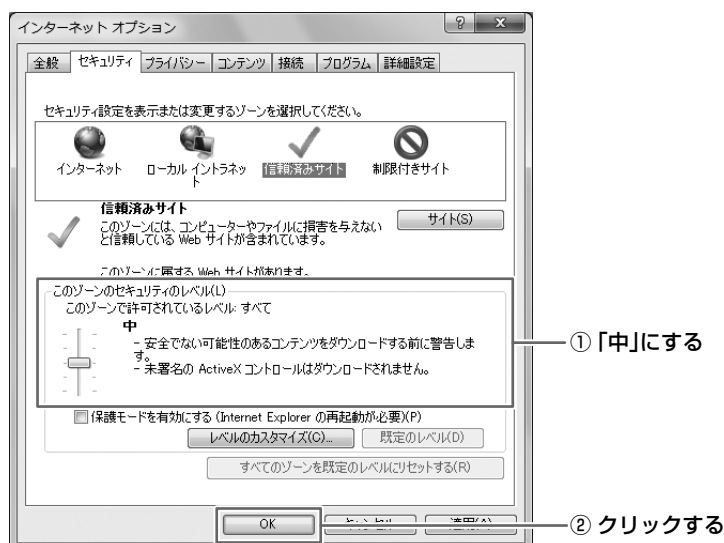


5 [Webサイト]に「http://192.168.0.2」が追加されていることを確認して、[閉じる]をクリックする



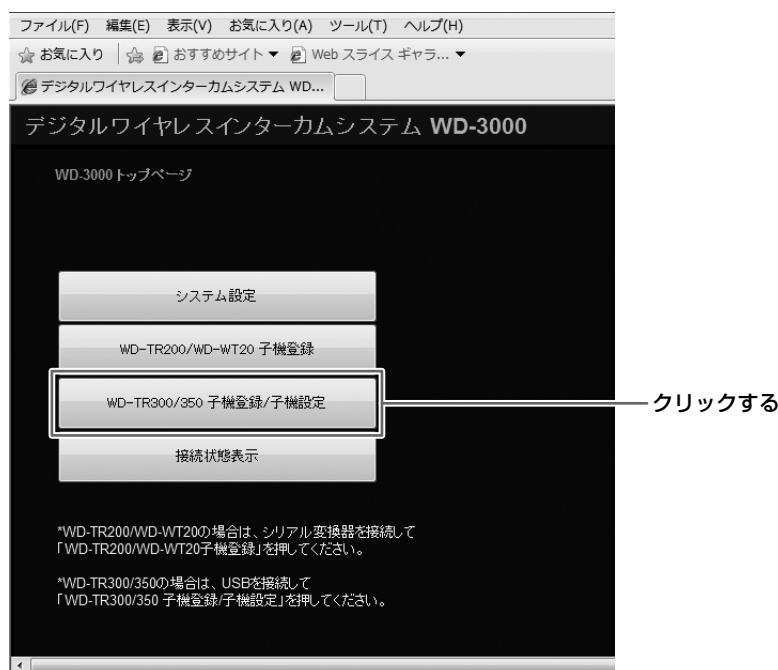
[インターネットオプション]画面に戻ります。

6 [このゾーンのセキュリティのレベル]を「中」に設定し、[OK]をクリックする。



設定が適用されます。

7 メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューを起動し、トップページの[WD-TR300/350子機登録/子機設定]をクリックする。



子機登録を行う画面が表示されます。

「このWebサイトは、…」のメッセージが表示された場合は、メッセージをクリックし、[このコンピューター上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする]をクリックして、ActiveX (アドオン)のインストールを許可します。

8 [子機からの応答がありません。]ダイアログで[OK]をクリックする。

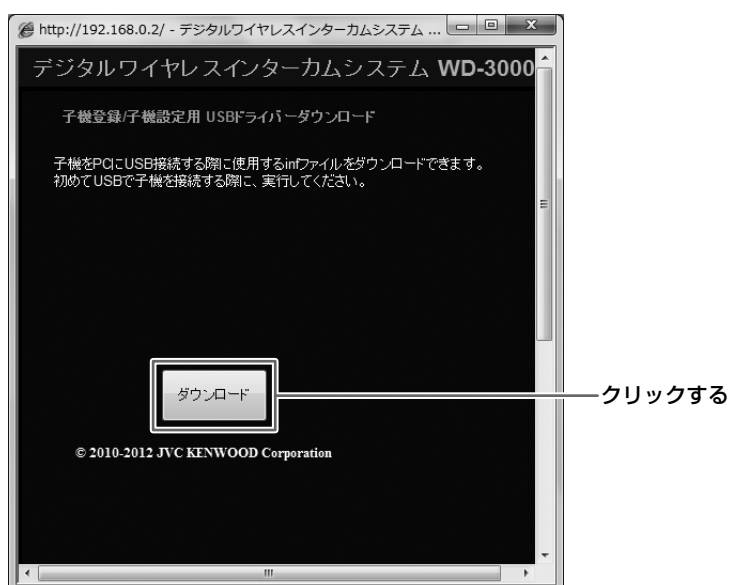
9 [データの読み取りに失敗しました。]ダイアログで[OK]をクリックする。

次ページへつづく

10 [USBドライバーファイルのダウンロード]をクリックする。



11 [ダウンロード]をクリックし、PCの任意の場所にドライバーファイルを保存する。



ダウンロードしたファイルは「zip形式」で保存されます。

12 ダウンロードしたファイルを解凍ソフトなどで任意の場所に解凍する。

解凍したファイルは、手順16で使用します。

13 子機WD-TR350/WD-TR300とPCを接続し、子機の電源を入れる。

子機WD-TR350の場合は、表示部に「USB」が点滅表示されます。WD-TR300の場合は、動作ランプが緑色で点滅します。
子機の接続方法については、「子機登録の手順」(P.55 ページ)をご覧ください。

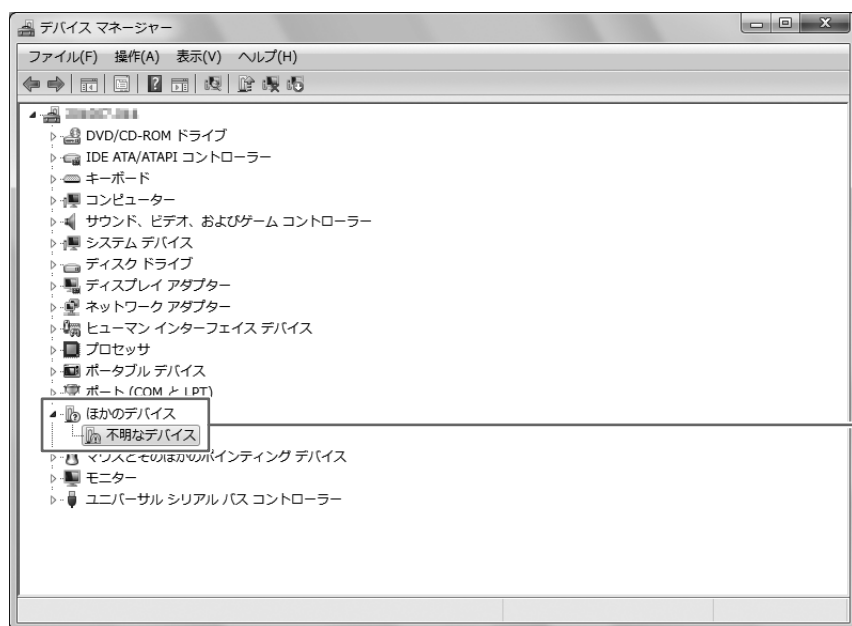
14 PCの[デバイスマネージャー]画面を表示する。

Windowsの[スタート]から[コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [デバイスマネージャー]の順にクリックします。

※Windows 8.1の場合：Windows ()キーを押したまま「X」キーを押して、サブメニューを表示させます。

サブメニューの「デバイスマネージャー」をクリックします。

15 [ほかのデバイス] 内にある [不明なデバイス] を右クリックして、[ドライバーソフトウェアの更新] をクリックする。



右クリックして
[ドライバーソフトウェアの更新]
をクリックする

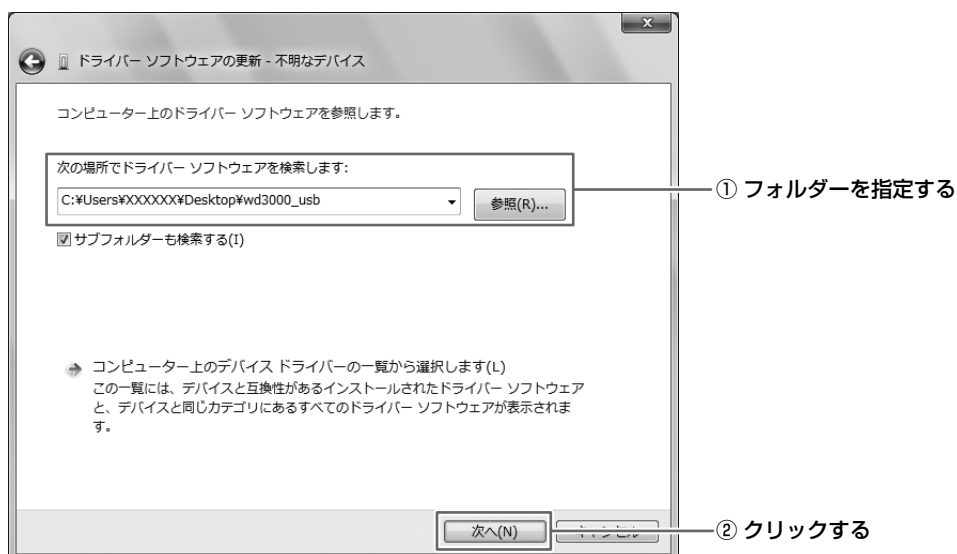
16 [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックする。



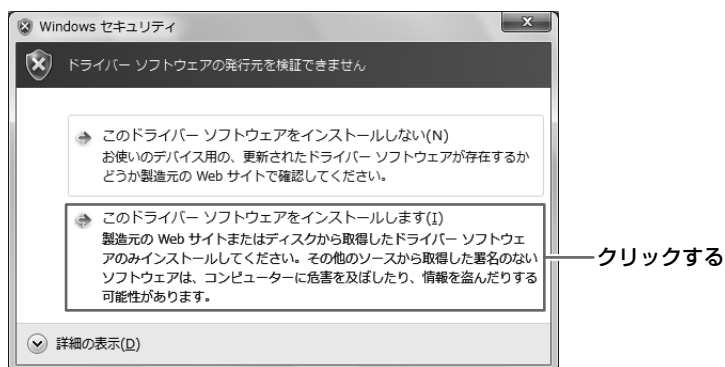
クリックする

次ページへつづく

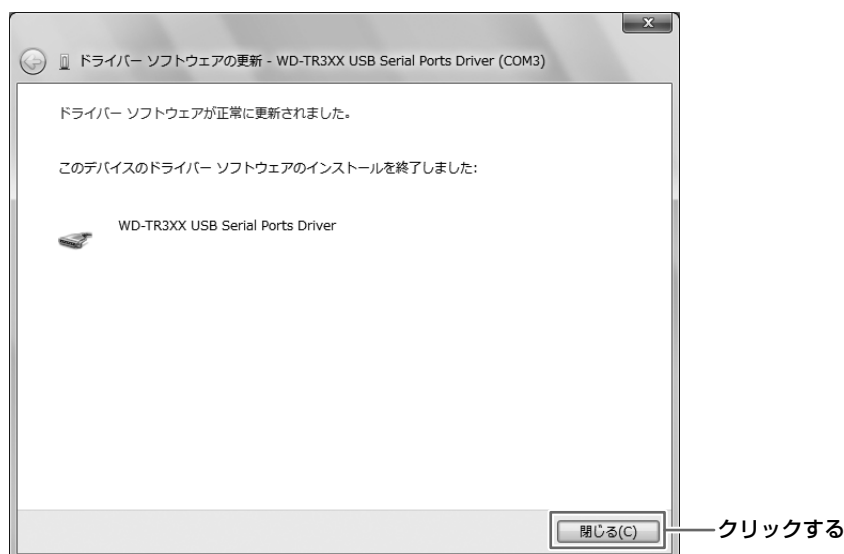
17 [参照]をクリックして、手順11で解凍したフォルダーを指定し、[次へ]をクリックする。



18 [このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックする。

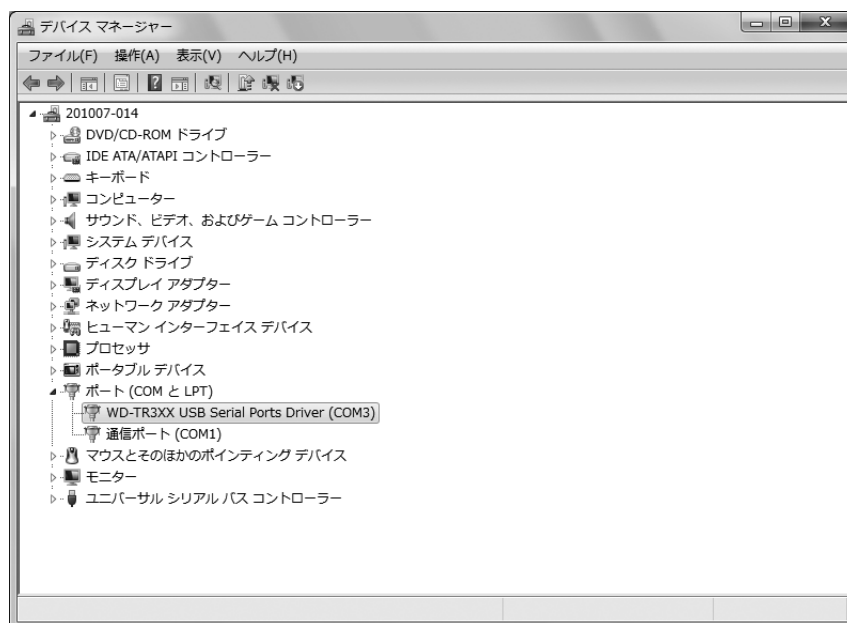


19 [閉じる]をクリックする。



正常にインストールが実行されると、デバイスマネージャーの[ポート]に次の表示が追加されます。

- 子機WD-TR350の場合：WD-TR3XX USB Serial Ports Driver
- 子機WD-TR300の場合：WD-TR300 USB Serial Ports Driver



- ActiveX (アドオン) がインストールされず、子機WD-TR350/WD-TR300のデータ読み込みが正常に行われない場合は、次の手順でInternet Explorerのセキュリティ設定を確認してください。
 - ① [インターネットオプション] の [セキュリティ] タブを表示する。
 - ② メインコントローラーWD-M300を登録した [信頼済みサイト] の [レベルのカスタマイズ] をクリックし、次の項目が [有効にする] または [ダイアログを表示する] になっていることを確認する。
 - ActiveXコントロールとプラグインの実行
 - スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行
 - 署名済みActiveXコントロールのダウンロード
 - アクティブスクリプト
- ActiveXがインストールされているにもかかわらず、正常に動作しない場合は、インターネットオプションの [全般] タブにある [閲覧の履歴] オプションで、閲覧の履歴を削除してください。

ご注意

次ページへつづく

Web設定メニューで子機登録を行う際、「WD-TR300/350子機登録/子機設定」画面を表示したとき、「接続機種」が“-----”表示となる場合は、正しいバージョンのActiveXが実行されていません。

子機番号	200
PS-ID	015252854
接続機種	-----
子機ソフトウェアバージョン	01.06
メニュー割当て設定	01 グループ通話 ▼ 02 一斉通話 ▼ 03 個別通話 ▼ 04 招集通話 ▼

ご注意

次の手順でActiveXの更新を行なってください。

- ①Internet Explorerを閉じる。
- ②インカム子機がPCとUSB接続されている場合は、PCとの接続をはずし、子機の電源を切る。
- ③以下のフォルダー内にある“M300COM.ocx”を削除する。
 - 64ビット版OSの場合は：C:\Windows\SysWOW64\M300COM.ocx
 - 32ビット版OSの場合は：C:\Windows\System32\M300COM.ocx
- ④再度、Internet Explorerを起動し、Web設定メニューにログインする。
- ⑤インカム子機の電源を切った状態で、子機とPCをUSBケーブルで接続し、子機の電源を入れる。
- ⑥Web設定メニューのトップページから「WD-TR300/350子機登録/子機設定」をクリックする。
- ⑦「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は「はい」をクリックする。
- ⑧子機設定の画面が表示されたら「接続機種」を確認する。
「接続機種」にPCに接続した子機の機種が表示されると、完了です。
「接続機種」が“-----”表示の場合は、正常に更新されていないので①からやり直してください。

子機登録の手順

ここでは、子機登録の手順のみ説明します。登録と同時に設定を行う場合は、「設定関連項目」(P.88 ページ)をご覧ください。

ご注意

- 子機のデータの書き込み中および読み込み中は、USBケーブルを取りはずさないでください。
- 子機の登録にはActiveXコントロールが必要です。ActiveXコントロールがインストールされてない場合は、インストールしてください。(P.47 ページ)

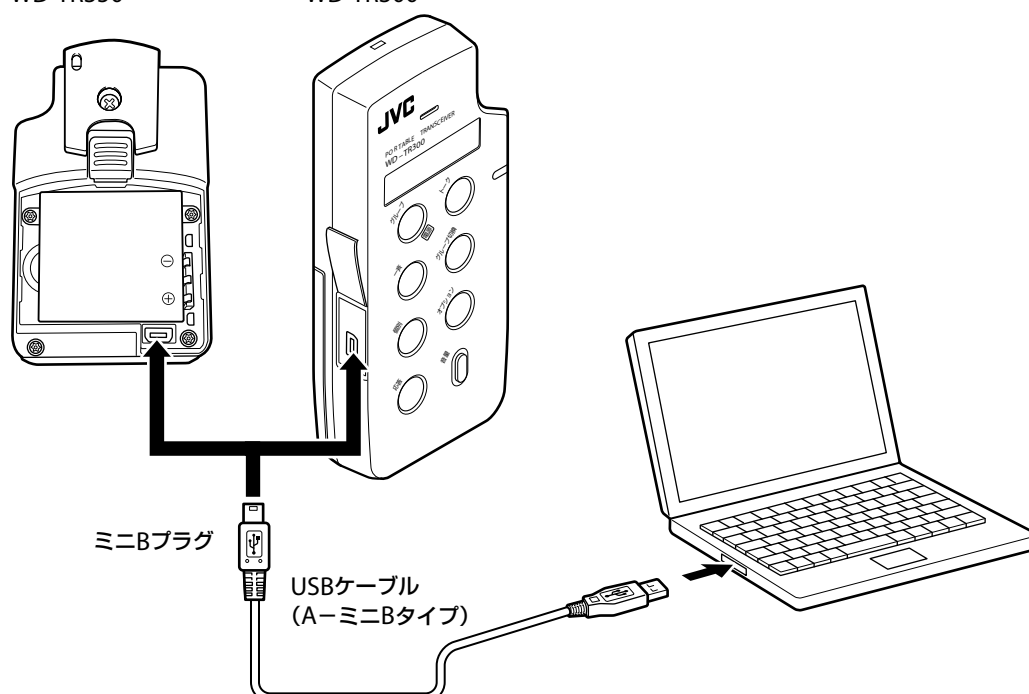
1 子機WD-TR350/WD-TR300とPCをUSBケーブルで接続し、子機の電源を入れる。

子機WD-TR350の場合は表示部が「USB」点滅表示に、WD-TR300の場合は動作ランプが緑色に点滅になっていることを確認してください。

子機とPCは、USBケーブル(A-ミニBタイプ)で下図のように接続します。子機とPCを接続してから、子機の電源を入れてください。

ポータブルトランシーバー
WD-TR350

ポータブルトランシーバー
WD-TR300



ご注意

- 接続するUSBケーブルは、長さが2 m以下のものを使用してください。2 m以上のUSBケーブルを使用すると、通信障害が発生したり電源が供給されないことがあります。
- USBハブは使用しないでください。



子機WD-TR350/WD-TR300は、バッテリーが取り付けられていない状態でも子機登録ができます。

2 PCでメインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューのトップページから[WD-TR300/350 子機登録/子機設定]をクリックする。

子機からのデータの読み取りに成功すると[データの読み取りに成功しました。]ダイアログが表示されます。

ActiveXのインストールを要求するポップアップが表示された場合は、インストールを行なってください。

子機からのデータの読み取りに失敗したときは、[子機からの応答がありません。]もしくは[データの読み取りに失敗しました。]ダイアログが表示されます。

この場合は、子機とPCの接続、Internet Explorerのオプション設定を確認し、手順2をやり直してください。

次ページへつづく

3 [データの読み取りに成功しました。]ダイアログで[OK]をクリックする。

子機登録を行う画面が表示されます。

この画面で子機の設定を行うこともできます。設定の内容については、「設定関連項目」(88 ページ)をご覧ください。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

WD-TR300/350 子機登録/子機設定

① ヘルプ表示

② トップへ戻る

③ USBドライバファイルのダウンロード

子機を登録する

④ この子機番号で子機登録を実行

⑤ 現在のSYSTEM-ID

200200002

⑥ 子機番号

201

- ①ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②トップへ戻る： WD-3000トップページに戻ります。
- ③USBドライバファイルのダウンロード：
初めて子機をUSB接続するときに必要なドライバーファイルのダウンロード用ダイアログが表示されます。
- ④この子機番号で子機登録を実行：
⑥で表示された内容で子機登録を実行します。
- ⑤現在のSYSTEM-ID： 現在のシステムのIDを表示します。
- ⑥子機番号： 子機登録する子機番号を選択します。

子機番号は、子機登録できる番号が自動的に表示されます。

子機登録する番号を指定する場合は、プルダウンメニューから登録する番号を選択してください。

既に登録されている番号はプルダウンメニューに表示されません。

4 [この子機番号で子機登録を実行]をクリックする。

登録確認ダイアログが表示されます。

5 登録確認ダイアログで[OK]をクリックする。

子機登録が完了すると子機登録画面に[登録成功]と表示されます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム **WD-3000**

WD-3000 USB接続子機登録

登録成功

子機登録を継続する場合は、新しい子機に接続しなおして、「USB接続子機登録を続ける」をクリックしてください。

[トップへ戻る](#) [USB接続子機登録を続ける](#)

子機登録に失敗したときは、[子機からの応答がありません。]もしくは[子機登録に失敗しました。]ダイアログが表示されます。この場合は、子機とPCの接続を確認し、手順2からやり直してください。

続けて子機の詳細設定を行う場合は、「子機WD-TR350/WD-TR300の詳細設定/LOG確認」(P. 88 ページ)をご覧ください。

6 子機からケーブルを取りはずし、子機の電源を切る。

7 続けて別の子機(WD-TR350/WD-TR300)を登録する場合は次の作業を行う。

- ① 登録する子機をPCに接続し、電源を入れる。
- ② メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューの子機登録画面から[USB接続子機登録を続ける]をクリックする。
- ③ 手順3から繰り返す。

■ 子機WD-WT20を登録する場合

ワイヤレスランシーバーWD-WT20の子機登録は、子機と子機登録ソフトウェア(WDZS30J付属)をインストールしたPCを接続して行います。

子機登録ソフトウェアのインストール方法は、ソフトウェアに添付のWD-TR200/WD-WT20用子機登録ソフトウェアマニュアルをご覧ください。

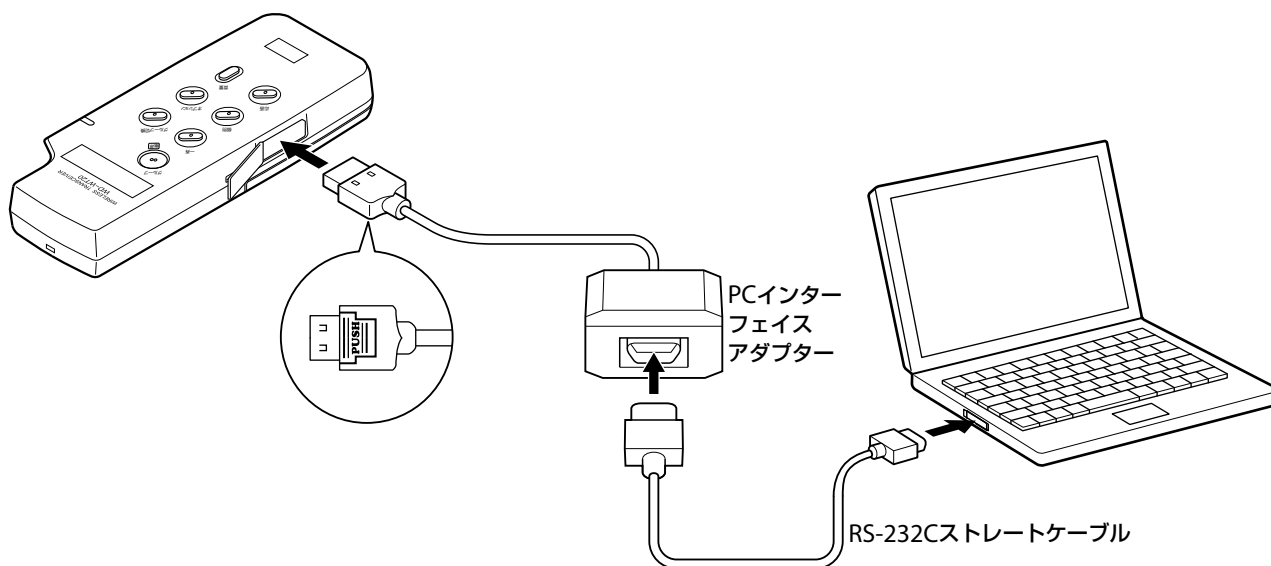
子機の接続

子機とPCは、下図のように接続します。

PCインターフェイスアダプターとPCはRS-232Cストレートケーブルで接続してください。

子機とPCインターフェイスアダプターを接続するケーブルは、コネクターの「PUSH」と書いてある面を下にします。

子機とPCを接続してから、子機の電源を入れてください。



ご注意

子機とPCインターフェイスアダプターを接続するケーブルのコネクターについて

- ・ 「PUSH」と書いてある面を下にして接続してください。
- ・ ケーブルの抜き差しは、「PUSH」と書いてある部分を押しながら行なってください。

メモ

RS-232C準拠のシリアルインターフェイスが実装されていないPCへの接続

PCにUSBインターフェイスが実装されていれば、市販の「RS-232C⇄USB変換アダプター」などを介して接続することができます。次の動作確認済みのものまたは同等品をお使いください。

- ・ USBtoシリアルケーブル UC-SGT (エレコム(株)製)

子機登録の手順



- ・ マスターセルステーションに接続中の子機があると、子機登録ができません。登録する子機以外は電源を切っておいてください。
- ・ マスターセルステーションの近くに他のセルステーションが設置されている場合は、電波の干渉で子機登録に失敗する場合があります。

1 子機とPCを接続し、子機の電源を入れる。

子機の動作ランプが緑点滅となることを確認してください。

2 PCで子機登録ソフトウェアを起動し、メニュー画面の[子機設定登録モード]をクリックする。

3 メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューのトップページから[WD-TR200/WD-WT20子機登録]をクリックする。

子機登録の画面が表示され、子機番号(PS番号)と暗証番号が表示されます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム **WD-3000**

WD-3000 子機登録

① ヘルプ表示

② 子機登録を実行する

③ 子機番号(PS番号) 202

④ 暗証番号 2381

⑤ トップへ戻る

- ①ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②子機登録を実行する： ③、④で表示された内容で子機登録を実行します。
- ③子機番号： 子機登録する子機番号を表示します。
- ④暗証番号： 子機登録に使用する暗証番号を表示します。(手順4で利用します)
- ⑤トップへ戻る： WD-3000 トップページに戻ります。

子機番号は、子機登録できる番号が自動的に表示されます。

子機登録する番号を指定する場合は、プルダウンメニューから登録する番号を選択してください。

既に登録されている番号はプルダウンメニューに表示されません。

次ページへつづく

4 手順3で表示された子機番号(PS番号)、暗証番号を子機登録ソフトウェアに入力し、[設定書き込み]をクリックする。

子機設定登録モード

ファイル(F) オプション(O) ヘルプ(H)

マンマシンインタフェース

本体SW動作モード: 短アサイン

本体SW長押し確定時間

スイッチ長押し: スイッチ短押し

スイッチアサインSW1: 応答SW

スイッチアサインSW2: 個別1SW

スイッチアサインSW3: 一斉SW

スイッチアサインSW4: 個別2SW

スイッチアサインSW5: 放送SW

リモコンスイッチアサインSW1: 応答SW

リモコンスイッチアサインSW2: 個別1SW

リモコンスイッチアサインSW3: 一斉SW

PS-ID: 0 1 2 8 6 7 6 5 0

PS番号: 2 0 2

暗証番号: 2 3 8 1

圏外お知らせ音: 圏外時トークボタン押で鳴動する

受話音量

送信音量

マイクアンプゲイン

トランスミッタ出力レベル

設定読み込み

設定書き込み

子機登録 状態

エラー内容

子機登録

子機登録中断

メモ

接続モデル: WD-TR200

子機交換

メニューに戻る



この画面で子機の設定を変更することができます。変更方法については、子機登録用ソフトウェアキットWDZS30Jの取扱説明書をご覧ください。

5 メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューの子機登録の画面から[子機登録を実行する]をクリックする。

[登録の準備中です]に続いて[登録中です]のメッセージが表示されます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

WD-3000 子機登録

登録中です

子機番号(PS番号)	202
暗証番号	2381

⑥

トップへ戻る 子機登録を続ける 中断する

6 手順5で[登録中です]が表示されたら、子機登録ソフトウェアの[子機登録]をクリックする。



PCの画面に[子機登録実行中]のメッセージが表示されます。

子機登録が完了するとPCの画面に[子機登録制御完了]と表示されます。

また、Web設定メニューの子機登録画面に[登録に成功しました]と表示されます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

WD-3000 子機登録

登録に成功しました

子機番号(PS番号)	202
暗証番号	2381

トップへ戻る 子機登録を続ける 中断する

次ページへつづく

システムデータの設定と動作確認

子機登録に失敗したときは、Web設定メニューの子機登録画面に[登録に失敗しました]と表示されます。
この場合は、[子機登録を続ける]をクリックして、手順3の「子機登録を実行する」からやり直してください。

デジタルワイヤレスインターカムシステム **WD-3000**

WD-3000 子機登録

登録に失敗しました

子機番号(PS番号)	202
暗証番号	2381

トップへ戻る

子機登録を続ける

中断する

- [子機登録制御完了]の場合、PCに[名前を付けて保存]画面が表示されます。登録した子機の子機情報を保存する場合は、ファイル名を入力して[保存]を、保存しない場合は[キャンセル]をクリックします。

名前を付けて保存

保存する場所: WDR200設定ログフォルダ

ファイル名(N):

ファイルの種類(T): ログファイル(*.jv*)

保存(S)

キャンセル

しばらく経っても子機登録が完了しないときは、Web設定メニューの[中断する]をクリックして子機登録を中断してください。[中断処理中です]に続いて[登録が中断されました]と表示されます。

[子機登録を続ける]をクリックして、手順3の「子機登録を実行する」からやり直してください。

デジタルワイヤレスインターカムシステム **WD-3000**

WD-3000 子機登録

登録が中断されました

子機番号(PS番号)	202
暗証番号	2381

トップへ戻る

子機登録を続ける

中断する

7 子機登録ソフトウェアの[子機交換]をクリックし、子機の電源を切り、子機からPC接続ケーブルを取りはずす。

子機設定登録モード

ファイル(F) オプション(O) ヘルプ(H)

マンマシンインタフェース

本体SW動作モード: 短アサイン

本体SW長押し確定時間

スイッチ長押し: スイッチ短押し

スイッチアサインSW1: 応答SW

スイッチアサインSW2: 個別1SW

スイッチアサインSW3: 一斉SW

スイッチアサインSW4: 個別2SW

スイッチアサインSW5: 放送SW

リモコンスイッチアサインSW1: 応答SW

リモコンスイッチアサインSW2: 個別1SW

リモコンスイッチアサインSW3: 一斉SW

PS-ID: 0 1 2 8 6 7 6 5 0

PS番号: 2 0 2

暗証番号: 2 3 8 1

圏外お知らせ音: 圏外時トークボタン押で鳴動する

受話音量

サイドトーンゲイン

マイクアンプゲイン

トーンジェネレータ出力レベル

設定読み込み 設定書き込み

子機登録 状態: 子機登録制御完了(正常終了) エラー内容

子機登録 子機登録中断

メモ

接続モデル: WD-TR200

子機交換

クリックする

続けて別の子機(WD-TR200/WD-WT20)を登録する場合：

- ① Web設定メニューの子機登録の画面から[子機登録を続ける]をクリックする。
- ② 登録する子機をPCに接続し、電源を入れる。
- ③ 子機登録ソフトウェアの[交換完了]をクリックする。
- ④ 手順3の「子機登録を実行する」から繰り返す。

子機設定登録モード

ファイル(F) オプション(O) ヘルプ(H)

マンマシンインタフェース

本体SW動作モード

本体SW長押し確定時間

スイッチ長押し: スイッチ短押し

スイッチアサインSW1

スイッチアサインSW2

スイッチアサインSW3

スイッチアサインSW4

スイッチアサインSW5

リモコンスイッチアサインSW1

リモコンスイッチアサインSW2

リモコンスイッチアサインSW3

PS-ID

PS番号

暗証番号

圏外お知らせ音

受話音量

サイドトーンゲイン

マイクアンプゲイン

トーンジェネレータ出力レベル

設定読み込み 設定書き込み

子機登録 状態 エラー内容

子機登録 子機登録中断

メモ

接続モデル

交換完了

クリックする

システムの設定

WD-3000システム全体の設定を行います。

- 1
- メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューのトップページから[システム設定]をクリックする。
- 2
- 左のフレームから目的の項目をクリックして、設定をする。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

① システム設定

② インカム設定

③ 子機設定

④ CS設定

⑤ 多機能操作器設定

⑥ 音声入出力ユニット設定

⑦ 放送出力設定

⑧ 外線共通設定

⑨ 外線モード動作設定

⑩ トーン設定

⑪ タイマー設定

⑫ 短縮番号設定

子機一覧

CS一覧

多機能操作器一覧

音声入出力ユニット一覧

システム設定一覧

CS番号変更

その他

トップへ戻る

システム設定ヘルプ表示

更新キャンセル

通話モード

通常

現在日時

XXXX年XX月XX日12時00分

時刻更新

CS定期リフレッシュ

毎日

設定時刻4時00分

WT20音量変更

0dB

ヒアリング機能

VX-XX

(子機3台接続時)制御CH送信

制御CH送信オン

制御CH送信オフ

システムCPUソフトウェアバージョン

V1-XX

ネットワークCPUソフトウェアバージョン

V1-XX

メインFPGAバージョン

V2-XX

サブFPGAバージョン

V2-XX

外線モジュールソフトウェアバージョン

V1-XX

WD-M310(1) FPGAバージョン

WD-M310(2) FPGAバージョン

WD-M310(3) FPGAバージョン

WD-M310(4) FPGAバージョン

WD-M310(5) FPGAバージョン

WD-M310(6) FPGAバージョン

WD-M310(7) FPGAバージョン

- ① システム設定(🔗 65 ページ) :
- システムの現在日時、セルステーション (CS) の定期リフレッシュ時刻などが設定できます。
- ② インカム設定(🔗 66 ページ) :
- インカムの個別通話、一斉連絡などが設定できます。
- ③ 子機設定(🔗 67 ページ) :
- 子機の内線電話番号、ホームグループなどが設定できます。
- ④ CS設定(🔗 70 ページ) :
- セルステーション (CS) の登録の削除、CS-IDの確認などができます。
- ⑤ 多機能操作器設定(🔗 72 ページ) :
- 多機能操作器の内線電話番号、ホームグループなどが設定できます。
- ⑥ 音声入出力ユニット設定(🔗 74 ページ) :
- 音声入出力ユニットのモード、招集対象に含めるかなどが設定できます。
- ⑦ 放送出力設定(🔗 75 ページ) :
- 放送時の開始音、終了音などが設定できます。
- ⑧ 外線共通設定(🔗 76 ページ) :
- 電話回線の接続形態、外線種類などが設定できます。
- ⑨ 外線モード動作設定(🔗 77 ページ) :
- 外線モードの運用モード、DID/DISA自動時の動作などが設定できます。
- ⑩ トーン設定(🔗 79 ページ) :
- トーンの音量、再生パターンなどが設定できます。
- ⑪ タイマー設定(🔗 82 ページ) :
- 一斉状態、個別呼出状態などを解除するまでの時間が設定できます。
- ⑫ 短縮番号設定(🔗 83 ページ) :
- システムで使用する短縮番号(外線電話番号のみ)が設定できます。

■ システム設定

システムの現在日時、セルステーション(CS)の定期リフレッシュ時刻などが設定できます。

デジタルワイレスインターカムシステム WD-3000	
システム設定	① ヘルプ表示
インカム設定	② 更新 ③ キャンセル
子機設定	④ 通話モード 通常
CS設定	⑤ 現在日時 XXXX 年 XX 月 XX 日 12 時 00 分 時刻更新
多機能操作器設定	⑥ CS定期リフレッシュ 毎日 設定時刻 4 時 00 分
音声入出力ユニット設定	⑦ WT20音量変更 0dB
放送出力設定	⑧ ヒアリング機能 VX-XX
外線共通設定	⑨ (子機3台接続時)制御CH送信 制御CH送信オン 制御CH送信オフ
外線モード動作設定	⑩ システムCPUソフトウェアバージョン V1-XX
トーン設定	⑪ ネットワークCPUソフトウェアバージョン V1-XX
タイマー設定	⑫ メインFPGAバージョン V2-XX
短縮番号設定	⑬ サブFPGAバージョン V2-XX
子機一覧	⑭ 外線モジュールソフトウェアバージョン V1-XX
CS一覧	⑮ WD-M310(1) FPGAバージョン -----
多機能操作器一覧	⑮ WD-M310(2) FPGAバージョン -----
音声入出力ユニット一覧	⑮ WD-M310(3) FPGAバージョン -----
システム設定一覧	⑮ WD-M310(4) FPGAバージョン -----
CS番号変更	⑮ WD-M310(5) FPGAバージョン -----
その他	⑮ WD-M310(6) FPGAバージョン -----
トップへ戻る	⑮ WD-M310(7) FPGAバージョン -----

- ①ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②更新： 設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ④通話モード： システムの通話モードを設定します。シンプル通話モードもしくはヒアリングモードに設定した場合、動作対象に設定した子機が選択したモードで動作します(シンプル通話モードは子機WD-TR300およびWD-TR350のみ)。
- ⑤現在日時： システムの時計を設定します。[時刻更新]のクリックでシステムの時計を更新します。
- ⑥CS定期リフレッシュ： システムを定期的に再起動する時刻を設定します。システムを再起動することで、ノイズなどの影響で不安定になったCSの動作が改善されます。
「毎日」、「毎週」、「しない」が選択できます。
- ⑦WT20音量変更： 子機WD-WT20の音量を設定します。システムに接続されるこれらの子機の音量が変更されます。工場出荷時の設定は0dBです。-6dBにして音量を小さくすることができます。
- ⑧ヒアリング機能： ヒアリング機能(システム)のバージョンを示します。変更はできません。ヒアリングモード機能拡張(WD-3000(E))でお使いの場合は、バージョンがV2-00以降であることをご確認ください。バージョンがV1-XXの場合は、「システム設定の確認」のご注意(84ページ)をご覧ください。
- ⑨(子機3台接続時)制御CH送信： 1つのCSに子機が3台接続しているとき、そのCSが制御CH送信をするかしないかを選択します。
- ⑩システムCPUソフトウェアバージョン： システムCPUのソフトウェアバージョンを表示します。変更はできません。

システムデータの設定と動作確認

⑪ ネットワークCPUソフトウェアバージョン：

ネットワークCPUのソフトウェアバージョンを表示します。変更はできません。

⑫ メインFPGAバージョン： メインFPGAのバージョンを表示します。変更はできません。

⑬ サブFPGAバージョン： サブFPGAのバージョンを表示します。変更はできません。

⑭ 外線モジュールソフトウェアバージョン：

外線モジュールのソフトウェアバージョンを表示します。変更はできません。

⑮ WD-M310(1～7)FPGAバージョン：

サブコントローラーWD-M310(7台)のFPGAのバージョンを表示します。変更はできません。

■ インカム設定

インカムの個別通話、一斉連絡などが設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000															
システム設定 インカム設定 子機設定 CS設定 多機能操作器設定 音声入出力ユニット設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード動作設定 トーン設定 タイマー設定 短縮番号設定 子機一覧 CS一覧 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット一覧 システム設定一覧 CS番号変更 その他 トップへ戻る	インカム設定 ① ヘルプ表示 ② 更新 ③ キャンセル <table><tbody><tr><td>④ 個別通話設定</td><td>☒ 個別グループを使用 ☐ 使用しない</td></tr><tr><td>⑤ 一斉連絡設定</td><td>☐ 一斉呼出モード ☒ 一斉通話モード</td></tr><tr><td>⑥ 外部機器制御1設定</td><td>☒ メーク ☐ ブレーク</td></tr><tr><td>⑥ 外部機器制御2設定</td><td>☒ メーク ☐ ブレーク</td></tr><tr><td>⑦ 外部機器制御1 制御時間</td><td>0 00ms(0-100) (100ms単位, 0:固定)</td></tr><tr><td>⑦ 外部機器制御2 制御時間</td><td>0 00ms(0-100) (100ms単位, 0:固定)</td></tr><tr><td>⑧ 外線取次モード設定</td><td>☒ 外線取次モード ☐ インカム優先モード</td></tr></tbody></table>	④ 個別通話設定	☒ 個別グループを使用 ☐ 使用しない	⑤ 一斉連絡設定	☐ 一斉呼出モード ☒ 一斉通話モード	⑥ 外部機器制御1設定	☒ メーク ☐ ブレーク	⑥ 外部機器制御2設定	☒ メーク ☐ ブレーク	⑦ 外部機器制御1 制御時間	0 00ms(0-100) (100ms単位, 0:固定)	⑦ 外部機器制御2 制御時間	0 00ms(0-100) (100ms単位, 0:固定)	⑧ 外線取次モード設定	☒ 外線取次モード ☐ インカム優先モード
	④ 個別通話設定	☒ 個別グループを使用 ☐ 使用しない													
	⑤ 一斉連絡設定	☐ 一斉呼出モード ☒ 一斉通話モード													
	⑥ 外部機器制御1設定	☒ メーク ☐ ブレーク													
	⑥ 外部機器制御2設定	☒ メーク ☐ ブレーク													
	⑦ 外部機器制御1 制御時間	0 00ms(0-100) (100ms単位, 0:固定)													
	⑦ 外部機器制御2 制御時間	0 00ms(0-100) (100ms単位, 0:固定)													
	⑧ 外線取次モード設定	☒ 外線取次モード ☐ インカム優先モード													

① ヘルプ表示：

各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。

② 更新：

設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。

③ キャンセル：

設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。

④ 個別通話設定：

個別グループを使用すると、個別通話中に一斉連絡の通話を聞くことができます。使用しない場合は一斉連絡の通話を聞くことはできません。

⑤ 一斉連絡設定：

一斉呼出は、すべての通話グループに対して一斉に送話します。このとき、一斉呼出をした子機または多機能操作器にはグループ通話音声は聞こえません。
一斉通話は、すべての通話グループで一斉に通話できます。

⑥ 外部機器制御設定：

メインコントローラーWD-M300背面にある外部制御端子1・2の動作の設定をします。端末のボタン操作で、オンとオフが切り換わる動作となり、オン時の極性が「メーク」か「ブレーク」かを選択することができます。

⑦ 外部機器制御 制御時間：メインコントローラーWD-M300背面にある外部制御端子1・2に接続された外部機器の制御時間を設定します。

- ⑧ 外線取次モード設定： 外線電話取次保留中の他の端末の動作（優先順位）を設定します。外線電話取次は、子機WD-WT20では対応していません。
- ・ 外線取次モード = 外線電話を取次ぐ業務が最優先されます。取次ぎ保留中は、個別通話やグループ切替、招集通話などの機能は使用できません。
 - ・ インカム優先モード = 外線電話を取次ぐ業務よりも通常のインカム通話業務が優先されます。取次ぎ保留中でも、個別通話やグループ切替、招集通話などの機能が使用できます。

子機設定

子機の内線電話番号、ホームグループなどが設定できます。

ご注意

設定する子機が接続中の場合は、設定の変更ができません。子機の電源を切って、再度[選択] ボタンをクリックして設定を行ってください。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定 インカム設定 子機設定 CS設定 多機能操作器設定 音声入出力ユニット設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード動作設定 トーン設定 タイマー設定 短縮番号設定 子機一覧 CS一覧 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット一覧 システム設定一覧 CS番号変更 その他 トップへ戻る	子機設定 ① PSデータコピー ② ヘルプ表示
	③ 子機選択(子機番号) 200 (200-391) 選択
	④ 更新 ⑤ キャンセル ⑥ 登録削除 ⑦ 登録済み子機表示
	⑧ 子機番号 200
	⑨ PS-ID 000000000
	⑩ 機種名 -----
	⑪ 内線番号 200
	⑫ 招集対象 非対象
	⑬ ホームグループ G1 ☒ G2 ☐ G3 ☐ G4 ☐ G5 ☐ G6 ☐ G7 ☐ G8 ☐
	⑭ 外線一般着信対象 モード1 ☒ 有り ☐ 無し モード2 ☒ 有り ☐ 無し モード3 ☒ 有り ☐ 無し モード4 ☒ 有り ☐ 無し
	⑮ 外線取次応答 ☒ 許可 ☐ 不可
	⑯ 機能ボタン1(グループ) *1 FUNCTION-1 *2 グループ
	⑯ 機能ボタン2(一斉) *1 FUNCTION-2 *2 一斉
	⑯ 機能ボタン3(個別) *1 FUNCTION-3 *2 個別 内線番号 000
	⑯ 機能ボタン4(グループ切替) *1 FUNCTION-4 *2 なし
	⑯ 機能ボタン5(オプション) *1 FUNCTION-5 *2 なし
	⑯ 機能ボタン6(応答) *1 FUNCTION-6 *2 応答
⑰ 緊急時動作 ☐ 外部端子制御 制御端子 端子番号1 ☐ 外部音声制御 音声番号 0 (1-999)	

WD-TR350/
WD-TR300

WD-WT20

- ① PSデータコピー： 子機設定のデータコピー用画面が表示されます。(P. 69 ページ)
- ② ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ③ 子機選択(子機番号)： 設定する子機を選択します。子機番号を選択し、[選択] をクリックすると、設定対象の子機が切り換わります。
- ④ 更新： 設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。

システムデータの設定と動作確認

- ⑤ **キャンセル：** 設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ⑥ **登録削除：** 選択した子機の登録を削除します。
- ⑦ **登録済み子機表示：** 登録済み子機の一覧を表示します。ワイヤレスランシーバーWD-WT20は、「WD-TR200」と表示されます。
- ⑧ **子機番号：** 選択した子機の番号を表示します。この画面では変更できません。変更したい場合は、再度子機登録をしてください。
設定対象の子機を変更するときは、[子機選択(子機番号)]から子機選択を行います。
- ⑨ **PS-ID：** 選択した子機のPS-IDを表示します。変更できません。
設定対象の子機を変更するときは、[子機選択(子機番号)]から子機選択を行います。
- ⑩ **機種名：** 選択した子機の機種名を表示します。変更できません。
- ⑪ **内線番号：** 選択した子機の内線電話番号を設定します。
内線電話番号は3けた(100～799)または4けた(1000～7999)で入力できます。
3けたの内線電話番号を登録する場合は、先頭に「0」は付けずに3けたで入力してください。
- ⑫ **招集対象：** 選択した子機が招集通話の対象になるか否かを設定します。
招集通話は、あらかじめ設定した招集メンバー(複数の相手)と通話するときのモードです。
- ⑬ **ホームグループ：** 選択した子機が所属するホームグループ(電源を入れた直後に所属するグループ)を「G1」～「G8」の中から設定します。
ホームグループは複数設定できますが、すべてを設定なしにすることはできません。
- ⑭ **外線一般着信対象：** 外線モード1～4それぞれの場合について、選択した子機を一般着信の対象とするかどうかを設定します。それぞれの外線モードの動作は、「外線モード動作設定」で設定できます。
( 77 ページ)
- ⑮ **外線取次応答：** 選択した子機の外線電話取次応答を、「許可」、「不可」のどちらかに設定します(子機WD-TR350/WD-TR300のみ)。
外線電話取次応答を「不可」に設定すると、外線電話を保留(外線電話取次を起動)したあと、相手が応答しなかった場合などに、自子機へ外線電話を戻すことができなくなります。
- ⑯ **機能ボタン1～6 / FUNCTION-1～6：**
機能ボタン1～6(子機WD-TR300/WD-WT20)またはFUNCTION機能1～6(子機WD-TR350)に割り当てる機能を設定します。
- ・ なし = 機能を割り当てません。
 - ・ グループ = グループ通話を割り当てます。
 - ・ 一斉 = 一斉呼出または一斉連絡を割り当てます。
 - ・ 個別 = 個別通話を割り当て、内線電話番号を設定します。
 - ・ 放送 = 放送を割り当て、出力グループと受話するかどうかを設定します。
 - ・ グループ切換 = グループの切り換えを割り当て、切り換え対象のグループを設定します。
 - ・ 外部機器制御 = 外部機器の制御を割り当て、制御の対象になる制御端子を設定します。
 - ・ 外部音源起動 = 外部音源の起動を割り当て、音声番号を設定します。
 - ・ 外線強制切断 = 外線電話の強制切断を割り当て、切断するグループを設定します。
 - ・ 応答 = 応答を割り当てます。
 - ・ 招集 = 招集通話を割り当てます。
 - ・ 外線取次 = 外線電話の取次ぎを割り当てます。(子機WD-TR350/WD-TR300のみ)
 - ・ 外線発信 = 外線電話の発信を割り当て、外線番号を設定します。(子機WD-TR350/WD-TR300のみ)
- ⑰ **緊急時動作：** 選択した子機の緊急時の動作を設定します(子機WD-TR350のみ)。
外部端子制御と外部音声制御は同時に設定することができます。

● ご注意

- ・ 子機をヒアリングモードで使用する場合は、ヒアリングマスターとヒアリングスレーブのヒアリンググループを同じにしてください。
- ・ ヒアリングモード、外線電話取次、および外線電話発信は、ワイヤレスランシーバーWD-WT20では使用できません。
- ・ シンプル通話モードは、ワイヤレスランシーバーWD-WT20では使用できません。

PSデータコピー/CSデータコピー画面

設定をまとめてコピーできます。コピー元ユニットとコピー先ユニットを指定し、[更新]ボタンをクリックします。
以下の画面は、PSデータコピーの画面です。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000	
子機 設定データコピー	
更新 キャンセル	
コピー元 PS番号指定	コピー先 PS番号指定
200 〈異なる機種の際は コピーできません〉	☒ 単体子機にコピー 200 ☐ 複数子機にコピー 開始PS番号 200 終了PS番号 200



同一機種の子機間でのみコピーできます。WD-TR350とWD-TR300など、異なる機種の子機間ではコピーできません。

CS設定

セルステーション(CS)の登録の削除、CS-IDの確認などができます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定

インカム設定

子機設定

CS設定

多機能操作器設定

音声入出力ユニット設定

放送出力設定

外線共通設定

外線モード動作設定

トーン設定

タイマー設定

短縮番号設定

子機一覧

CS一覧

多機能操作器一覧

音声入出力ユニット一覧

システム設定一覧

CS番号変更

その他

トップへ戻る

CS設定

①CSデータコピー②ヘルプ表示

③CSの選択(CS番号)

1▼(1-99) 選択

④更新

⑤キャンセル

⑥登録削除

⑦登録済みCS表示

⑧CS番号	1
⑨CS-ID	174680005(HEX:A6967C5)
⑩待ち受けゾーン選択レベル	42dBuV(10-80)
⑪待ち受けゾーン保持レベル	36dBuV(10-80)
⑫再発呼型ハンドオーバー処理レベル	39dBuV(10-80)
⑬再発呼型ハンドオーバー先ゾーン選択レベル	42dBuV(10-80)
⑭シームレスハンドオーバー処理レベル	48dBuV(10-80)
⑮チャンネル切換FERしきい値	40スロット(0-240)
⑯シームレスハンドオーバーFER	10スロット(0-31)
⑰ヒアリング機能	V2-XX
⑱ボードバージョン	V2-XX
⑲ソフトウェアバージョン (更新直後は表示されません)	V2-XX

- ①CSデータコピー：CS設定のデータコピー用画面が表示されます。コピー元ユニットとコピー先ユニットを指定し、データコピーを行います。(69 ページ)
- ②ヘルプ表示：各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスマンテナンス用の内容を含んでいます。
- ③CSの選択(CS番号)：設定するCSを選択します。CS番号を選択し、[選択] をクリックすると、設定対象のCSが切り換わります。
- ④更新：設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ⑤キャンセル：設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ⑥登録削除：選択したCSの登録を削除します。
- ⑦登録済みCS表示：登録済みCSの一覧を表示します。
- ⑧CS番号：選択したCSの番号を表示します。対象のCSを変更するときは、[CSの選択(CS番号)] からCS選択を行います。CS番号は[システム設定] の [CS番号変更] から変更できます。(85 ページ)
- ⑨CS-ID：選択したCSのCS-IDを表示します。変更はできません。
- ⑩待ち受けゾーン選択レベル：子機の電源を入れたときに、ここで設定したレベル以上の電界強度のCSを選択します。
再発呼型ハンドオーバー処理レベルよりも高い値を設定してください。
- ⑪待ち受けゾーン保持レベル：本システムでは使用しません。
- ⑫再発呼型ハンドオーバー処理レベル：ここで設定したレベル以下の電界強度になると、現在接続しているCSを切り換える動作(ハンドオーバー)を行います。

⑬ 再発呼型ハンドオーバー先ゾーン選択レベル：

ハンドオーバーを行うとき、ここで設定したレベル以上の電界強度のCSを選択します。
再発呼型ハンドオーバー処理レベルよりも高い値を設定してください。

⑭ シームレスハンドオーバー処理レベル：

ここで設定したレベル以下の電界強度になると、現在接続しているCSをバックグラウンドで切り換える動作(シームレスハンドオーバー)を行います。

この設定は、子機WD-TR350およびWD-TR300のみ有効です。

※ シームレスハンドオーバーとは、現在の接続先(CS)との接続を維持しながら、バックグラウンドで次の接続先を探し、切り換える動作です。

⑮ チャンネル切替FERしきい値：

エラー値がここで設定した値以上になると、CS内のチャンネル切替を行います。

⑯ シームレスハンドオーバー-FER：

無線通信のエラー値がここで設定した値以上になると、現在接続しているCSを切り換える動作(シームレスハンドオーバー)を行います。

この設定は、子機WD-TR350およびWD-TR300のみ有効です。

⑰ ヒアリング機能：

ヒアリング機能(CS)のバージョンを示します。変更はできません。

⑱ ボードバージョン：

WD-T300の基板のバージョンを示します。変更はできません。

⑲ ソフトウェアバージョン：CSのソフトウェアバージョンを表示します。

ご注意

- ⑩ 待ち受けゾーン選択レベル ～ ⑯ シームレスハンドオーバー-FERは、通常はデフォルト設定値で使用してください。設定値を変更したい場合は、サービス窓口にご相談ください。
- シームレスハンドオーバーは、ワイヤレストランシーバーWD-WT20では使用できません。

■ 多機能操作器設定

多機能操作器の内線電話番号、ホームグループなどが設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

- システム設定
- インカム設定
- 子機設定
- CS設定
- 多機能操作器設定
- 音声入出力ユニット設定
- 放送出力設定
- 外線共通設定
- 外線モード動作設定
- トーン設定
- タイマー設定
- 短縮番号設定
- 子機一覧
- CS一覧
- 多機能操作器一覧
- 音声入出力ユニット一覧
- システム設定一覧
- CS番号変更
- その他
- トップへ戻る

① ヘルプ表示

② 多機能操作器の選択

③ 更新

④ キャンセル

⑤ 全ユニット表示

⑥ ユニット番号	100
⑦ 内線番号	100
⑧ 招集対象	非対象
⑨ ホームグループ	G1 ☒ G2 ☐ G3 ☐ G4 ☐ G5 ☐ G6 ☐ G7 ☐ G8 ☐
⑩ 外線一般着信対象	モード1 ☐ 有り ☒ 無し モード2 ☐ 有り ☒ 無し モード3 ☐ 有り ☒ 無し モード4 ☐ 有り ☒ 無し
⑪ 外線発信許可	☐ 許可 ☒ 禁止
⑫ 外線取次応答	☒ 許可 ☐ 不可
⑬ LCD表示濃度	4
⑭ 着信音量	4
⑮ 受話音量	6
⑯ 内線着信音	着信音1
⑰ 外線着信音	着信音2
⑱ キータッチ音	☒ あり ☐ なし
⑲ トークボタン設定	押下中にONする
⑳ 電話機接続	☐ する ☒ しない
㉑ 起動モード	インカムオン
㉒ 機能ボタン1	グループ
㉒ 機能ボタン2	一斉
㉒ 機能ボタン3	個別 内線番号 000
㉒ 機能ボタン4	機能なし
㉒ 機能ボタン5	機能なし
㉒ 機能ボタン6	機能なし
㉒ 機能ボタン7	機能なし
㉒ 機能ボタン8	機能なし
㉓ ソフトウェアバージョン	----

機能なし
機能なし
グループ
一斉
個別
放送
グループ切替
外部機器制御
外部音源起動
外線強制切断
招集
外線モード切替
ワンタッチ
外線取次

- ① ヘルプ表示：
- 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスマンテナンス用の内容を含んでいます。
- ② 多機能操作器の選択：
- 設定する多機能操作器を選択します。多機能操作器番号を選択し、[選択] をクリックすると、設定対象の多機能操作器が切り換わります。
- ③ 更新：
- 設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ キャンセル：
- 設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。

- ⑤ **全ユニット表示：** WD-3000システムにある全多機能操作器の一覧を表示します。
- ⑥ **ユニット番号：** 選択した多機能操作器の番号を表示します。対象の多機能操作器を変更するときは、[多機能操作器の選択]から多機能操作器の選択を行います。
- ⑦ **内線番号：** 選択した多機能操作器の内線電話番号を設定します。
内線電話番号は3けた(100～799)または4けた(1000～7999)で入力できます。
3けたの内線電話番号を登録する場合は、先頭に「0」は付けずに3けたで入力してください。
- ⑧ **招集対象：** 選択した多機能操作器に対する招集対象を、「非対象」、「対象」のいずれかから選択します。
招集通話は、あらかじめ設定した招集メンバー(複数の相手)と通話するときのモードです。
- ⑨ **ホームグループ：** 選択した多機能操作器が所属するホームグループ(電源を入れた直後に所属するグループ)を「G1」～「G8」の中から設定します。
ホームグループは複数設定できますが、すべてを設定なしにすることはできません。
- ⑩ **外線一般着信対象：** 外線モード1～4それぞれの場合について、選択した多機能操作器を一般着信の対象とすることを設定します。それぞれの外線モードの動作は、「外線モード動作設定」で設定できます。
(☎ 77 ページ)
- ⑪ **外線発信許可：** 選択した多機能操作器の外線電話発信を、「許可」、「禁止」のどちらかに設定します。
- ⑫ **外線取次応答：** 選択した多機能操作器から取り次ぎされた外線電話の応答を、「許可」、「不可」のどちらかに設定します。



外線取次が設定されている多機能操作器の外線電話取次応答を「不可」に設定すると、外線電話を保留(外線電話取次を起動)したあと、相手が応答しなかった場合などに、自端末へ外線電話を戻すことができなくなります。

- ⑬ **LCD表示濃度：** 選択した多機能操作器のLCD表示濃度を設定します。
- ⑭ **着信音量：** 選択した多機能操作器の着信音量を設定します。
- ⑮ **受話音量：** 選択した多機能操作器の受話音量を設定します。
- ⑯ **内線着信音：** 選択した多機能操作器の内線電話着信音を設定します。
- ⑰ **外線着信音：** 選択した多機能操作器の外線電話着信音を設定します。
- ⑱ **キータッチ音：** 選択した多機能操作器のキータッチ音を、「あり」、「なし」のどちらかに設定します。
- ⑲ **トークボタン設定：** 選択した多機能操作器のトークボタンを、「押下中にONする」、「押下毎にON/OFFする」のどちらかに設定します。
- ⑳ **電話機接続：** 選択した多機能操作器に外付けの電話機を接続するかどうかを設定します。
- ㉑ **起動モード：** 選択した多機能操作器の起動モードを、「レジューム」、「インカムオン」、「インカムオフ」から選択します。
 - レジューム = 前回電源を切ったときの状態で起動
 - インカムオン = グループ通話の状態での起動(デフォルト)
 - インカムオフ = 内線電話待機状態で起動
- ㉒ **機能ボタン1～8：** 選択した多機能操作器の機能ボタンに割り当てる機能を設定します。
 - 機能なし = 機能を割り当てません。
 - グループ = グループ通話を割り当てます。
 - 一斉 = 一斉呼出または一斉通話を割り当てます。
 - 個別 = 個別通話を割り当て、内線電話番号を設定します。
 - 放送 = 放送を割り当て、出力グループと受話するかどうかを設定します。
 - グループ切換 = グループの切り換えを割り当て、切り換え対象のグループを設定します。
 - 外部機器制御 = 外部機器の制御を割り当て、制御の対象になる制御端子を設定します。
 - 外部音源起動 = 外部音源の起動を割り当て、音声番号を設定します。
 - 外線強制切断 = 外線電話の強制切断を割り当て、切断するグループを設定します。
 - 招集 = 招集通話を割り当てます。
 - 外線モード切り換え = 外線モードの切り換えを割り当て、モード番号を設定します。
 - ワンタッチ = ワンタッチダイヤル機能を割り当て、ダイヤル番号を設定します。
 - 外線取次 = 外線電話の取次ぎを割り当てます。
- ㉓ **ソフトウェアバージョン：** 多機能操作器のソフトウェアバージョンを表示します。

■ 音声入出力ユニット設定

音声入出力ユニットのモード、招集対象に含めるかなどが設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定

インカム設定

子機設定

CS設定

多機能操作器設定

音声入出力ユニット設定

放送出力設定

外線共通設定

外線モード動作設定

トーン設定

タイマー設定

短縮番号設定

子機一覧

CS一覧

多機能操作器一覧

音声入出力ユニット一覧

システム設定一覧

CS番号変更

その他

トップへ戻る

音声入出力ユニット設定

①ヘルプ表示

②ユニットの選択

500 (500-626) 選択

③更新

④キャンセル

⑤全ユニット表示

CH1	ユニット番号	500	⑥
	モード	グループ通話 G1 ☒ G2 ☐ G3 ☐ G4 ☐ G5 ☐ G6 ☐ G7 ☐ G8 ☐	⑦
	招集対象	非対象	⑧
	外部機器制御	CH1 連動しない メーク	⑨
CH2	ユニット番号	501	⑥
	モード	グループ通話 G1 ☒ G2 ☐ G3 ☐ G4 ☐ G5 ☐ G6 ☐ G7 ☐ G8 ☐	⑦
	招集対象	非対象	⑧
	外部機器制御	CH2 連動しない メーク	⑨

ソフトウェアバージョン

⑩

- ①ヘルプ表示：各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②ユニットの選択：設定する音声入出力ユニットを選択します。音声入出力ユニット番号を選択し、[選択] をクリックすると、設定対象の音声入出力ユニットが切り換わります。
- ③更新：設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④キャンセル：設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ⑤全ユニット表示：WD-3000システムにある全音声入出力ユニットの一覧を表示します。
- ⑥ユニット番号：選択した音声入出力ユニットの番号を表示します。対象の音声入出力ユニットを変更するときは、[ユニットの選択]からユニットの選択を行います。
- ⑦モード：選択した音声入出力ユニットのチャンネルに対するモードを、「グループ通話」、「グループモニター」、「放送出力」、「設定なし」のいずれかから選択します。
各モードについては、以下の内容をご確認ください。
「グループ通話」：入力、出力とも有効
入力した音声は同じチャンネルからは出力されません。
「グループモニター」：出力のみ有効、入力は無効
「放送出力」：放送出力のみ有効
「設定なし」：入力、出力とも無効
- ⑧招集対象：モード設定で「グループ通話」に設定したとき、選択した音声入出力ユニットのチャンネルに対する招集対象を、「非対象」、「対象」のいずれかから選択します。
- ⑨外部機器制御：モード設定で「放送出力」に設定したとき、選択した音声入出力ユニットのチャンネルに対する外部制御の設定を「メーク」、「ブ레이크」のいずれかから、外部制御の動作を連動しない、連動するのいずれかから選択します。
- ⑩ソフトウェアバージョン：音声入出力ユニットのソフトウェアバージョンを表示します。

放送出力設定

放送時の開始音、終了音などが設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定 インカム設定 子機設定 CS設定 多機能操作器設定 音声入出力ユニット設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード動作設定 トーン設定 タイマー設定 短縮番号設定 子機一覧 CS一覧 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット一覧 システム設定一覧 CS番号変更 その他 トップへ戻る	放送出力設定 ① ヘルプ表示	
	② 更新 ③ キャンセル	
	放送グループ1	開始音 ④ 終了音 ⑤ 音量 ⑥
	放送グループ2	開始音 ④ 終了音 ⑤ 音量 ⑥
	放送グループ3	開始音 ④ 終了音 ⑤ 音量 ⑥
	放送グループ4	開始音 ④ 終了音 ⑤ 音量 ⑥
	放送グループ5	開始音 ④ 終了音 ⑤ 音量 ⑥
	放送グループ6	開始音 ④ 終了音 ⑤ 音量 ⑥
	放送グループ7	開始音 ④ 終了音 ⑤ 音量 ⑥
	放送グループ8	開始音 ④ 終了音 ⑤ 音量 ⑥

- ①ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②更新： 設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ④開始音： 放送時の開始音を、「なし」、「あり(チャイム)」、「あり(スプラッシュ)」から選択します。
- ⑤終了音： 放送時の終了音を、「なし」、「あり(チャイム)」、「あり(スプラッシュ)」から選択します。
- ⑥音量： 放送時の開始/終了音の音量を、「特大」、「大」、「中」、「小」、「特小」から選択します。

■ 外線共通設定

電話回線の接続形態、回線種類などが設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定

インカム設定

子機設定

CS設定

多機能操作器設定

音声入出力ユニット 設定

放送出力設定

外線共通設定

外線モード 動作設定

トーン設定

タイマー設定

短縮番号設定

子機一覧

CS一覧

多機能操作器一覧

音声入出力ユニット 一覧

システム設定一覧

CS番号変更

その他

トップへ戻る

外線共通設定

① ヘルプ表示

② 更新

③ キャンセル

④ 接続形態	公衆回線
⑤ 回線種類	DP(20PPS)
⑥ 通常ダイヤルのポーズ時間	6 00ms(0-255):100ms単位
⑦ 外線受話音量	+4dB

- ①ヘルプ表示：各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②更新：操作した内容で、設定データを更新します。
- ③キャンセル：設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ④接続形態：電話回線の接続形態(公衆回線/PBX)を選択します。
- ⑤回線種類：電話回線種類(ダイヤル式/プッシュ式)を設定します。
 - PB = プッシュ式を選択します。
 - DP(10PPS) = ダイヤル式(DP10PPS)を選択します。
 - DP(20PPS) = ダイヤル式(DP20PPS)を選択します。

* DPとは：ダイヤルパルス式の電話機およびそのダイヤル音のことを指します。10パルス毎秒方式と20パルス毎秒方式があります。

* PBとは：プッシュボタン式の電話機およびそのダイヤル音のことを指します。いわゆるピポパという音に代表されます。
- ⑥通常ダイヤルのポーズ時間：電話回線の交換機動作に関する設定値(桁間ポーズ)を設定します。
桁間ポーズとは：外線電話発信をする「0」を入力したあとに、番号の入力を待つダイヤル待機時間です。「0」の入力後、次の番号が入力されないまま設定した時間が経過すると、外線電話発信が終了します。
- ⑦外線受話音量：外線電話からの受話音量を設定します。

■ 外線モード動作設定

外線モードの運用モード、DID/DISA自動時の動作などが設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定 インカム設定 子機設定 CS設定 多機能操作器設定 音声入出力ユニット設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード動作設定 トーン設定 タイマー設定 短縮番号設定 子機一覧 CS一覧 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット一覧 システム設定一覧 CS番号変更 その他 トップへ戻る	外線モード動作設定 ① ヘルプ表示	
	② 動作モード選択	モード1 ▼ 選択
	③ 更新	④ キャンセル
	⑤ 動作モード	1
	⑥ 運用モード	DISA自動 ▼
	⑦ DID/DISA自動時の動作	内線 ▼ 内線番号 101
	⑧ DISAパスワード	444444
	⑨ 誤ダイヤル時着信	切断 ▼
	⑩ 未応答・話中転送	切断 ▼

- ① **ヘルプ表示：** 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ② **動作モード選択：** 設定する動作モードを選択します。設定する動作モードをプルダウンより選択し、[選択] をクリックしてください。
- ③ **更新：** 設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ **キャンセル：** 設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ⑤ **動作モード：** 現在選択されている動作モードを表示します。動作モードを変更するときは、[動作モード選択] から動作モードを選択します。
- ⑥ **運用モード：** 選択した動作モードにおける運用形態を設定します。
- ・一般着信 = 外線電話から着信があると、外線電話一般着信対象となっている多機能操作器または子機(複数可)に着信します。
 - ・DID自動 = 外線電話着信に自動応答します。そのあとの接続動作も自動で行います。
 - ・DID手動 = 外線電話着信に自動応答します。そのあとの発呼者による特番入力または内線電話番号入力によりシステムへの接続を行います。
 - ・DISA自動 = 外線電話着信に自動応答したあと、パスワードの入力を要求します。パスワードが一致したあとの動作はDID自動と同様です。
 - ・DISA手動 = 外線電話着信に自動応答したあと、パスワードの入力を要求します。パスワードが一致したあとの動作はDID手動と同様です。
- ⑦ **DID/DISA自動時の動作：** 運用モードがDID自動またはDISA自動の場合の接続動作を指定します。
- ・グループ1～8 = グループ通話1～8に参加します。
 - ・一斉 = 外線電話からの一斉連絡(呼び出し、通話)を行います。
 - ・内線 = 指定した内線電話番号へ外線電話を着信させます。
- ⑧ **DISAパスワード：** 運用モードがDISA自動またはDISA手動の場合のパスワードを指定します。パスワードは任意の数字6けたとなります。

次ページへつづく

システムデータの設定と動作確認

- ⑨ 誤ダイヤル時着信： 運用モードがDIDまたはDISAのとき、誤ダイヤルが発生した場合の動作を設定します。
- 切断 = 外線電話を強制的に切断します。
 - 内線転送 = ここで指定した内線電話番号に外線電話を転送着信します。
- ⑩ 未応答・話中転送： 外線電話着信が未応答のまま時間切れになったとき、あるいは、着信先の端末が話中だった場合の動作を設定します。
- 切断 = 外線電話を強制的に切断します。
 - 内線転送 = ここで指定した内線電話番号に外線電話を転送着信します。

■ トーン設定

トーンの音量、再生パターンなどが設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定 インカム設定 子機設定 CS設定 多機能操作器設定 音声入出力ユニット設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード動作設定 トーン設定 タイマー設定 短縮番号設定 子機一覧 CS一覧 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット一覧 システム設定一覧 CS番号変更 その他 トップへ戻る	トーン設定 ① ヘルプ表示 ② 対象トーン選択 モード切替 選択 ③ 更新 ④ キャンセル ⑤ 音量 大	モード切替 モード切替 一斉連絡 招集連絡 外部制御 セカンドDT セカンドダイヤルエラー 外線話中着信 保留警報 内線DT 内線呼出 内線話中着信 内線ハウラー 警告 無効 着信音1 着信音2 着信音3 着信音4 着信音5 緊急起動音 取次完了音
---	--	--

- ① **ヘルプ表示：** 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ② **対象トーン選択：** 設定の対象となるトーンをプルダウンリストから選択します。トーンの種類と説明については、「トーンの種類」をご覧ください。(P.80 ページ)
次のトーンを選択した場合は、トーンのパターン長や鳴動時間、音源種別などが設定できます。
外部制御/外線話中着信/保留警報/内線呼出/内線話中着信/内線ハウラー/着信音1～5
詳しくは「トーンの詳細設定」をご覧ください。(P.81 ページ)
- ③ **更新：** 設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ **キャンセル：** 設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ⑤ **音量：** 選択したトーンに対する音量の設定を「大」、「中」、「小」から選択できます。
選択したトーンの種類によっては、この項目は表示されません。

トーンの種類

トーンの種類	説明
モード切替	グループ通話モードに切り換えたときの鳴動音です。
一斉連絡	一斉連絡（一斉通話／一斉呼出）モードに切り換えたときの鳴動音です。一斉連絡モードに切り換えた機器と、一斉連絡を受信する機器の両方で鳴動します。
招集連絡	招集通話モードに切り換えたときの鳴動音です。招集通話モードに切り換えた機器と、招集通話を受信する機器の両方で鳴動します。
外部制御	外部接続機器の制御を実行したときの鳴動音です。外部制御を実行した機器のみ鳴動します。
セカンドDT	DID/DISAモードで、外線電話からのセカンドダイヤルを操作したときの鳴動音です。外線電話側の機器のみ鳴動します。
セカンドダイヤルエラー	DID/DISAモードで、外線電話からのセカンドダイヤルを操作したときに、エラーが発生した場合の鳴動音です。外線電話側の機器のみ鳴動します。
外線話中着信音	グループ通話モードで通話中の機器が外線電話着信したときの鳴動音です。
保留警報	外線電話を保留したままの状態、外線電話保留警告時間を過ぎたときの鳴動音です。外線電話を保留した機器のみ鳴動します。
内線DT	内線電話捕捉をしたときの鳴動音です。内線電話捕捉をした多機能操作器のみ鳴動します。
内線呼出	個別通話または内線呼出をしたときの鳴動音です。呼出を実行した機器のみ鳴動します。
内線話中着信	グループ通話モードまたは個別通話モードの機器が個別着信したときの鳴動音です。
内線ハウラー	内線電話の通話終了後、60秒以上内線電話を開放しないとき、または内線電話捕捉状態が60秒以上続いたときの鳴動音です。
警告	着信が完了しなかったときの鳴動音です。呼出を実行した機器のみ鳴動します。
無効音	無効な操作を実行したときの鳴動音です。
着信音1～5	内線電話待機状態の多機能操作器が内線電話または外線電話を着信したときの鳴動音です。
緊急起動音	緊急起動をしたときの鳴動音です。
取次完了音	外線電話取次が完了したときの鳴動音です。

トーンの詳細設定

[対象トーン選択] で次のいずれかのトーンを選択したときは、トーンのパターン長や鳴動時間、音源種別などが設定できます。

外部制御/外線話中着信/保留警報/内線呼出/内線話中着信/内線ハウラー/着信音1～5

デジタルワイレスインターカムシステム WD-3000

システム設定
インカム設定
子機設定
CS設定
多機能操作器設定
音声入出力ユニット設定
放送出力設定
外線共通設定
外線モード動作設定
トーン設定
タイマー設定
短縮番号設定
子機一覧
CS一覧
多機能操作器一覧
音声入出力ユニット一覧
システム設定一覧
CS番号変更
その他
トップへ戻る

トーン設定

ヘルプ表示

対象トーン選択	外部制御 選択
---------	------------

更新 キャンセル

⑥ 再生パターン	再生周期 1 (0-255)秒 再生回数 1 (0-255,0:無制限)
⑦ パターン内容長	パターン1～3
⑧ パターン1: 鳴動設定	ON
⑨ パターン1: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
⑩ パターン1: 音源種別	800Hz (-12dB)
パターン2: 鳴動設定	ON
パターン2: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン2: 音源種別	660Hz (-12dB)
パターン3: 鳴動設定	OFF
パターン3: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン3: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン4: 鳴動設定	OFF
パターン4: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン4: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン5: 鳴動設定	OFF
パターン5: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン5: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン6: 鳴動設定	OFF
パターン6: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン6: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン7: 鳴動設定	OFF
パターン7: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン7: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン8: 鳴動設定	OFF
パターン8: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン8: 音源種別	400Hz (0dB)

- ⑥ 再生パターン： 再生周期と再生回数を設定します。再生回数が1回の場合は、再生周期は無効となります。
- ⑦ パターン内容長： パターンの内容を、1～8までの間で設定します。
- ⑧ パターン1：鳴動設定： パターン1の鳴動を設定します。「ON」で鳴動する、「OFF」で鳴動しない、となります。
- ⑨ パターン1：鳴動時間： ⑧の「ON」または「OFF」の時間を100msec単位で設定します。
- ⑩ パターン1：音源種別： ⑧で「ON」の場合の音源(周波数、音量)を選択します。

パターン2以降も⑧、⑨、⑩と同様に設定します。⑦で設定したパターン以降の設定は無効となります。

システムデータの設定と動作確認

■ タイマー設定

一斉状態、個別呼出状態などを解除するまでの時間が設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定	タイマー設定	① ヘルプ表示
インカム設定	② 更新	③ キャンセル
子機設定	④ 一斉解除時間	60 秒(10-1800,0:無制限)
CS設定	⑤ 個別呼出解除時間	0 秒(10-1800,0:無制限)
多機能操作器設定	⑥ 個別通話解除時間	0 秒(10-1800,0:無制限)
音声入出力ユニット 設定	⑦ 放送解除時間	0 秒(10-1800,0:無制限)
放送出力設定	⑧ 招集解除時間	0 秒(10-1800,0:無制限)
外線共通設定	⑨ 外線接続解除時間	0 秒(10-1800,0:無制限)
外線モード 動作設定	⑩ 外線保留警告時間	0 秒(10-1800,0:無制限)
トーン設定	⑪ 内線番号入力時間	0 秒(10-1800,0:無制限)
タイマー設定	⑫ サービス特番入力時間	10 秒(10-1800,0:無制限)
短縮番号設定	⑬ 子機ハンドオーバー待ち時間	10 秒(10-1800,0:無制限)
子機一覧		
CS一覧		
多機能操作器一覧		
音声入出力ユニット 一覧		
システム設定一覧		
CS番号変更		
その他		
トップへ戻る		

- ①ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②更新： 設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ④一斉解除時間： 一斉状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑤個別呼出解除時間： 個別呼出状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑥個別通話解除時間： 個別通話状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑦放送解除時間： 放送状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑧招集解除時間： 招集状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑨外線接続解除時間： 外線電話接続状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑩外線保留警告時間： 外線電話保留取次中状態の場合に警告音をならすタイマー値を設定します。
- ⑪内線番号入力時間： 内線電話番号の入力がされなかったとシステムが判断するタイマー値を設定します。
- ⑫サービス特番入力時間： サービス特番の入力がされなかったとシステムが判断するタイマー値を設定します。
- ⑬子機ハンドオーバー待ち時間： 子機がハンドオーバーする間、システムが待つタイマー値を設定します。

短縮番号設定

システムで使用する短縮番号(外線電話番号のみ)が設定できます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定
インカム設定
子機設定
CS設定
多機能操作器設定
音声入出力ユニット設定
放送出力設定
外線共通設定
外線モード動作設定
トーン設定
タイマー設定
短縮番号設定
子機一覧
CS一覧
多機能操作器一覧
音声入出力ユニット一覧
システム設定一覧
CS番号変更
その他

トップへ戻る

短縮番号設定

① ヘルプ表示

② 更新

③ キャンセル

④ システム電話番号(短縮)1	
④ システム電話番号(短縮)2	
④ システム電話番号(短縮)3	
④ システム電話番号(短縮)4	
④ システム電話番号(短縮)5	
④ システム電話番号(短縮)6	
④ システム電話番号(短縮)7	
④ システム電話番号(短縮)8	
④ システム電話番号(短縮)9	
④ システム電話番号(短縮)10	

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ② 更新： 設定を変更し、更新する場合にクリックします。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③ キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合にクリックします。
- ④ システム電話番号(短縮) 1～10： システム共通の短縮番号(外線電話番号のみ)を設定します。設定できる番号は最大24けたまでです。

システム設定の確認

WD-3000システム全体の設定の確認を行います。

- 1
- メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューのトップページから[システム設定] をクリックし、現在日時を確認する。
- 2
- 左のフレームから目的の項目をクリックして、確認をする。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定

インカム設定

子機設定

CS設定

多機能操作器設定

音声入出力ユニット 設定

放送出力設定

外線共通設定

外線モード 動作設定

トーン設定

タイマー設定

短縮番号設定

① 子機一覧

② CS一覧

③ 多機能操作器一覧

④ 音声入出力ユニット一覧

⑤ システム設定一覧

⑥ CS番号変更

⑦ その他

トップへ戻る

システム設定

ヘルプ表示

更新

キャンセル

通話モード

通常

現在日時

XXXX 年 XX 月 XX 日 12 時 00 分

時刻更新

CS定期リフレッシュ

毎日

設定時刻 4 時 00 分

WT20音量変更

0dB

ヒアリング機能

VX-XX

(子機3台接続時)制御CH送信

制御CH送信オン

制御CH送信オフ

システム CPUソフトウェアバージョン

V1-XX

ネットワークCPUソフトウェアバージョン

V1-XX

メインFPGAバージョン

V2-XX

サブFPGAバージョン

V2-XX

外線モジュールソフトウェアバージョン

V1-XX

WD-M310(1) FPGAバージョン

WD-M310(2) FPGAバージョン

WD-M310(3) FPGAバージョン

WD-M310(4) FPGAバージョン

WD-M310(5) FPGAバージョン

WD-M310(6) FPGAバージョン

WD-M310(7) FPGAバージョン

現在日時が設定されていることを確認する

ヒアリングモード機能拡張で使用する場合は、V2-00以降であることを確認する

- ①子機一覧：
- 登録済み子機の設定の確認ができます。
- ②CS一覧：
- 登録済みCSの設定の確認ができます。
- ③多機能操作器一覧：
- 多機能操作器の設定の確認ができます。
- ④音声入出力ユニット一覧：
- 音声入出力ユニットの設定の確認ができます。
- ⑤システム設定一覧：
- システム設定の確認ができます。
- ⑥CS番号変更(🔗 85 ページ)：
- CSの登録番号の確認と変更ができます。
- ⑦その他(🔗 86 ページ)：
- WD-3000システムの設定値を工場出荷値に初期化したり、システムの再起動を行なったりします。



WD-3000システムをヒアリングモード機能拡張で使用する場合は、「システム設定」画面の[ヒアリング機能]に表示されるバージョンがV2-00以降であることを確認してください。

[ヒアリング機能]のバージョンがV1-XXの場合は、次の対応をしてください。

1. ②CS一覧から「CS一覧」画面を開き、CSのバージョンにV1-XXが含まれていないか確認してください。(すべてのCSについて確認してください。)

2. バージョンがV1-XXのCSは、バージョンアップをするか、「CS設定」画面から登録削除を行なってください。

3. WD-3000システムの電源を入れなおし、「システム設定」画面で[ヒアリング機能]のバージョンがV2-00以降であることを確認してください。

バージョンアップ作業は、お近くのサービス窓口へご相談ください。

CS番号変更

CSの登録番号の確認と変更ができます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定
インカム設定
子機設定
CS設定
多機能操作器設定
音声入出力ユニット設定
放送出力設定
外線共通設定
外線モード動作設定
トーン設定
タイマー設定
短縮番号設定
子機一覧
CS一覧
多機能操作器一覧
音声入出力ユニット一覧
システム設定一覧
CS番号変更
その他
トップへ戻る

CS番号変更

① 更新後再起動する ② 更新後再起動しない ③ キャンセル

CS番号変更後は、全接続状態の更新に数秒ほどかかります。
しばらく経過したのち、画面を更新してください。

登録CS番号 ④	接続 ⑤	CS-ID ⑥	フレームオフセット スロットオフセット システムID+付加ID ⑦	変更CS番号 ⑧
1	PORT-5	XXXXXXXXXX	1 / 0 / XXXXXXXXXXXXXXXXXX	1
2	PORT-6	XXXXXXXXXX	1 / 0 / XXXXXXXXXXXXXXXXXX	2
3	PORT-7	XXXXXXXXXX	1 / 0 / XXXXXXXXXXXXXXXXXX	3
4	PORT-8	XXXXXXXXXX	1 / 0 / XXXXXXXXXXXXXXXXXX	4

- ①更新後再起動する： CS番号を変更し、全接続状態を更新してCSを再起動します。
電源再起動をかけることができる場合は、こちらを選択してください。
- ②更新後再起動しない： CSを再起動せずにCS番号を変更し、全接続状態を更新します。
電源再起動をかけることができない場合は、こちらを選択してください。なお、こちらを選択した場合は、CS定期リフレッシュ時間を待つか、次の電源再起動を待つ必要があります。
- ③キャンセル： CS番号の設定をキャンセルする場合にクリックします。
- ④登録CS番号： 現在のCS番号を表示します。
- ⑤接続： CSのポート番号を表示します。
- ⑥CS-ID： CSのCS-IDを表示します。変更はできません。
- ⑦フレームオフセット/スロットオフセット/システムID+付加ID： CSのフレームオフセット/スロットオフセット/システムID+付加IDを表示します。変更はできません。
- ⑧変更CS番号： 変更後のCS番号を入力します。[更新後再起動する] または [更新後再起動しない] をクリックすると、CS番号が変更されます。

■ その他

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定

インカム設定

子機設定

CS設定

多機能操作器設定

音声入出力ユニット 設定

放送出力設定

外線共通設定

外線モード 動作設定

トーン設定

タイマー設定

短縮番号設定

子機一覧

CS一覧

多機能操作器一覧

音声入出力ユニット 一覧

システム設定一覧

CS番号変更

その他

トップへ戻る

① ヘルプ表示

② 設定値初期化

出荷設定に戻す

③ 再起動

再起動開始

④ 設定値ダウンロード

ダウンロード開始

⑤ 設定値アップロード

アップロード開始

参照...

☒ 設定データ ☐ 設定データ + 子機登録データ

- ①ヘルプ表示：

各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②設定値初期化：

WD-3000システムの設定値を工場出荷値に初期化します。[出荷設定に戻す] ボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると初期化します。
- ③再起動：

WD-3000システムを再起動します。[再起動開始] ボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると再起動します。
- ④設定値ダウンロード：

WD-3000システムの全設定値データをPCへダウンロードします。[ダウンロード開始] ボタンをクリックすると確認用ページが表示されます。[設定ファイルをダウンロード] ボタンをクリックすると、ダウンロード用ダイアログが表示されます。[保存] ボタンをクリックし、保存先を指定するとファイルが書き込まれます。
- ⑤設定値アップロード：

PCにある全設定値データをWD-3000システムにアップロードします。[参照] ボタンをクリックするとファイルを選択するダイアログが表示されます。全設定値のデータが入っているファイルを選び[アップロード開始] ボタンをクリックするとアップロードが開始します。設定データのみアップロードする場合と、子機登録データも含めてアップロードする場合を選択できます。

ご注意

ダウンロードデータのシステムバージョンが異なる場合、互換性がないためアップロードすることができません。
異なるシステムバージョンのダウンロードデータは、アップロードしないでください。
システムバージョンについては、「システムの機器バージョンと追加機能」(P.12 ページ)をご覧ください。

システムの動作確認

すべてのシステムデータ設定を終了したあと、以下の項目の確認を行なってください。

- 子機の電源を入れて、すべての子機でグループ通話ができること。
- 多機能操作器もインカムに参加する場合は、グループ通話モードに入りグループ通話ができること。
- グループ数が2以上の場合は、グループに分かれてグループ通話ができること。
- ヒアリングモードで運用する場合は、
 - ・ ヒアリングマスターの通話内容を、同じヒアリンググループに設定されたヒアリングスレーブで受信できること。
 - ・ ヒアリングスレーブでトークボタンを操作すると、指定した時間で通話を送信するモードと受信のみを行うモードが切り換わること。
- シンプル通話モードで運用する場合は、
 - ・ 子機WD-TR350、WD-TR300の表示がシンプル通話モードの状態になっていること。シンプル通話モードの表示は、「シンプル通話モードの表示」(46 ページ)を参照してください。
 - ・ グループ音声を受話できること。
 - ・ 送話できること。
- 一斉ボタンが設定してある場合は、一斉ボタンを押して、全員に「ピーポー」というお知らせ音が聞こえ、音声がかきこえること。
 - ・ 一斉呼出の設定の場合は、応答ボタンを押した相手と個別通話(1対1)ができること。
 - ・ 一斉通話の設定の場合は、全員でグループ通話ができること。
- 個別ボタンが設定してあり、呼び出す相手が設定してある場合は、
 - ・ 個別ボタンを押して、設定した相手を呼び出せること。
 - ・ 呼び出された相手が応答ボタンを押して個別通話(1対1)ができること。
- グループ切換ボタンが設定してある場合は、グループ切換ボタンを押して、「ピッ」というお知らせ音が聞こえ、設定したグループに切り換えができること。
- 招集ボタンが設定してある場合は、招集ボタンを押して、招集対象に設定されている全員に「ピポポ」というお知らせ音が聞こえ、招集グループ通話ができること。
- 放送ボタンが設定してある場合は、放送ボタンを押して、設定したスピーカーから音声がかきこえること。
- 音声入出力ユニット経由で、インカムグループに音を入力する場合は、設定したグループで、入力した音が聞こえること。
- 音声入出力ユニット経由で、インカムグループの音を出力する場合は、設定したグループの通話がスピーカーから聞こえること。
- 外線電話を使用する場合
 - ・ 外線電話発信を許可された多機能操作器、および子機から外線電話発信ができること。
 - ・ 外線電話発信を禁止された多機能操作器、および子機から外線電話発信ができないこと。
 - ・ 一般着信を設定した多機能操作器、および子機で外線電話着信ができること。
 - ・ 外線電話取次応答を許可された多機能操作器、および子機から外線電話取次応答ができること。
 - ・ 外線電話取次応答を禁止された多機能操作器、および子機から外線電話取次応答ができないこと。
 - ・ DID、DISAが設定してある場合は、設定したグループ、多機能操作器、または子機に着信すること。
- その他、外部機器制御、外部音源起動が設定してある場合は、設定した機能が動作すること。
- 通話エリアの確認
 - ・ 予定した通話エリア内を移動して、音の途切れ、デッドポイント(通話できない場所)、ノイズの混入の有無を確認する。

システム設定データのバックアップ

動作の確認が終了したら、システム設定データをPCにダウンロードして、バックアップデータを作成します。

これで、システムデータ設定は終了です。

ダウンロードは「その他」(86 ページ)を参照してください。

子機WD-TR350/WD-TR300の詳細設定/LOG確認

ポータブルトランシーバーWD-TR350/WD-TR300の詳細設定やLOGの確認を行います。設定画面はメインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューのトップページから[WD-TR300/350 子機登録/子機設定]をクリックして表示します。

(47 ページ)

なお、本設定とあわせて「システム設定」の「子機設定」も必要です。(67 ページ)

※ [WD-TR300/350 子機登録/子機設定]は、ワイヤレストランシーバーWD-WT20の設定を行うことはできません。

■ 設定手順

1. 子機WD-TR350/WD-TR300を接続し、⑦[子機データ読み込み]をクリックして設定を読み込む
2. 設定値を変更する
3. ⑧[子機データ書き込み]をクリックして変更した設定を書き込む

■ 設定関連項目

デジタルワイヤレスインターカムシステム **WD-3000**

WD-TR300/350 子機登録/子機設定 ① ヘルプ表示

② トップへ戻る
③ USBドライバーファイルのダウンロード

子機を登録する ④

この子機番号で子機登録を実行

⑤ 現在のSYSTEM-ID 200200002
⑥ 子機番号 202

子機を設定する ⑧

⑦ 子機データ読み込み
子機データ書き込み
⑩ 子機データ初期化
⑪ ファイルセーブ
⑫ ファイルロード
⑨ システムデータ設定(子機設定)

⑬ 子機番号	200
⑭ PS-ID	200000065
⑮ 接続機種	WD-TR3XX
⑯ 子機ソフトウェアバージョン	XX.XX
⑰ メニュー割当て設定	01 グループ通話 02 一斉通話 03 個別通話 04 招集通話 05 放送 06 トーク 07 外線取次 08 なし 09 なし 10 なし 11 なし 12 なし 13 なし 14 なし

機能ボタン割当て設定

トーク

なし
なし
グループ通話
一斉通話
個別通話
招集通話
放送
トーク
外部機器制御
外部音源制御
外線発信
外線取次
外線強制切断
緊急
FUNCTION
手動ハンドオーバー

- ①ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
一部、設置時には使用しないサービスメンテナンス用の内容を含んでいます。
- ②トップへ戻る： WD-3000トップページに戻ります。
- ③USBドライバーファイルのダウンロード：
初めて子機をUSB接続するときに必要なドライバーファイルのダウンロード用ダイアログが表示されます。
- ④この子機番号で子機登録を実行：
子機登録実行時に使用します。
- ⑤現在のSYSTEM-ID： 現在のシステムのIDを表示します。
- ⑥子機番号： 子機登録実行時に使用します。使用可能な子機番号を表示します。
- ⑦子機データ読み込み： 接続された子機から現在の設定の内容を読み込み、表示を更新します。
- ⑧子機データ書き込み： 現在表示されている設定内容で、接続された子機の設定を上書きします。画面上で設定の変更が終わったらクリックしてください。
- ⑨システムデータ設定(子機設定)：
接続された子機の「子機設定」画面を表示します。(P. 67 ページ)
- ⑩子機データ初期化： 接続された子機の設定の内容を工場出荷値に戻します。ボタンをクリックするとただちに工場出荷値に戻ります(確認メッセージは表示されません)。
- ⑪ファイルセーブ： 現在表示されている設定内容を設定データとしてPCに保存します。セーブした設定データは他の子機を登録するときに利用できます。
- ⑫ファイルロード： ファイルセーブでPCに保存した設定データを読み込み、表示を更新します。[子機データ書き込み]をクリックすると、読み込んだ内容で接続された子機の設定が上書きされます。



ファイルセーブした設定データのシステムバージョンが異なる場合、ファイルロードしても書き込みすることができません。異なるシステムバージョンの設定データは、ファイルロードしないでください。システムバージョンについては、「システムの機器バージョンと追加機能」(P. 12 ページ)をご覧ください。

- ⑬子機番号： 接続された子機の番号を表示します。子機番号を変更したい場合は、再度子機登録をしてください。
- ⑭PS-ID： 接続された子機のPS-IDを表示します。変更はできません。
- ⑮接続機種： 接続された子機の機種名を表示します。変更はできません。
- ⑯子機ソフトウェアバージョン：
子機のソフトウェアバージョンを表示します。変更はできません。
- ⑰メニュー割当て設定： (子機WD-TR350のみ) 接続された子機のメニューの表示順と表示するファンクションを設定します。
なし／グループ通話／一斉通話／個別通話／招集通話／放送／トーク／外部機器制御／外部音源制御／外線発信／外線取次／外線強制切断／緊急／FUNCTION／手動ハンドオーバー



画面上で変更した設定内容は、[子機データ書き込み]をクリックしないと子機に反映されません。



ファイルロードで他の子機の設定データを読み込むと、ファイルセーブ実行時の子機番号、PS-ID、接続機種、子機ソフトウェアバージョンが表示されます。これらは工場出荷時や子機登録時に設定されるため、変更できません。

次ページへつづく

システムデータの設定と動作確認

	14 なし	
⑮ 機能ボタン割当て設定	トーク	トーク
⑯ 緊急通知設定	オフ	
⑰ トークボタン動作設定	コントロールマイクのみ	
⑱ キーロック設定	機能ボタン オン 実行ボタン オン メニューボタン オン 音量ボタン オン	
⑳ お知らせ 音量	中	
㉑ 圏外お知らせ 音設定	圏外時トークボタンで鳴動	
㉒ 音量レベル操作音設定	オン	
㉓ キータッチ音設定	オン	
㉔ マイクレベル	中	
㉕ マイク動作設定	PTT	
㉖ PTTホールドお知らせ 音	オフ	
㉗ VOX感度調整	-20dBm	
㉘ VOX終了遅延時間	4秒	
㉙ 受話音量	大	
㉚ サイドトーン音量設定	中	
㉛ ノイズカット設定	オン	
㉜ ノイズカット機能タイプ	タイプ1	
㉝ ノイズカット感度調整	-44dBm	
㉞ 個別通話子機番号登録	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	
㉟ 外線発信設定	不可	
㊱ 外線発信短縮番号登録	M1 1 M2 2 M3 3	
㊲ 放送時インカムモニター設定	オン	
UCM-100	グループ通話	

トーク
 なし
 グループ通話
 一斉通話
 個別通話
 招集通話
 放送
 トーク
 外部機器制御
 外部音源制御
 外線発信
 外線取次
 外線強制切断
 手動ハンドオーバー

- ⑮ 機能ボタン割当て設定： (子機WD-TR350のみ) 接続された子機の機能ボタンに割り当てる機能を設定します。
- ⑯ 緊急通知設定： (子機WD-TR350のみ) 接続された子機の緊急ボタンを、「オン」、「オフ」のどちらかに設定します。
- ⑰ トークボタン動作設定： コントロールマイクホンのトークボタンのみを使用するか、コントロールマイクホンのトークボタンと子機本体のトークボタンの両方を使用するかを設定します。(両方使用する場合は、子機本体の機能ボタンにトーク機能が割り当てられている必要があります。)
- ⑱ キーロック設定： (子機WD-TR350のみ) 接続された子機の機能ボタン、実行ボタン、メニューボタン、音量ボタンのそれぞれに対してボタンロック機能を、「オン」、「オフ」のどちらかに設定します。「オン」に設定した項目にキーロックがかかります。

- ②お知らせ音量： 接続された子機のトーン音量を設定します。
- ③圏外お知らせ音設定： 接続された子機が圏外になったときのお知らせ音を、「圏外時常に鳴動」、「圏外時トークボタンで鳴動」、「圏外時常に鳴動しない」から選択します。
- ④音量レベル操作音設定： 接続された子機の受話音量の変更音を、「オン」、「オフ」のどちらかに設定します。
- ⑤キータッチ音設定： 接続された子機の下記キータッチ音を、「オン」、「オフ」のどちらかに設定します。
- WD-TR350のメニュー操作時
 - WD-TR300のヒアリンググループ切替時
- ⑥マイクレベル： 接続された子機のマイクの音量を、「大」、「中」、「小」のいずれかに設定します。
- ⑦マイク動作設定： 接続された子機のマイクの設定を選択します。
- PTT = 子機またはコントロールマイクロホンのトークボタンを押している間、通話することができます。
 - PTTホールド = 子機またはコントロールマイクロホンのトークボタンを一度押すと通話状態になり、もう一度押すと通話を終了します。(シンプル通話モードではこの設定は無効となり、PTT設定時と同様の動作となります。)
 - VOX = 音声に反応して自動的にマイクがONになります。トークボタンを押すことなく、ハンズフリー通話ができます。
- ⑧PTTホールドお知らせ音： マイク動作設定をPTTホールドにしている場合に、通話状態のオンオフ時に切換音をならすか否かを設定します。
- ⑨VOX感度調整： 接続された子機をVOXモードに設定したときの検出感度を設定します。
- ⑩VOX終了遅延時間： 接続された子機をVOXモードで送信をしたときの無音検出時間を、1～10秒で設定します。
- ⑪受話音量： 接続された子機の受話音量を、「大」、「小」、「特大」のいずれかに設定します。子機はここで設定した受話音量の範囲内で音量を調節できます。

ご注意

- 「特大」はイヤホンマイクアダプターWD-UM300と対応アクセサリを使用したときなど、「大」では音量が小さすぎる場合に限り使用します。通常は「大」または「小」を設定してください。
なお、「特大」を設定した場合、子機の電源を入れると毎回受話音量が最小になります。電源投入後、音量ボタンで音量を調節してください。
- コントロールマイクロホンWT-UM8などを使用するときは、「特大」設定では音量が大きすぎるため、「特大」以外の設定にしてください。

- ⑫サイドトーン音量設定： 接続された子機のサイドトーン(イヤホンから聞こえる自分の声)の音量を、「大」、「中」、「小」のいずれかに設定します。

WD-TR300/WD-TR350 適合アクセサリの標準音量設定参考値

型名	標準音量設定(参考値)			高騒音環境での適合性	備考
	マイクレベル	受話音量	サイドトーン音量		
JVC WT-UM8 (標準仕様)	中	小	中	◎	機械音などの騒音環境に向いている (パチンコ店や工場など)
ケンウッド KHS-35F	中	特大	中	○	ホテルやレストラン、ゲームセンターなど賑やかな環境に向いている
ケンウッド EMC-12	中	特大	大	○	
ケンウッド UCM-100	+UHS-1	大	特大	×	病院や葬儀場などの静かな環境に向いている
	+UHS-2	大	特大	×	
	+UHS-3	大	特大	○	ホテルやレストラン、ゲームセンターなど賑やかな環境に向いている

※装着するお客様や環境により、適する音量設定レベルは変わります。状況に応じて設定値を調整してください。

次ページへつづく

システムデータの設定と動作確認

- ③③ **ノイズカット設定**： 接続された子機のノイズカット機能を、「オン」、「オフ」のどちらかに設定します。
- ③④ **ノイズカット機能タイプ**： 接続された子機のノイズカット機能のタイプを設定します。
- ・ タイプ1 = ノイズカット効果は低い、音声の立ち上がり早い
 - ・ タイプ2 = ノイズカット効果は高い、音声の立ち上がり遅い
- ③⑤ **ノイズカット感度調整**： 接続された子機のノイズカット機能をオンに設定したときの感度を設定します。
- ③⑥ **個別通話子機番号登録**： 接続された子機のメモリーに内線電話番号を登録します。内線番号は48件まで登録できます。内線電話番号は3けた(100～799)または4けた(1000～7999)で入力できます。3けたの内線電話番号を登録する場合は、先頭に「0」は付けずに3けたで入力してください。
- ③⑦ **外線発信設定**： 接続された子機の外線電話発信を、「可」、「不可」のどちらかに設定します。
- ③⑧ **外線発信短縮番号登録**： 接続された子機のメモリーに外線電話発信短縮番号を登録します。短縮番号は3件まで登録できます。
- ③⑨ **放送時インカムモニター設定**： 放送しているときにグループ通話の内容が放送している人に聞こえるかどうかを設定します。



画面上で変更した設定内容は、[子機データ書込み]をクリックしないと子機に反映されません。

	放送時インカムモニター設定	オン
④①	UCM-100リモコンキー1設定	なし
④②	UCM-100リモコンキー2設定	なし
④③	UCM-100リモコンキー3設定	なし
④④	本体SW動作モード	短アサイン
④⑤	CS-ID中のシステム呼出符号	-----
④⑥	インターバル値	26
④⑦	接続CS指定モード設定	指定しない
④⑧	接続CS台数設定	0
④⑨	接続CS番号設定	1 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8 8 [1-99]
⑤①	制御CH設定	12CHと18CH
⑤②	FER起動型ハンドオーバーレベル	0dB
⑤③	シームレスハンドオーバー設定	オン
⑤④	ヒアリング設定 システムデータ設定のボタン設定と重複した場合は、ヒアリング設定が優先されます。	動作モード スレープ ホーム番号 ALL ボタン1(グループ) なし ボタン2(一斉) なし ボタン3(個別) なし ボタン4(グループ切換) なし ボタン5(オプション) なし ボタン6(応答) なし
⑤⑤	トーク解除タイマー マイク動作設定がVOX設定時は動作しません。VOX設定時はVOX終了遅延時間でスレープに復帰します。	4秒
⑤⑥	手動ハンドオーバー設定 システムデータ設定のボタン設定と重複した場合は、手動ハンドオーバー設定が優先されます。	なし
⑤⑦	音量ボタン設定 システムデータ設定のボタン設定と重複した場合は、音量ボタン設定が優先されます。	アップ
⑤⑧	電池残量お知らせボタン設定 システムデータ設定のボタン設定と重複した場合は、電池残量お知らせボタン設定が優先されます。	なし
⑤⑨	通話移行お知らせ音	オン

ヒアリング設定の動作モードが「マスター」のときの表示

⑤④	ヒアリング設定 システムデータ設定のボタン設定と重複した場合は、ヒアリング設定が優先されます。	動作モード マスター ヒアリンググループ 1
----	--	---------------------------

-----WD-TR300のみ表示されます。

④① UCM-100リモコンキー1～3設定：

接続された子機のリモコンマイクUCM-100 (KENWOODブランド)のボタンに割り当てる機能を設定します。

④④ 本体SW動作モード：

接続された子機のスイッチ動作モードを表示します。短アサインで固定となり、変更はできません。

④⑤ CS-ID中のシステム呼出符号：

CS-ID中のシステム呼出符号を表示します。変更はできません。

④⑥ インターバル値：

接続された子機の制御情報を送信する間隔を設定します。

次ページへつづく

システムデータの設定と動作確認

- ④④ 接続CS指定モード設定： 子機が接続するCSを指定するかどうかを設定します。
- 指定しない = 子機はどのCSにも接続できます。
 - 指定する = 子機が接続するCSを最大で8つまで指定できます。[接続CS台数設定] で接続を許可するCSの数を設定し、[接続CS番号設定] で接続を許可するCSの番号を設定します。
- ④⑤ 接続CS台数設定： [接続CS指定モード設定] が「指定する」のときに、接続を許可するCSの数を設定します。
- ④⑥ 接続CS番号設定： [接続CS指定モード設定] が「指定する」のときに、接続を許可するCSの番号を設定します。
CS番号は、メインコントローラーWD-M300のWeb設定メニューのシステム設定「CS設定」画面で確認してください。(P. 70 ページ)
- ④⑦ 制御CH設定： 接続された子機の制御チャンネルを、「12CHのみ」、「18CHのみ」、「12と18CH」から選択します。
- ④⑧ FER起動型ハンドオーバーレベル：
FER起動型ハンドオーバーの起動設定および実施レベルの調整を行います。
無線通信のエラー率がチャンネル切換FERしきい値を超えた場合、受信電波レベルとハンドオーバー処理レベル値に選択したレベル値を合計した値を比較し、受信電波レベルが比較値より小さい場合はハンドオーバーを、比較値以上の場合はTCH切換を実施します。
「起動なし」を選択した場合は、受信電波レベル判定を行わず、TCH切換を実施します。
- ④⑨ シームレスハンドオーバー設定：
接続された子機のシームレスハンドオーバー機能を、「オン」、「オフ」のどちらかに設定します。
- ④⑩ ヒアリング設定： 動作モード(マスター/スレーブ)とヒアリンググループまたはホーム番号を設定します。
(WD-TR300ではヒアリンググループ切換のボタン割り当て設定も行います)
- 動作モードの設定
「マスター」と「スレーブ」から選びます。
「マスター」を選ぶとヒアリンググループ選択画面が表示されます。
「スレーブ」を選ぶとホーム番号選択画面が表示されます。
動作モードが「マスター」の場合：
 - ヒアリンググループの設定
「1」～「8」から選びます。
※ヒアリンググループの番号はホームグループの番号にあわせてください。
ホームグループの設定は(P. 67 ページ「子機設定」)の⑩ホームグループ
 - 動作モードが「スレーブ」の場合：
 - ホーム番号の設定
「ヒアリンググループ1」～「ヒアリンググループ8」、「ALL」から選びます。
※ホーム番号のヒアリンググループ番号は同時に運用するヒアリングマスターの番号にあわせてください。
 - 機能ボタンへのヒアリンググループ切換番号設定(WD-TR300のみ)
ボタン1 (グループ)～ボタン6 (応答)に「なし」、「ヒアリンググループ切換1」～「ヒアリンググループ切換8」、「ALL」、「ホーム」から選びます。

(例) ホームグループG4でヒアリングモードの設定をする場合

- ヒアリングマスターの子機
ホームグループ設定 = G4
動作モード = マスター
ヒアリンググループの設定 = 4
- ヒアリングスレーブの子機
ホームグループ設定 = G4
動作モード = スレーブ
ホーム番号の設定 = ヒアリンググループ4
※ホームグループの設定は(P. 67 ページ「子機設定」)の⑩ホームグループ



- ヒアリングモードの子機と通常モードの子機と一緒に運用可能です。
また、ヒアリングモードだけでの運用も可能です。
- 通常運用のグループ(ホームグループ)と合わせて最大8ヒアリンググループで運用可能です。
- CS1 台に対してヒアリングマスターは1台のみ接続可能です。

㊦ トーク解除タイマー：

ヒアリングスレーブもしくはシンプル通話モードに設定した子機が、通話を送信するモードから受信のみを行うモードに戻るまでの時間を設定します。

通話の送信終了後、トークボタンをはなしたあとも、ここで設定した時間のあいだは通話を送信するモードで待機し、設定した時間が経過すると通話の受信のみを行うモードに戻ります。

㊧ 手動ハンドオーバー設定：(子機WD-TR300のみ) 接続された子機の機能ボタンに手動ハンドオーバーを割り当てます。

- ・ あり = 子機のどの機能ボタンに割り当ててるのか選択画面が表示されます。
(子機WD-TR350は、「㊨機能ボタン割当て設定」で割り当てます。)

㊨ 音量ボタン設定：

(子機WD-TR300のみ) 接続された子機の音量調節の方法を設定します。

- ・ アップ = 音量ボタンを押すたびボリュームアップを行います。最大音量まで行くと最小音量に切り換わります。
- ・ アップダウン = オプションボタンにボリュームアップを割り当てます。オプションボタンでボリュームアップ、音量ボタンでボリュームダウンします。



アップダウンに設定した場合、音量ボタン設定が優先されるため、オプションボタンに割り当てた機能 (㊨ 67 ページ) は使用できません。

㊩ 電池残量お知らせボタン設定：

(子機WD-TR300のみ) 機能ボタンに電池残量確認の機能を設定します。

㊪ 通話移行お知らせ音：

シンプル通話モードで運用中、トークボタンを押して通話の送信を行うモードに切り換わったときのお知らせ音を、「オン」、「オフ」のどちらかに設定します。



画面上で変更した設定内容は、[子機データ書込み]をクリックしないと子機に反映されません。

■ LOG関連項目

子機内蔵 LOG ①

LOGデータ読み取り

②

LOGファイル保存

③

LOGデータ全クリア

④ LOG 通信イベント

⑤ クリアー

⑥ LOG 操作イベント

⑤ クリアー

⑦ LOG 子機エラー

⑤ クリアー

⑧ LOG 通信ステータス

⑤ クリアー

⑨ LOG 通信エラーステータス

⑤ クリアー

⑩ LOG 操作ステータス

⑤ クリアー

- ①LOGデータ読み取り： 接続された子機からLOGデータを読み込み、表示を更新します。
- ②LOGファイル保存： 表示されているLOGデータをPCに保存します。
- ③LOGデータ全クリア： 接続された子機のLOGデータをすべて消去します。
- ④LOG通信イベント： 接続された子機の通信イベントのLOGを表示します。
- ⑤クリアー： 選択したブロックのLOGデータを消去します。
- ⑥LOG操作イベント： 接続された子機の操作イベントのLOGを表示します。
- ⑦LOG子機エラー： 接続された子機のエラーのLOGを表示します。
- ⑧LOG通信ステータス： 接続された子機の通信ステータスのLOGを表示します。
- ⑨LOG通信エラーステータス： 接続された子機の通信エラーステータスのLOGを表示します。
- ⑩LOG操作ステータス： 接続された子機の操作ステータスのLOGを表示します。

セルステーション設定シート

□セルステーション設定シート

セルステーションWD-T300の設置場所とCS番号、およびメインコントローラーWD-M300／サブコントローラーWD-M310のポート番号管理表です。
CS番号の変更については、Web設定メニューの「CS番号変更」(P.85 ページ)をご覧ください。

メインコントローラーWD-M300

ポート番号	CS番号	設置場所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

サブコントローラーWD-M310 []

ポート番号	CS番号	設置場所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

サブコントローラーWD-M310 []

ポート番号	CS番号	設置場所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

サブコントローラーWD-M310 []

ポート番号	CS番号	設置場所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

セルステーション設定シート

サブコントローラーWD-M310 []

ポート番号	CS番号	設置場所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

サブコントローラーWD-M310 []

ポート番号	CS番号	設置場所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

サブコントローラーWD-M310 []

ポート番号	CS番号	設置場所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

サブコントローラーWD-M310 []

ポート番号	CS番号	設置場所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>